

メキシコ国
災害リスク管理ガバナンス
能力強化プロジェクト

業務完了報告書

2025 年 7 月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

株式会社 地球システム科学

メキシコ国
治安・市民保護省国家市民保護調整局

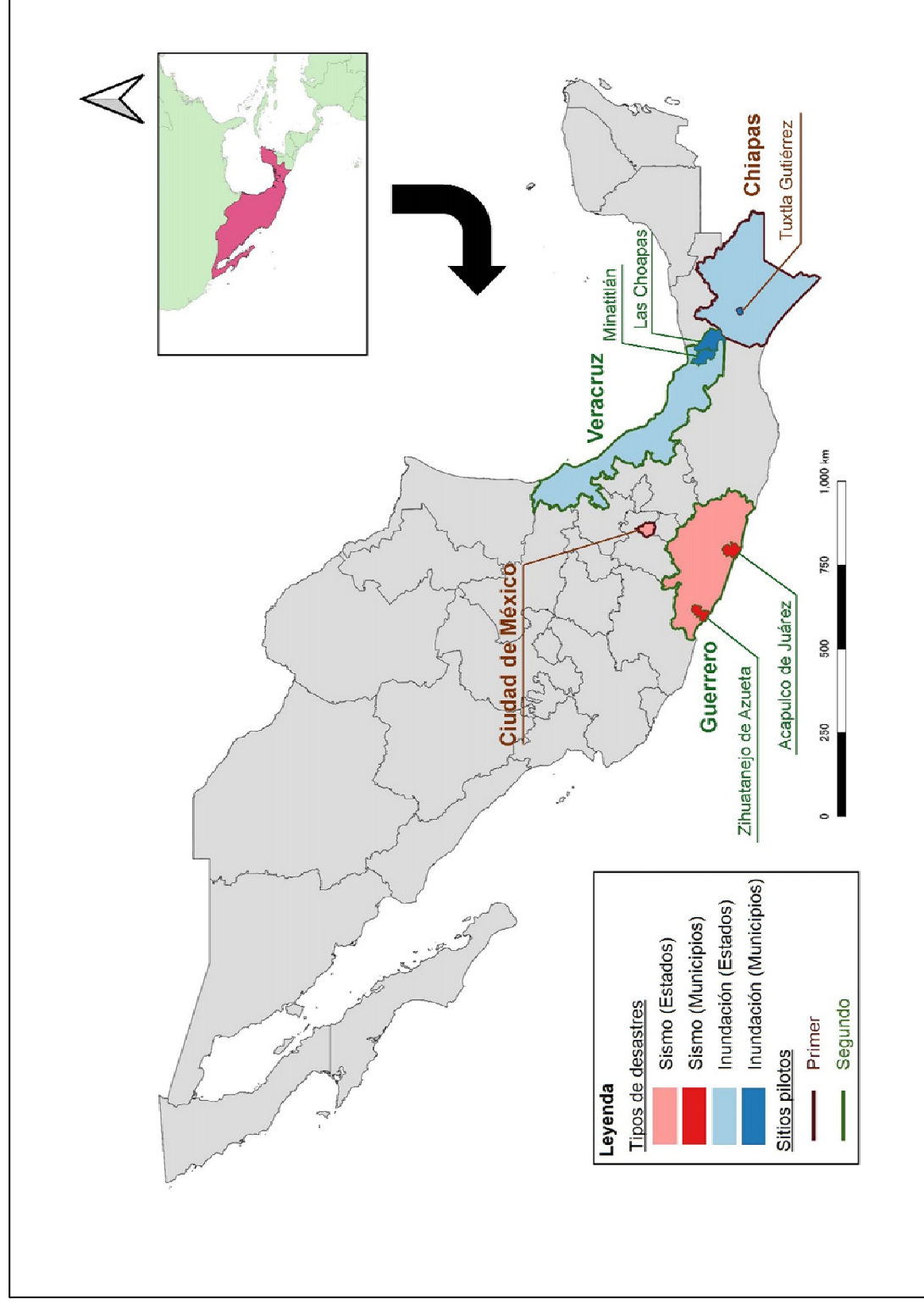
メキシコ国
災害リスク管理ガバナンス
能力強化プロジェクト

業務完了報告書

2025 年 7 月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

株式会社 地球システム科学



プロジェクトパイロットサイト位置図

目 次

1. 業務の概要	1
1.1. 業務の背景と目的.....	1
1.2. プロジェクトの概要.....	1
1.3. 業務の範囲	2
1.4. 業務計画と実績	2
2. 活動の内容	5
2.1. プロジェクト全体にかかる活動	5
2.2. 成果 1 にかかる活動	23
2.3. 成果 2 にかかる活動	32
2.4. 成果 3 にかかる活動	40
2.5. 成果 4 にかかる活動	43
3. プロジェクト実施運営上の課題・工夫・教訓.....	52
3.1. 地方防災計画策定研修実施における自治体の継続的な参加と計画策定の促進	52
3.2. メキシコの市の市民保護局に適した地方防災計画策定研修の実施.....	53
3.3. 多数のステークホルダーを巻き込んだプロジェクト実施体制.....	54
4. プロジェクト目標の達成度	55
4.1. 各成果における達成度.....	55
4.2. プロジェクト目標に対する達成度	57
5. 上位目標の達成に向けての提言	59
5.1. プロジェクト上位目標と指標	59
5.2. 防災計画策定の全国普及に向けた提言.....	59
5.3. メキシコにおける防災計画の承認、予算確保、実施への提言.....	60
添付資料 2	
PROJECT DESIGN MATRIX (PDM)	I
PLAN OF OPERATION (PO)	V
第 1 回合同調整会議 (JCC) 議事録.....	IX
第 2 回合同調整会議 (JCC) 議事録.....	XLVII
第 3 回合同調整会議 (JCC) 議事録.....	LXIX
第 4 回合同調整会議 (JCC) 議事録.....	LXXXVII

図 目 次

図 1.1	業務実施フローチャート	3
図 2.1	地方防災計画策定の工程	28
図 2.2	トゥクストラ・グティエレス市における地方防災計画策定の工程	30
図 2.3	メキシコ市における対策事業実施の工程案	31
図 2.4	トゥクストラ・グティエレス市内のサビナル川沿いの現地視察位置	36
図 2.5	研修実施計画 概要図	47

表 目 次

表 1.1	専門家派遣実績	4
表 2.1	キックオフ会議スケジュール	5
表 2.2	第1回 C/P 本邦研修カリキュラム	8
表 2.3	第1回 C/P 本邦研修参加者	9
表 2.4	第2回 C/P 本邦研修カリキュラム	12
表 2.5	第2回 C/P 本邦研修参加者	13
表 2.6	第3回 C/P 本邦研修カリキュラム	16
表 2.7	第3回 C/P 本邦研修参加者	18
表 2.8	WBF2025 メキシコ参加者	21
表 2.9	WBF2025 参加日程	21
表 2.10	地方防災計画の策定に関連する主な iGOPP 指標と適合する州の割合	25
表 2.11	一次パイロット地域地方防災計画策定の実施体制	28
表 2.12	研修プログラム（第2回）及び実施手法	32
表 2.13	一次パイロット地域 研修参加者	32
表 2.14	研修プログラム（第3回）及び実施手法	39
表 2.15	研修プログラム（第4回）及び実施手法	41
表 2.16	二次パイロット地域対象パイロット市	43
表 2.17	二次パイロット地域への研修スケジュール	50
表 4.1	成果1 指標の達成状況	55
表 4.2	成果2 指標の達成状況	56
表 4.3	成果3 指標の達成状況	56
表 4.4	成果4 指標の達成状況	57
表 4.5	プロジェクト目標指標の達成状況	57
表 5.1	上位目標と指標	59

略語表

略語	和文	英文 西文
AMEXCID	メキシコ外務省国際開発協力庁	Mexican Agency for International Development Cooperation Agencia Mexicana de Cooperación Internacional para el Desarrollo
BCM	事業継続マネジメント	Business Continuity Management Gestión de la Continuidad de Negocio
C/P	カウンターパート	Counterpart Contraparte
CENAPRED	国立防災センター	National Center of Disaster Prevention Centro Nacional de Prevención de Desastres
CNP	国家防災委員会	Prevention National Committee Comité Nacional de Prevención
CNPC	国家市民保護調整局	National Coordination of Civil Protection Coordinación Nacional de Protección Civil
CONAGUA	全国水委員会	National Water Commission Comisión Nacional del Agua
DCS	セクター調整課	Division of Sectoral Coordination Dirección de Concertación Sectorial
DDC	普及・コミュニケーション課	Division of Dissemination and Communication Dirección de Difusión y Comunicación
DGPC	市民保護総局	General Directorate of Civil Protection Dirección General de Protección Civil
DRR	災害リスク削減	Disaster Risk Reduction Reducción del Riesgo de Desastres
ENAPROC	全国市民保護学校	National School of Civil Protection Escuela Nacional de Protección Civil
GPDRR	防災グローバル・プラットフォーム	Global Platform for Disaster Risk Reduction Plataforma Global para la Reducción del Riesgo de Desastres
ICIPLAM	トゥクストラ・グティエレス市自治体計画市民研究所	Citizen Institute of Municipal Planning for Sustainable Development of Tuxtla Gutierrez Instituto Ciudadano de Planeación Municipal para el Desarrollo Sustentable del Ayuntamiento de Tuxtla Gutierrez
iGOPP	災害リスク管理におけるガバナンスと公共政策インデックス	Index of Governance and Public Policy in Disaster Risk Management Índice de Gobernabilidad y Políticas Públicas en Gestión del Riesgo de Desastres
IGR	災害リスクとリスク管理指標	Disaster Risk Management Index Índice de Gestión de Riesgos de Desastres
JCC	合同調整委員会	Joint Coordination Committee Comité Conjunto de Coordinación
JICA	国際協力機構	Japan International Cooperation Agency Agencia de Cooperación Internacional del Japón
PDM	プロジェクト・デザイン・マトリックス	Project Design Matrix Matriz de Diseño del Proyecto
PM	プロジェクト・マネージャー	Project Manager Gerente de Proyecto
PO	活動計画表	Plan of Operation Plan de Operación
SEDATU	農業・土地・都市開発省	Secretariat of Agrarian, Territorial and Urban Development Secretaría de Desarrollo Agrario, Territorial y Urbano

SGIRPC- CDMX	メキシコ市総合危機管 理・市民保護局	Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection Secretaria de Gestión Integral de Riesgos y Protección Civil Gobierno de la Ciudad de México
TOT	トレーニング・オブ・ト レーナーズ	Training of Trainers Formación de Formadores
UNDRR	国連防災機関	United Nations Office for Disaster Risk Reduction Oficina de las Naciones Unidas para la Reducción del Riesgo de Desastres
VR	バーチャルリアリティー	Virtual Reality Realidad Virtual
WBF	世界防災フォーラム	World Bosai Forum Foro Mundial Bosai

1. 業務の概要

1.1. 業務の背景と目的

メキシコでは、地震、津波、火山、ハリケーン、洪水、地すべり、森林火災等の自然災害が頻発しており、特に、地震災害については、約 10,000 人もの死者が発生した 1985 年のミチョアカン地震をはじめ、2017 年にはチアパス州（9 月 7 日）とモレロス州（9 月 19 日）で立て続けに発生した地震により計 467 人の死者が発生する等、被害の規模が非常に大きい。2017 年の地震からの復興に際しては、多くの課題が浮き彫りとなったが、対応未着手のまま前政権に引き継がれ、地震からの復興を国の優先課題として取り上げてきた。

前政権は、「国家開発計画 2019－2024」において、「全ての政策において、気候変動に対し脆弱な地域・国民に対し配慮し、強靱化や災害リスク減少のための能力強化を考慮するべきである」と謳い、同計画の目標 1.9「安全且つ強靱な国の持続可能な建設」では、仙台防災枠組のグローバル・ターゲット e に基づく全国平均スコアを 2024 年までに改善することが目標とされている（指標 1.9.2）。これを受けて、地方自治体（州・市）では、地震を含む自然災害リスクの分析や災害対応計画の整備を進める等、国家計画で示された防災戦略は一定の進展を見せている。ただし、事前防災投資の促進に関しては進捗が十分ではない。

このような状況の下、国際協力機構（JICA）とメキシコ政府は、災害リスク軽減を目的とした防災の事前投資を推進するため、本プロジェクトを実施することで合意した。本プロジェクトでは、治安・市民保護省国家市民保護調整局（CNPC）及び、その部局である市民保護総局（DGPC）、メキシコ国立防災センター（CENAPERD）、モデル州の市（地方防災計画策定パイロットプロジェクトサイト）等の能力及び連携の強化を図りつつ、市レベルでの防災計画の策定を推進する。

1.2. プロジェクトの概要

■上位目標

メキシコでの地方防災計画を通じた防災への事前投資が促進される。

■プロジェクト目標

メキシコ国パイロット地域自治体が、中央防災機関、洪水災害・地震災害対策省庁、地方政府の役割を明確化した具体的なリスク削減の対策事業案を含む地方防災計画案を策定し、その策定手法がコースとして纏められる。

■成果

成果 1：一次パイロット地域において、地方防災計画策定にむけた目標・手法・計画等が整理され実施体制が整えられる。

成果 2：一次パイロット地域において、対象災害別のリスク削減の対策事業案計画（案）を含んだ地方防災計画（案）が策定される。

成果 3：地方防災計画実施モニタリング評価案が作成される。

成果４：一次パイロット地域自治体での地方防災計画策定プロセスをもとにした研修プログラムが立案される。

1.3. 業務の範囲

■業務期間

2022 年 6 月～2025 年 6 月

■対象地域

一次パイロット地域：メキシコ市、チアパス州トゥクストゥラ・グティエレス市

二次パイロット地域：ゲレーロ州シワテネホ・デ・アスエタ市、アカプルコ・デ・フアレス市
ベラクルス州ミナティトゥラン市、ラス・チョアパス市

■実施機関

治安・市民保護省 国家市民保護調整局（CNPC）

■協力機関

- メキシコ外務省国際開発協力庁（AMEXCID）
- 国立防災センター（CENAPRED）
- 全国水委員会（CONAGUA）
- 農業・土地・都市開発省（SEDATU）

1.4. 業務計画と実績

1.4.1. 業務実施のフローチャート

本プロジェクトは 2022 年 6 月に開始され、同年 10 月にはキックオフとなる第 1 回合同調整委員会（JCC）会議が開催された。一次パイロット地域を対象とした地方防災計画策定研修は、2023 年 3 月から 11 月にかけて計画通り実施され、続いて、当初計画から先んじて、二次パイロット地域向けの研修が 2024 年 3 月に開始され、2025 年 3 月に完了した。2024 年 6 月から 11 月にかけて実施された大統領選挙および政治体制の変更により、プロジェクトの実施期間や協力機関、一次・二次パイロット州・市の体制に影響が生じることが懸念されたが、カウンターパート（C/P）機関および関係機関の協力のもと、プロジェクトの遅延や中断は発生せず、計画通りにすべての業務を完了した。

図 1.1 に業務実施のフローチャートを示す。

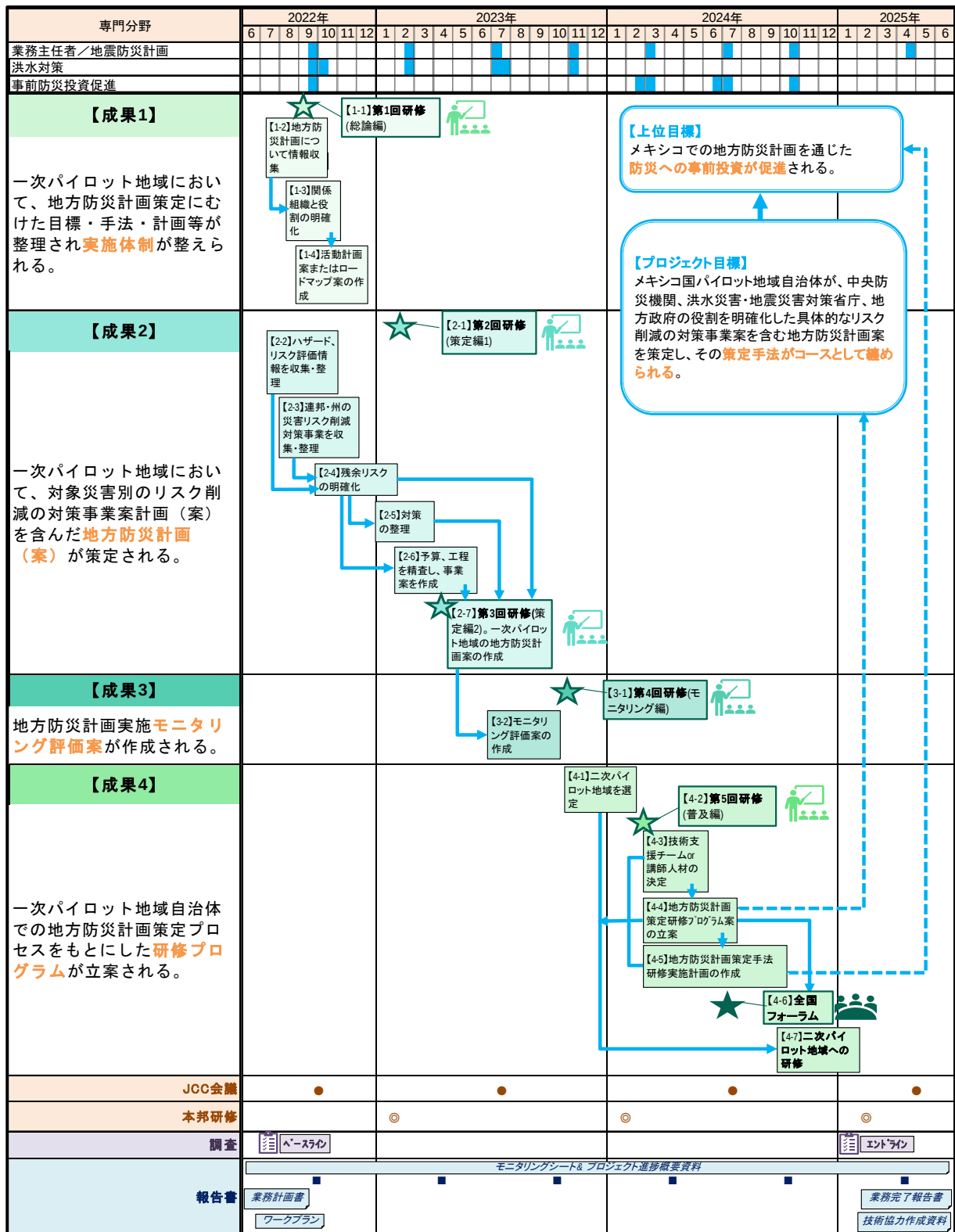


図 1.1 業務実施フローチャート

出典：プロジェクトチーム

1.4.2. 投入実績

(1) 専門家派遣実績

専門家派遣実績は表 1.1 の通りである。

表 1.1 専門家派遣実績

担当業務	当初	実績
業務主任者／地震防災計画	5.00	5.00
洪水対策	4.00	4.00
事前防災投資促進	4.00	4.00
合計	13.00	13.00

出典：プロジェクトチーム

(2) 研修員受入れ実績

本プロジェクトでは、計 3 回本邦研修を実施した（第 1 回：2023 年 5 月、第 2 回：2024 年 1 月、第 3 回：2025 年 1 月）。各本邦研修の内容については次章で詳述する。

(3) 機材調達実績

プロジェクトで調達した供与機材はない。

(4) 現地再委託実績

プロジェクトで実施した現地再委託はない。

2. 活動の内容

2.1. プロジェクト全体にかかる活動

2.1.1. プロジェクトの立ち上げ

現地におけるプロジェクト開始にあたり、関係各機関とキックオフ会議を以下の日程で実施した。

表 2.1 キックオフ会議スケジュール

日付	会議実施機関/実施場所
2022 年 9 月 22 日 (木)	AM : CNPC (CNPC 会議室) PM : チアパス州 (オンライン会議、CNPC 会議室) メキシコ市 (メキシコ市防災局会議室)
2022 年 9 月 23 日 (金)	AM : CONAGUA (CONAGUA 会議室) PM : CENAPRED (CENAPRED 会議室)

出典：プロジェクトチーム

各機関、一次パイロット州・市に対しては、CNPC からプロジェクト実施概要が説明され、各機関からの地方防災計画策定研修への研修参加者を確認した。専門家チームからメキシコにおける研修実施内容と全体スケジュール、本邦研修実施概要が説明された。

一次パイロット地域であるチアパス州およびメキシコ市の両地域においては、研修への高い参加意欲が示された。対象とする災害種については、地震災害に関して CENAPRED、洪水対策に関しては CONAGUA から、それぞれ協力が得られる体制が確認された。CENAPRED からは、学術機関との連携活用の可能性についての提案があり、また CONAGUA からは、洪水緊急計画の策定状況について説明が行われた。これらを踏まえ、プロジェクトの実施に向けた議論が行われた。



CNPC キックオフ会議

2.1.2. 合同調整委員会 (JCC)

(1) 第 1 回 JCC (2022 年 9 月 29 日)

第 1 回 JCC 会議は、2022 年 9 月 29 日に AMEXCID において開催された。会議では、①ワークプランに基づくプロジェクトの概要、②ベースライン調査結果およびプロジェクトのモニタリング、③プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) の改定、④研修参加者の紹介について説明が行われ、JCC メンバーより合意と承認が得られた。



第 1 回 JCC の開催

(2) 第 2 回 JCC (2023 年 6 月 20 日)

第 2 回 JCC 会議は、2023 年 6 月 20 日に AMEXCID において開催された。会議では、①プロジェクトの進捗、②次年度の活動計画、③二次パイロット州の選定と活動内容について説明が行われ、JCC メンバーより合意と承認が得られた。

進捗報告では、第 1 回から第 3 回まで地方防災計画策定研修が開催され、8 ステップ手法に基づく地方防災計画の策定が、一次パイロット地域のチアパス州およびメキシコ市において計画通りに実施されていることが報告された。

次年度の活動計画では、次回最終回となる第 4 回地方防災計画策定研修の実施および計画策定の最終化を経て、次のステップとしてメキシコ側が主体となって研修を実施し、二次パイロット州および国内への普及・展開を担っていく方針が説明された。

また、CNPC より、二次パイロット州としてゲレーロ州とベラクルス州が選定されたことが報告され、これらの州における次年度からの活動計画についての説明が行われた。



第 2 回 JCC の開催

(3) 第 3 回 JCC (2024 年 5 月 17 日)

2024 年 5 月 17 日、第 3 回 JCC 会議が AMEXCID において開催された。会議では、プロジェクトの進捗状況、次年度の活動戦略と優先活動、各関係機関の責務、二次パイロット市からの研修参加者、プロジェクト終了までの活動スケジュール、PDM 指標の変更について説明が行われ、JCC メンバーより合意と承認が得られた。



第 3 回 JCC の開催

JCC 会議で合意された主な内容は以下のとおりである。

- 1) 前年度のプロジェクト活動進捗状況 (2023 年 6 月～2024 年 5 月)
- 2) 二次パイロット地域に関する決定事項

- 対象自治体 (州・市) および研修参加者の確定
- 緊急事態等によりパイロット市が研修に参加できない場合の、州政府および CNPC による地方防災計画策定のフォローアップの実施
- ゲレーロ州チルパンシngo市の研修へのオブザーバー参加

- 3) 最終年度 (2024 年 6 月～2025 年 6 月) の活動戦略

PDM 指標に沿った成果達成を目指し、以下の優先アクション・活動を実施する。

- 一次パイロット地域における地方防災計画の事業実施モニタリングとロードマップ更新
- 二次パイロット地域における、事前防災対策事業ための資金調達に焦点を当てた地方防災計画の完成
- 他の州・市向けの全国普及研修プログラムおよびその実施計画の策定

4) プロジェクト参加機関の役割と責任

- メキシコ側の強いリーダーシップの下、優先アクションを実施するための各機関の役割分担
- 技術協力機関として、SEDATU のプロジェクトへの招聘

5) プロジェクト終了までの活動スケジュール

- 二次パイロット向け地方防災計画策定研修の実施
- 第3回本邦研修の実施
- 第4回 JCC 会議の開催
- 地方防災計画の普及のための全国フォーラムの開催

6) プロジェクト終了時および終了後の評価に向けた PDM 指標の更新

(4)プロジェクト成果・進捗共有会議（2025 年 3 月 28 日）

2025 年 3 月 28 日、プロジェクト成果・進捗共有会議が AMEXCID において開催された。

本会議では、プロジェクトの成果・実績および目標達成度に関する報告が行われた。さらに、プロジェクト終了後における上位目標の達成に向けて、推奨される取り組みや今後の活動方針について関係機関間で情報共有がなされた。



成果進捗共有会議の開催

(5)第4回 JCC 会議（2025 年 7 月 16 日）

2025 年 7 月 16 日、第4回 JCC 会議がオンラインで開催された。

JCC 会議では、プロジェクト終了にあたり、プロジェクトにおける主な活動と成果が報告された。プロジェクト成果として、研修の実施、プロジェクトの普及、研修プログラムの策定、一次・二次パイロット地域における地方防災計画の策定状況とプロジェクト目標の達成が JCC メンバーに報告された。



第4回 JCC 会議の開催

あわせて、プロジェクトの持続可能性を高めるため、上位目標に向けた取り組みとして、優先対策事業の実施計画、地方防災計画策定の承認、地方防災計画策定研修の継続実施、関係機関の連携強化といった提案が示され、JCC メンバーより合意と承認が得られた。

2.1.3. C/P 本邦研修

(1) 第1回本邦研修（2023年5月）

本プロジェクトでは、計3回のC/P本邦研修が実施され、それぞれ4名、3名、5名の研修員を受け入れた。第1回本邦研修は、2023年5月16日～5月26日にかけて表2.2の日程にて実施された。研修参加者としては、CNPC、CONAGUA、メキシコ市、チアパス州職員等、一次パイロット市での活動に関わる連邦レベルの技術協力機関と第1次パイロット地域職員が来日した（表2.3）。研修は、地方防災計画策定の手法と国及び地方の防災政策、地震及び洪水ハザードの評価、構造物対策を通じた防災の研修分野から構成し、本邦における地域防災計画の策定やそれに基づく対策実施の経験の知見を得ることに加え、国、都道府県、市町村のそれぞれの役割と支援の仕組み、事前防災投資の重要性の理解促進を目指し、プロジェクト活動の発展促進を図ることを目的とした。

表 2.2 第1回 C/P 本邦研修カリキュラム

日付	曜日	時間	研修内容	実施機関
5/15	月		来日	
5/16	火	10:00-12:30	JICA ブリーフィング	JICA 東京
		14:00-14:45	研修オリエンテーション	地球システム科学
		14:45-16:00	アクションプラン作成オリエンテーション	地球システム科学
5/17	水	10:00-11:30	日本の防災対策	地球システム科学
		13:00-15:00	治水と水防災 ～豪雨・洪水災害に備える	名古屋大学名誉教授
		15:30-17:30	民間における防災投資促進事例：Business Continuity Management (BCM)格付融資について	日本政策投資銀行
5/18	木	10:00-12:00	日本における河川治水計画と計画立案における目的設定、具体的な対策立案について	河川情報センター
		13:00-15:00	地震ハザード情報の評価と活用法、自治体向け情報発信について	文部科学省地震調査研究推進本部
5/19	金	9:00 - 12:00	静岡県における南海トラフ地震を踏まえた地域防災計画の取組み	静岡県危機管理部 危機政策課
		13:30 - 15:00	静岡県地震防災センター施設見学	静岡県地震防災センター
5/20	土		研鑽	
5/21	日		研鑽	
5/22	月	9:00 - 11:00	国際防災潮流と仙台防災枠組への取り組み	JICA シニアアドバイザー
		13:00 - 15:00	愛知県における規模が異なる地方自治体（市町村）の防災対策概要	名古屋市港防災センター
		15:15 - 17:00	アクションプラン作成	地球システム科学
5/23	火	9:00 - 12:00	名古屋市における地の防災活動について 地域防災活動現場見学	名古屋市危機管理局
		13:00 - 16:30	名古屋市上下水道局における大規模地震への備えについて 名古屋市上下水道局施設見学	名古屋市水道局

5/24	水	10:00 - 12:00	防災の主流化を推進する防災事業における組織連携	愛知県西尾市危機管理局
		13:30-16:30	現地視察	
5/25	木	10:00 - 12:00	地方防災計画の具体的な取り組み事例・具現化の事業・持続性の確保	愛知県幸田町防災安全課
		13:00-17:00	現地視察	
5/26	金	9:00 - 12:00	アクションプラン作成	地球システム科学
		13:30-15:00	アクションプラン発表会	
		15:15-16:00	閉講式	
5/27	土		帰国	

出典：プロジェクトチーム

表 2.3 第1回 C/P 本邦研修参加者

所属組織・職位
Director of Liaison, Programs and Policies of Risk Management、General Direction of Civil Protection, National Coordination of Civil Protection, Ministry of Security and Citizen Protection 治安・市民保護省 CNPC 渉外・政策局長
Head of Administrative Systems, Infrastructure Protection Management and Emergency Care, National Water Commission CONAGUA 行政サービス課長
Head of Department Risk Verification Unit, General Direction of Risk Analysis, Secretary of Integrated Risk Management and Civil Protection, Mexico City (SGIRPC-CDMX) メキシコ市総合危機管理・市民保護局リスク分析課長
Risk Analyst, Direction of Risk Identification and Analysis, Institute for Comprehensive Disaster Risk Management of Chiapas チアパス州防災局リスク分析官

出典：プロジェクトチーム



治水と水防災に関する講義



静岡県地震防災センターの施設見学



西尾市津波避難タワーの見学



アクションプラン発表会

アクションプラン作成・発表

本研修によって得られた知見の共有と今後の活動の提言について協議する場として、最終日に

プレゼンテーションを実施した。4名の研修員が、メキシコにおける積極的事前防災投資と実現可能な地域防災計画策定のために何をすべきかについて、本研修での経験や学びを参考に発表した。

アクションプラン作成に先立ち、5/16 実施のアクションプラン作成オリエンテーションにおいて作業内容と研修期間内の作業スケジュールを確認した。この時間帯および5/22 実施のアクションプラン作成の時間を活用し、現在プロジェクト活動で実施中の地方防災計画策定研修でのチアパス州・メキシコシティにおける計画策定状況の共有を行った。現在の地方防災計画策定のステップの経験も踏まえ、各組織からの視点での課題と事前防災投資と実現可能な地域防災計画策定のためにできる取り組みについて共有と検討を行った。

各研修員のアクションプラン

1. 連邦政府機関：CONAGUA 行政サービス課長

水害リスクを軽減するための効果的な推進が課題となっている現状から、地方防災計画策定を通じたタイムリーな洪水被害の軽減策を講じることを目標とする。主題は、構造的・非構造的な対策を実施するための科学的・技術的根拠を示すことで、防災に対する意識を向上させること、災害リスク（洪水や津波）に関する政府の全体的な知識を強化することである。

- 気候変動対応や予算面の課題を抱えており、洪水地域で未対策な地域などの整備が必要である。
- 洪水地域で未対策となっている地域における地方防災の課題の特定を行う。
- 地域防災の課題の特定のためのアクションとして、構造物対策予算検討の取組みを推進する。実現するための政府関係者の意識の向上が必要となる。
- 啓発に直接かわるのは地方であり、地方への援助が重要であることから連邦政府レベルとして様々な分析情報を流していくことを提案する。

2. 連邦政府機関：治安・市民保護省 CNPC 渉外・政策局長

メキシコ連邦政府では、防災事業の取り組みにあたり、社会的な枠組みにおいて構造的・社会的条件があることが課題である。地方防災計画の策定と推進にあたり、国内での成功事例を作り上げていくことが重要なアクションと考える。(1)防災投資の重要性の推進、(2)地方防災計画についての知識を得るような指導者養成、(3)連邦政府レベルで地方防災計画の存在を知ってもらうこと、地方では能力強化を行うことを戦略的な柱とする。関連するアクションは以下のとおりである。

- 災害リスク軽減の分野で、さまざまな機関や連邦機関の職員にトレーニングを提供する。
- コースに参加した職員は、所属する機関や連邦機関のメンバーに対してトレーニングを再現する。
- 地域災害リスク軽減計画を実行するための要員を育成する。

3. チアパス州：防災局リスク分析官

地方防災計画の策定と普及に関連し、チアパス州では防災のビジョンがない法案、地方における防災の進捗評価のための指標、具体的な目標がなく、防災リソースが不足するなど、防災の主流化の欠如が課題であり、目標や目的を達成するための行動指針の調整が必要である。チアパス州の科学のおよび社会的な脆弱性の分析の拡充を行うこと、州レベルでの連携協力の強化を行うことがアクションの主題である。

防災意識の向上、市民参加の強化、生命と財産の損失を減らすこと、防災主流化を目的としたアクション戦略は以下のとおりである。

- 対策効果に対する意識の向上のための想定被害の認識の普及とチアパスの全国市民保護学校（ENAPROC）による人的資本の活用
- コミュニティ委員会の設立を活用する。ただし自助・共助に重点を置くものとする。
- 戦略的な体制の対策を実施し、効果的なリスク管理法規制によりこれを補完する。
- 適切かつ補完的な法律により、防災を公共政策の各段階に導入する。

4. メキシコ市：市総合危機管理・市民保護局（SGIRPC-CDMX）リスク分析課長

メキシコ市における地方防災計画の策定は地震災害をターゲットとして実施される。計画策定の段階において、地震災害軽減対策を検討するにあたり、学校施設の安全に焦点をあて、インフラ施設の整備や建築基準の見直しを行うことを重視する。学校施設点検プログラムの拡充とそのための予算措置が主なアクションの主題である。

- 公立学校の校舎安全性検査プログラムを実施する。
- 法律の要件に確実に準拠するために必要な補強工事を実施する。
- 構造的および非構造的な安全条件を改善するための包括的なメンテナンス計画を策定する。
- 学校関係者を対象とした早期損害評価研修を実施する。



全日程終了後授与式の様子

(2) 第2回本邦研修（2024年1月）

第2回本邦研修は、2024年1月15日～1月26日にかけて表2.4の日程にて実施された。の研修参加者の対象は、一次パイロット市での防災計画策定の活動に関わってきたCENAPRED、メキシコ市、チアパス州トゥクストラ・グティエレス市職員を中心とした。CENAPREDからは、国及び地方レベルへの防災政策に対する研修実施を担当している職員が来日し、本プロジェクトにおいて、防災計画策定の研修実施教材策定に関わるC/P、一次パイロット市からは、技術指針の設定、建物やインフラの耐震化や洪水対策の技術者が参加し、本プロジェクトにおいて、防災計画策定に尽力しているC/Pの参加となった(表2.5)。

表 2.4 第2回 C/P 本邦研修カリキュラム

日付	曜日	時間	研修内容	実施機関
1/14	日		(渡航・夜行便)	
1/15	月		来日	
1/16	火	10:00-12:30	JICA プリーフィング	JICA 東京
		14:00-15:00	研修オリエンテーション	地球システム科学
		15:15-16:00	アクションプラン作成オリエンテーション	地球システム科学
1/17	水	10:00-11:30	日本の防災対策と防災計画、防災対策予算の仕組み	内閣府
		13:00-15:00	国際防災潮流と仙台防災枠組への取り組み	JICA シニアアドバイザー
		15:30-17:30	民間における防災投資促進事例 BCM 格付融資について	日本政策投資銀行
1/18	木	9:00-11:00	日本における河川治水計画と計画立案における目的設定、具体的な対策立案について	河川情報センター
		13:00-15:00	地震ハザード情報の地方防災計画への活用法と事例	地震調査研究推進本部
		15:30-18:00	移動	
1/19	金	10:00-11:30	静岡県地震防災センター施設見学	静岡県地震防災センター
		13:30-16:30	静岡県における南海トラフ地震を踏まえた防災計画の取り組み 静岡県地震・津波対策アクションプログラム 2013 の進捗・効果検証 木造住宅の耐震化プロジェクト「TOUKAI-0」	静岡県危機管理部 危機政策課
		16:30-18:30	移動（静岡市⇒名古屋市）	
1/20	土		研鑽	
1/21	日		研鑽	
1/22	月	9:30-11:30	愛知県における地方自治体（市町村）の防災対策概要	名古屋市港防災センター
		13:00-15:30	治水と水防 ～豪雨・洪水災害への備え	名古屋大学名誉教授
		15:30-17:30	アクションプラン作成	地球システム科学
1/23	火	10:00-12:30	愛知県岡崎市 水害リスクに対する構造物対策・非構造物対策	愛知県岡崎市 市民安全部
		13:30-16:30	現地視察(針崎雨水ポンプ場、久後崎浸水警報装置、乙川河川整備状況)	地球システム科学
1/24	水	10:00-12:00	愛知県西尾市 防災の主流化を推進する防災事業における組織連携 地域防災計画と組織連携について 矢作川防災ステーション 教育部門との連携について	愛知県西尾市 危機管理局
		13:30-16:30	現地視察 矢作川河川防災ステーション ゼロメートル地帯活動拠点	

			津波避難タワー	
1/25	木	10:00-12:00	愛知県幸田町 地方防災計画の具体的な取り組み事例・具現化の事業・持続性の確保	愛知県幸田町防災安全
		13:30-16:30	現地視察 幸田川遊水地事業 深溝断層 南部交流プラザやまびこ館	
1/26	金	9:00- 12:00	アクションプラン作成	地球システム科学
		13:30-15:00	アクションプラン発表会	地球システム科学
		15:15-16:00	閉講式	地球システム科学
1/27	土		(帰国)	

出典：プロジェクトチーム

表 2.5 第2回 C/P 本邦研修参加者

所属組織・職位
Deputy Director of Training in Civil Protection, Civil Protection National School, CENAPRED CENAPRED ENAPROC 市民保護研修副部長
Coordinator of Resilience Policies of Resilience General Directorate, SGIRPC-CDMX SGIRPC-CDMX レジリエンス政策調整員
General Director of Citizen Institute of Municipal Planning of Tuxtla Gutierrez (ICIPLAM) トゥクストラ・グティエレス市自治体計画市民研究所 (ICIPLAM) 所長



研修オリエンテーション



静岡県での耐震強化政策についての講義の様子



針崎雨水ポンプ場視察の様子



アクションプラン作成の様子

アクションプラン作成・発表

本研修によって得られた知見の共有と今後の活動の提言について協議する場として、最終日にプレゼンテーションを実施した。3名の研修員が、策定中の地方防災計画について市・州・連邦政府機関それぞれのアプローチで計画の普及を目指すために何をすべきかについて、本研修での経験や学びを参考に発表した。

各研修員のアクションプラン

1. 連邦政府機関：CENAPRED ENAPROC 市民保護研修副部長

今回、日本と大きく違いを感じたことは、日本の防災展示のスケール感であった。CENAPRED の ENAPROC には、防災に関する様々な研修・啓発資料があるが、日本で見たような防災啓発施設や展示はなく、実際の防災グッズや、必要な防災備蓄を実際の量と物で展示することは、身近に考える上でとても大切だと感じた。また、展示も、自分で地震のメカニズムを知るために、実際に手を動かして触り、バーチャルリアリティー（VR）を駆使して、地震動を体験できるようにする等、見学者の体験として残るように、工夫されていることに気づいた。また、行政から住民へのお知らせの看板や、ハザードマップ、マニュアル、ガイドライン等の説明資料は、分かりやすい工夫がされていると感じた。メキシコでは行政による文書は複雑で、読み手に分かりにくいことが多い。

これらを受け、防災計画策定の普及に向け、分かりやすい資料を通じた防災能力強化の研修を実施していくことを戦略的な柱とする。関連するアクションとしては、①新しく建設を予定している ENAPROC の施設に、等身大の防災展示を設置することを提案・計画する。②ENAPROC で提供する防災計画策定研修資料について、イラストや図を駆使した分かりやすいものを作成していくことが挙げられる。

2. チアパス州トゥクストラ・グティエレス市：ICIPLAM 所長

これまで、プロジェクトを通してトゥクストラ・グティエレス市の地方防災計画の策定を実施してきたが、計画に盛り込んだ土地利用を含めた開発規制、防災対策を行っていくことの重要性について、確信が持てた研修となった。

防災計画策定後、トゥクストラ・グティエレス市では、防災計画の施策を実施するために、トゥクストラ・グティエレス市都市開発プログラム（2021-2050）において、「防災計画」の項目が2024年1月に、追加記載された。これを受けて、今後トゥクストラ・グティエレス市で、防災計画を進めていくためのバックボーンができた。実際に、今年の防災事業が早速始まっており、サビナル川の保護と維持管理に関するプロジェクトが2024年1月16日からスタートし、市民も巻き込んだ河川の清掃キャンペーンも実施する。

今後、防災計画の承認プロセスに携わっていくこととなるが、①チアパス州による地方防災計画の提案、②市議会による承認、③市の市民保護局が承認レターを発行する、というステップを想定しているため、確実に実施していきたい。

3. メキシコ市：SGIRPC-CDMX レジリエンス政策調整員

メキシコ市における地方防災計画の策定は地震災害をターゲットとして策定されてきた。今回の計画策定において、分かったことは、災害リスクについては市として把握しているが、連邦政府、市、またその他のアクターの役割がはっきりとしていないことが問題であると感じた。例えば、道路の耐震化を進めていくためには、誰がどのようなアクションを取らないといけないのかがはっきりしていない。本プロジェクトで地方防災計画を作成して良かったと思うことは、これまで市や他のアクターが、地震に対して計画している対策や、実施している施策については、情報がバラバラとなっていた。それを、一つの計画書としてまとめられ、全体像が見えるようにな

ったことは良かった。地震対策については、戦略的、総合的に実施していかなければならないが、技術面、行政面における足りないピースについて、様々なアクターを巻き込みながら、明らかにしていかないと、防災計画の実施は難しいと感じた。そのため、アクターの明確化を進めたい。

加えて、様々な面について、見える形で提示することが大切であると気づいた。例えば、地震の被害想定について見える化し、はっきりと提示していくことである。また、メキシコ市でも、建築物の耐震評価化を進めていこうと考えているが、静岡県でみた住民が分かるような形で、行政がアプローチしていくことの重要性を感じた。様々な情報の見える化を進めていきたいと考える。

また、地方防災計画を推進、普及するにあたって、住民の地震に対する理解と支持というのも重要なコンポーネントであると思う。地震の頻度は少なく、あまり重要視されていないが、一度起これば、大きな被害をもたらすため、そのインパクトについて、住民レベルでも理解を促していくアクションをしていきたい。

メキシコでの防災計画策定に対する法的根拠や体制的にどのように更新を進めていくのかも今後の議論である。

(3) 第3回本邦研修（2025年1月）

第3回本邦研修は、2025年1月19日～1月31日にかけて表2.6の日程にて実施された。研修参加者の対象は、中央機関からは土地利用規制に携わる SEDATU と二次パイロット地域のグレーロ州およびベラクルス州とそのパイロット市の防災関係職員を中心とした（

表 2.7)。災害種においては、プロジェクトで策定している防災計画で扱っている、地震（ゲレーロ州）、洪水（ベラクルス州）を対象とした。研修を通して、連邦政府機関、州・市防災管理官の視点による意見交換や協議などが活発に行われる等、積極的な研修参加が見られた。

表 2.6 第3回 C/P 本邦研修カリキュラム

日付	曜日	時間	研修内容	実施機関
1/19	日		（渡航・夜行便）	
1/20	月		来日	
1/21	火	10:00-12:30	JICA ブリーフィング	JICA 東京
		14:00-15:00	研修オリエンテーション	地球システム科学
		15:15-16:00	アクションプラン作成オリエンテーション	地球システム科学
1/22	水	10:00-11:30	日本の防災対策 防災計画、防災対策予算の仕組み	内閣府
		15:30-17:30	民間における防災投資促進事例 BCM 格付融資について	日本政策投資銀行
1/23	木	9:30-11:30	日本における河川治水計画と計画立案における目的設定、具体的な対策立案について	河川情報センター
		13:00-15:00	地震ハザード情報の地方防災計画への活用法と事例	地震調査研究推進本部
		15:30-18:00	移動（東京⇒静岡市）	
1/24	金	9:30-12:00	静岡県における南海トラフ地震を踏まえた防災計画の取り組み 静岡県地震・津波対策アクションプログラムの進捗・効果検証	静岡県危機管理部 危機政策課
		13:00-14:00	木造住宅の耐震化プロジェクト 「TOUKAI-0」	静岡県くらし・環境部建築安全推進課
		14:30-16:00	静岡県地震防災センター施設見学	静岡県地震防災センター
		16:00-18:30	移動（静岡市⇒名古屋市）	
1/25	土		研鑽	
1/26	日		研鑽	
1/27	月	9:30-11:30	愛知県における地方自治体（市町村）の防災対策概要	名古屋市港防災センター
		13:00-15:00	防災総論 国際防災潮流と仙台防災枠組への取り組み	JICA シニアアドバイザー
1/28	火	10:00-12:00	愛知県岡崎市 水害リスクに対する構造物対策・非構造物対策	愛知県岡崎市 市民安全部
		13:30-16:30	水害対策施設視察 ・針崎雨水ポンプ場 ・久後崎浸水警報装置 ・乙川河川整備環境（岡崎公園）	
1/29	水	10:00-12:00	愛知県西尾市 防災の主流化を推進する防災事業における組織連携 西尾市地域防災計画と組織連携について 矢作川防災ステーション 教育部門との連携	愛知県西尾市 危機管理局
		13:30-16:30	現地視察	

			矢作川志貴野地区河川防災ステーション ゼロメートル地帯活動拠点 生田地区津波避難タワー	
1/30	木	10:00-12:00	愛知県幸田町 地方防災計画の具体的な取り組み事例・ 具現化の事業・持続性の確保 災害に強いまちづくり	愛知県幸田町 防災安全課
		13:30-16:30	現地視察 深溝断層 幸田川菱池遊水地事業 幸田町消防本部安全テラスセンター24 南部交流プラザやまびこ館	
1/31	金	9:00-12:00	アクションプラン作成	地球システム科学
		13:30-15:00	アクションプラン発表会	JICA 地球環境部 JICA 中部 地球システム科学
		15:15-16:00	閉講式	JICA 地球環境部 JICA 中部 地球システム科学
2/1	土		(帰国)	

出典：プロジェクトチーム

表 2.7 第3回 C/P 本邦研修参加者

所属組織・職位
Coordinator, Integral Disaster Risk Management General Coordination, SEDATU 農業・土地・都市開発省 総合災害リスク管理総局 局長
Chief of Department, Natural Phenomena, Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection of Guerrero State ゲレーロ州防災・市民保護局 自然現象部 部長
Inspector, Comprehensive Risk Management, Protection Civil and Firefighters of Zihuatanejo Municipality ゲレーロ州シワタネホ市 市民保護・消防局 総合リスク管理局 検査官
Civil Protection Liaison in Minatitlan Region in Veracruz State, General Directorate of Administration and Emergency Response, Secretary of Civil Protection Veracruz ベラクルス州市民保護局 緊急管理総局ミナティトゥラン地域調整官
Director, Civil Protection, Minatitlan Municipality ベラクルス州ミナティトゥラン市 市民保護局 局長



研修オリエンテーション



講義の様子（幸田町）



静岡県地震防災センター視察



アクションプラン発表

アクションプラン作成・発表

本研修によって得られた知見の共有を含めた、各機関の今後のアクションプランについて発表した。内容としては、州・市については、プロジェクトで作成している防災計画内容の実施に向けたアクションや、他市へ防災計画作成を普及するための内容、防災計画の内容の補強となる点等を中心に整理を行った。

各研修員のアクションプラン

1. 連邦政府機関：農業・土地・都市開発省 総合災害リスク管理総局 局長

日本で学んだ点としては、起こってしまった災害の歴史から学び、対策を進めているという点、災害リスクのモニタリングに様々な技術が活用されている点、住民に対して防災のための準備や

防災教育が良くなされていた点である。インフラ整備についても、災害にレジリエントな形で設計されていることも印象的であった。また、日本の行政体制では、国・県・市がしっかりと調整し、事業を進めているという姿勢は、メキシコの行政体制にはない形であった。

メキシコで適用していきたいと思っている点は、土地利用も含めた規制の包括的な見直しと、各機関の所掌や役割について明確にしていくことである。また、住民の防災に関する役割を更に高めるべく、市レベルに予算を付けていくことを検討したいと考える。加えて、省庁間を越えた、防災に関する情報共有のシステム開発や、民間によるイニシアティブを高めるための提案を行っていききたいとも考える。

2. ベラクルス州市民保護局 緊急管理総局 ミナティトゥラン地域調整官

本邦研修を通して学んだ点としては、地区防災計画の策定を推奨し、地区レベルでの防災活動を進めている点があり、また災害対策基本法で、各機関の防災に係る役割が明確になっている点は、ベラクルス州の市民保護と災害リスク管理に関する州法 856 を改正することで、メキシコでも実施できるのではないかと感じた。また、各自治体（州・市）が、浸水や全ての災害種に対して、様々な施策を通して対策を行っていることが印象的であった。

アクションプランとして、州市民保護局において本邦研修で得た知識を共有すると共に、プロジェクト策定した防災計画案について、様々な部局を招いて説明と紹介する機会を設け、防災投資の必要性を示し、計画モニタリングを行うための州委員会の設置について提案したいと思う。防災計画完成後は、州知事に提出したいと考える。また、防災にかかる活動の強化として、州法 856 を改正する必要があると感じているため、取り組みたい。また、具体的な非構造物対策として、消防団の結成や、ハザードマップの配布、構造的対策としては、洪水制御のためのダムの建設、避難所の設置、災害リスク地域の住民移転プログラム、雨水管理システムの強化を検討した。このイニシアティブを効果的に実施するためには、さまざまな政府レベルでの協力が必要だと考える。

3. ベラクルス州ミナティトゥラン市 市民保護局長

本邦研修を通して得た点は、日本には災害対策のための法律が整っており、しっかりと予算配分がなされている点、小学校から公に防災教育がなされている点、将来起こり得る災害について分析がなされており、そのための対策が実施されている点であった。自助、共助、公助という観点から、対策を進めており、災害による教訓を生かしていることも印象的であった。

アクションプランとして、策定している防災計画を実施していくために、まずは、市民保護局長とリスク軽減の取り組みについて話し合いを行い、州知事にも説明の機会を持つ必要があると考えている。また、ミナティトゥラン市として、職員向けの防災研修を実施し、洪水リスクマップの作成、土地利用規制のための基準の作成、洪水警報システムを確立し、災害リスク管理や洪水対策に係るガイドラインを作成したいと考えている。

4. ゲレーロ州防災・市民保護局 自然現象部 部長

日本の研修を通して学んだことは、国・県・市の全ての機関が防災のための取り組みを行ってい

ることであり、住民も自然災害からの脅威に備えて、防災のアクションを起こしている点に感銘を受けた。現在、グレーロ州で行っている防災に係る研修、情報共有の体制、災害リスクの分析についても、更に良くできるのではないかと感じた。

アクションプランとしては、州として、今後シワタネホ市で策定している防災計画の策定を完遂させること、他の市が地方防災計画策定をするための研修の実施することや、州法内で防災計画作成の義務付けること、地震や津波の早期警報システムの強化を考える。これらの目標達成に向けて、具体的には、2025年3月に予定されている防災計画策定研修への参加、市向けの義務的研修プログラムの開始、市の取り組みを支援するための調整、州の開発計画にこれら市の防災対策を組み込むための州機関との協議の必要があると考えている。また、早期警報については、防災基金（Programa Fondo de Prevención de Desastres Naturales（FOPREDEN））のような活用できる基金を活用して実現させていきたい。

5. グレーロ州シワタネホ市 市民保護局検査官

本邦研修で学んだことや視察内容を踏まえて、これまで策定した地震に係る防災計画内容に更に加える形で、アクションプランを考えた。構造物対策においては、重要インフラの耐震補強、住宅の耐震補強、避難場所に係る標識設置、津波タワーまたは津波マウンドの建設、リアルタイムの海面監視システムの設置が必要であると考えた。非構造物対策においては、災害リスクの高い地域に住む住民への研修、防災マップの配布、ホテル密集地域への防災プログラム実施と、民間による防災投資の促進と、防災のマスコットを作り、子供たちの防災教育に活用することを計画した。

これらを実施するため、調整を促進するための市災害リスク軽減委員会の設置、必要な資金と人的資源の割り当て、計画の有効性を評価するための監視メカニズムの確立などが必要と考えられ、そのためのアクションを起こしていきたい。

2.1.4. 国際・地域会議等における成果発信に係る活動

本プロジェクトの国際・地域会議等における成果発信に係る活動として、メキシコ CP が 2024 年 3 月、2025 年 3 月に、宮城県仙台市で開催された世界防災フォーラム（WBF）へ参加した。また、2025 年 6 月、スイス・ジュネーブで開催された国連防災機関（UNDRR）主催の「防災グローバル・プラットフォーム（GPDRR）2025」において、一次パイロット市であるメキシコ市総合危機管理・市民保護局 レジリエンス部長が登壇し、限られた予算の中で、災害リスク削減に向けた優先対策事業の実施に必要な予算確保の方策について発表を行った。

(1) 2024 年 3 月 WBF

2024 年 3 月の WBF には、CNPC のプロジェクト・マネージャー（PM）が来日し、3 月 10 日の JICA 主催のセッションにおいて、同枠組の優先行動 3（防災投資の推進）に関してメキシコの取り組みを発表した。また、同セッションに参加したモンゴル、ベトナム、フィジー等の防災当局とも投資促進の課題を共有した。同日、東北大学キャンパス内にて開かれた有志のメンバーによるアドホック会合にも出席し、前回スイスで行われた防災フォーラムの議論を引き継ぐ形で、仙台防災

枠組を推進するため UNDRR や各国機関への提言文書の作成を進めた。3 月 11 日には東北大学主催のセッションに出席し、防災を推進するための科学的知見・手法の活用に関してメキシコの取り組み（特にナショナルリスクアトラスと防災ガバナンス指標）を紹介した。同セッションでは日本ほかインド、ネパール、インドネシア等の研究者や防災責任者と意見交換を行い、研究機関による世界規模でのネットワーク構築、より正確なリスク情報の提供の必要性等、について議論した。

(2) 2025 年 3 月 WBF

2025 年 3 月の WBF には、表 2.8 に示す 3 名がメキシコから参加し、防災投資の促進や仙台防災枠組の実現に向けたセッションへの出席に加え、複数のセッションにおいて登壇した。メキシコにおける防災事業の資金調達、防災に関する都市と地方の格差、官民学の連携、先進技術と政治の接続といった多様なテーマについて、活発な意見交換がなされた。最終日には、仙台市の震災遺構を訪れ、災害記憶を留め、後世に伝える遺跡として保護している様子を視察した。行程は出典：プロジェクトチーム

表 2.9 の通り。長期専門家もメキシコより参加者に同行し、細かいロジ面等についてもフォローした。帰国後、参加者はプロジェクト活動の一環である、二次パイロット地域における地方防災計画策定研修の場で発表の時間を設け、WBF での成果と知見を報告した。

表 2.8 WBF2025 メキシコ参加者

所属組織・職位
DRR Public Policy Coordinator, CENAPRED CENAPRED 防災公共政策調整官
Deputy Director, Economic and Social Studies at the Coordination of Public Policies for the Prevention of Disasters Department, CENAPRED CENAPRED 経済・社会学 防災公共政策 副部長
General Director of Risk Analysis, SGIRPC-CDMX SGIRPC-CDMX 災害リスク分析部 部長

出典：プロジェクトチーム

表 2.9 WBF2025 参加日程

日付	WBF 2025 での登壇・参加イベント	移動行程
3/7 (金)	JICA セッション事前打ち合わせ	3 名 + 長期専門家 東京→仙台移動
3/8 (月)	JICA S28: 防災投資の促進。仙台防災枠組の実現に向けて セッション	@仙台国際センター
	UNDRR S36: 防災イノベーション加速のためのワークショップ-科学 セッション 技術、政策、民間セクターの連携を活かして	
	WBF S06: [特別プレナリー] 国際防災推進のための学術・行政と民 セッション 間セクターとの対話	
3/9 (火)	東北大 S38: 都市開発と災害リスク削減の持続可能な両立 セッション	3 名 + 長期専門家 仙台→東京移動
	JICA エクスカーション: 震災遺構視察	

出典：プロジェクトチーム



JICA セッションでの集合写真



JICA セッションでの発表の様子



震災遺構視察の様子

(3) 2025 年 6 月 GPDRR

2025 年 6 月の GPDRR 2025 には、一次パイロット市であるメキシコ市総合危機管理・市民保護局レジリエンス部長が、JICA サイドイベント「防災投資に向けた資金拠出のギャップの埋めるための社会全体での取組」のセッション 2 「防災投資に向けた資金拠出のギャップを埋めるための方策とベストプラクティス」に、インドネシア、南アフリカ、エルサルバドルからの参加者と共に登壇し、特に地方自治体（州・市）における防災に関する予算取りについてのテーマについての協議と発表を行った。

2.1.5. プロジェクトセミナー/ワークショップの開催

(1) JICA 課題別研修成果等発表セミナー

2023 年 3 月 6 日、AMEXCID 会議室において、JICA 課題別研修成果発表セミナーが開催された。これまでに JICA 課題別研修およびその他の国際会議に参加した CNPC および CENAPRED の関係者が、各自の参加成果を発表した。

本プロジェクトからは、2022 年 12 月 12 日から 24 日まで実施された JICA 課題別研修「防災の主流化」研修に、CNPC よりプロジェクトの C/P 2 名が参加し、その研修成果が共有された。また、同期間にスイスで開催された WBF には CENAPRED より C/P 1 名が参加し、仙台防災枠組の中間レビュー以降の進捗および課題についてテーマとした研修成果が報告された。



JICA 課題別研修成果等発表セミナー（於 AMEXCID）

2.1.6. 広報活動

広報活動として、プロジェクトの JCC、地方防災計画策定研修、本邦研修の開催等、主要な活動について JICA ホームページのプロジェクトニュースへの投稿を通して広報を行ってきた。投稿の記載文は、日本語と西語で用意し、写真にも説明を追記する形することにより、分かりやすい内容での発信を目指した。

加えて、長期専門家が作成したプロジェクトの事業紹介を広報するためのリーフレットを活用し、CNPC の全国市民保護フォーラムや、WBF において配布し、外部発信を行った。



JICA ホームページプロジェクトニュース(日・西)

リーフレット配布の様子

出典：JICA ホームページ

出典：プロジェクトチーム

2.2. 成果 1 にかかる活動

2.2.1. 地方防災計画策定の概要について研修（1 回目）を開催する（活動 1-1）

(1) 活動内容

2022 年 9 月 26 日から 27 日の 2 日間にわたり、第 1 回地方防災計画策定研修が CNPC において開催された。本研修は、JICA が提唱する地方防災計画策定の 8 ステップ手法の概要を共有し、事前防災投資の重要性について関係者間で共通認識を深めることを目的として実施された。

研修では、まず地方防災計画策定における 8 つのステップの解説が行われた。続いて、JICA 国際協力専門員の西川氏による講義が行われ、日本の防災文化や事前防災投資の意義についての説明がなされ、参加者の高い関心を集めた。また、CNPC の DGPC 局長である PM が、自身の JICA 課題別研修で作成したアカプルコ市地方防災計画の概要を紹介し、実務経験に基づいた知見の共有が行われた。

さらに、メキシコ側の参加機関からは、それぞれの防災に関する取組みについて発表があり、情報共有が進められた。加えて、一次パイロット地域であるメキシコ市およびチアパス州トゥクストラ・グティエレス市の代表者が参加し、地域の災害リスクや現状をまとめた「シティ・プロファイル」の発表を行った。これにより、今後の地方防災計画策定に向けた理解と準備が深まる有意義な機会となった。



地方防災計画策定 8 ステップ手法講義



西川専門員による防災総論講義



地方防災計画策定経験の共有



一次パイロット地域シティ・プロファイルの
発表

(2) 活動の課題と工夫

災害リスク軽減を目的とした防災の事前投資を推進するためには、地域における災害リスクの的確な認識をもとに、地方防災計画を策定し、適切な防災対策を実施することが重要である。本プロジェクトにおける導入研修では、こうした課題認識を踏まえ、地方防災計画策定の意義と必要性について参加者の理解を深めることを目的として実施された。

研修では、地方防災計画策定の重要性に加え、メキシコにおける具体的な計画策定の取組み事例を紹介し、参加者が現実的な視点で学びを深められるよう工夫がなされた。また、リスク認識、既存対策のレビュー、残されるリスクの特定、必要な防災対策の整理、対策の優先度や予算の検討、対策事業の実施、モニタリングといった一連のプロセスを段階ごとに詳しく解説することで、計画策定手法の理解を促進した。

さらに、一次パイロット地域の有機的な参加を促すため、対象となる市には「シティ・プロファイル」の事前作成と発表を依頼し、これを計画策定の「ステップ0」と位置づけることで、実際の計画策定プロセスに円滑に移行できるよう準備を整えた。これにより、地域の実情に即した実践的な防災計画策定のスタートを切ることが可能となった。

2.2.2. 治安市民保護省、市民保護総局は、メキシコの地方自治体（州・市）における地方防災計画についての策定状況について情報収集、整理し互いに共有する（活動1-2）

(1) 活動内容

1) 一次パイロット地域（州・市）の地方防災計画策定状況

州・市レベルの防災計画策定状況に係る情報収集を行った。

チアパス州においてはコミュニティレベルでの防災計画が一部で策定されているものの、市の防災計画は未策定である。メキシコ市では開発計画を策定しており防災分野が含まれているが、災害リスク削減を主軸とした地方防災計画は策定されていない。地震災害に係る緊急対応計画は毎年レビューされ更新されている。

CONAGUA による洪水緊急計画は、都市における洪水時の緊急対応にかかる都市洪水運用計画と河川管理にかかる河川洪水緊急計画の 2 種類があり、構造物対策も含まれる。しかしながら、チアパス州トゥクストゥラ・グティエレス市レベルでの計画は未策定とのことである。

2) 防災政策・ガバナンスに関する国際的な評価指標によるメキシコの州別の地方防災計画策定に係る現状の分析

地方防災計画の策定状況の把握にあたっては、事前防災投資の推進に向け、既存の開発計画に災害リスク軽減策が組み込まれているかどうか、重要な指標となり得ると考えられる。そのため、州別の傾向を分析し、各地域における災害リスク削減の責任の所在や、災害リスク軽減措置の有無を検証するとともに、事前防災投資の推進に向けた地方防災計画策定の取り組み状況を把握することとした。

この分析にあたっては、防災政策およびガバナンスに関する国際的な評価指標である災害リスク管理におけるガバナンスと公共政策インデックス (iGOPP) を活用し、メキシコにおける州別評価結果のレビューと分析方法の検討を行った。さらに、iGOPP の評価項目の中から、地方防災計画の策定に関連する法制度・組織体制、予算、評価に関する指標を選び、重点的に分析を実施した。指標は、州ごとに「はい/いいえ」で回答されたものを集計している。

地方防災計画の策定に関連する主な iGOPP 指標として、以下の 7 つの指標について適合する州の割合を示した。

表 2.10 地方防災計画の策定に関連する主な iGOPP 指標と適合する州の割合

	指標コード	内容	適合する 州の数	割合
1	RR-1A-3	建物や重要インフラの脆弱性の軽減を義務付けた基準があるか	7	22%
2	RR-1A-5	公共・民間インフラ建設時における災害リスク軽減対策の組み込み義務・規制があるか	10	31%
3	RR-1B-1	セクター別に災害リスク軽減の責務が明確化されているか	28	93%
4	RR-1C-1	州ごとの災害リスク軽減の責務の明確化されているか	32	100%
5	RR-1C-2	州の機能と権限に災害リスク軽減が明記されているか	32	100%
6	RR-3-2	州が過去 5 年間に災害リスク軽減活動の実績を評価・検証しているか	17	53%
7	RR-3-5	州とセクター当局が、過去 5 年間のインフラ建設段階におけるリスク軽減対策を評価しているか	2	6%

出典: CENAPRED, <http://www.atlasnacionalderiesgos.gob.mx/IGOPP/index.php> より
2013 年—2017 年の統計情報を集計

RR-1B-1、RR-1C-1、RR-1C-2 の結果が示すように、災害リスク軽減に関する責務や権限について

は、メキシコ国内の 32 州の大半において明確に定められている。一方で、RR-1A-3 および RR-1A-5 の指標に見られるように、主要な建築物に対するリスク低減対策を実施するための基準や規制は、多くの州で依然として整備されていないことが明らかとなっている。さらに、インフラ建設段階における災害リスク軽減対策の評価についても、多くの州で実施されていない状況が見受けられる。

州において地方防災計画の策定が法的義務を持たないなかで、州が災害リスク削減に対しての取組と実施、評価が実施されていないことが課題となっている。

(2) 活動の課題と工夫

連邦制を敷くメキシコでは、州による権限の分担と地方自治が保障されている。、その中で、州の関わりによる州および市の災害リスク削減の取組み、地方防災計画の策定の普及が課題となる。また、各州に属する市（全国でおよそ 2,470 市）の地方防災計画の策定状況とその課題を抽出するためには、州の現状を把握することが重要であると考えられる。

防災政策およびガバナンスに関する国際的な評価指標である iGOPP から州の地方防災計画策定、予防的な防災対策の取組みを推定した。

2.2.3. 治安市民保護省、市民保護総局、一次パイロット地域（州・市）は、活動 1-2 で整理された情報をもとに、メキシコ国内の地方防災計画について課題を整理し、地方防災計画策定に必要な関係組織とその役割を整理し明確にする（活動 1-3）

(1) 活動内容

メキシコの州および市における地方防災計画の策定状況について情報を収集・整理し、その結果に基づいて、一次パイロット地域における関係機関とその役割を検討した。あわせて、計画策定から承認、さらには事業実施へと至るプロセスの方向性を整理し、今後の展開に資する基礎的情報を取りまとめた。

1) 地方防災計画策定における課題

メキシコ国は連邦制を採用しており、連邦政府は州および市に対して自治権を保障している。連邦政府は地方自治体（州・市）に対して地方防災計画の策定を義務化・制度化していない。一方で、地方自治体（州・市）の財政的制約は大きく、災害リスク軽減策の実施には連邦政府の補助金や技術的支援が必要となる。

また、防災政策およびガバナンスに関する国際的な評価指標である iGOPP の分析結果からも、事前防災投資の推進において、既存の開発計画に災害リスク削減の視点を組み込む「防災の主流化」の取組みが多くの州において不十分であることが示されている。さらに、策定された事業の進捗や成果を継続的に確認・評価するモニタリング体制も未整備であることも多くの州において課題である。

このような状況に対処するためには、州政府が市に防災計画の策定を働きかけるとともに、州と市が連携して策定プロセスを推進することが必要である。

2) 一次パイロット地域における計画策定の取組み

一次パイロット地域（チアパス州およびメキシコ市）において、地方防災計画の策定に向けて、関係機関の役割分担および実施体制の検討を実施した。計画の策定および事業の実施においては、州および市が地方防災計画策定研修を通じて必要な知識と手法を習得し、自ら推進する体制を確立する。

また、計画策定の段階では連邦政府機関の関与が重要であり、CENAPRED は災害リスク情報を、CONAGUA は流域に関する洪水管理情報や関連事業に関する技術的支援を提供することで、地方防災計画の策定ステップを補完する役割を担う。

今後は、チアパス州およびメキシコ市において、策定された計画の正式な承認と住民への周知を行い、災害リスク削減のための対策事業の実施へとつなげていく必要がある。これに向けて、一次パイロット地域の計画策定プロセスに加え、計画の承認、周知、実施に向けたロードマップの策定を行う。

(2) 活動の課題と工夫

地方防災計画の策定が制度化されていない現状において、各市が計画を策定し、それを実施段階に進めていくには、制度的な裏付けや具体的なインセンティブが不足している点が課題と考えられた。特に、財政面の制約が大きい市にとって、計画策定および施策実施を持続的に進める仕組みの不在は大きな障壁となっていることが考えられる。

計画の制度的な位置づけと持続性の確保を図るため、市や州の上位計画への地方防災計画の組み込みを推進した。防災計画を政策的枠組みに位置づけることで、その実効性と継続的な実施を促進するための重要な施策となる。

また、先行地域である一次パイロット地域（州・市）における実施事例（予算獲得や事業実績等）を他の州・市と共有し、成果を可視化することで、他市における計画策定および実施への動機づけとなる考えとした。

州と市の連携を強化し、双方が協力して計画策定および承認、事業実施へと進める体制を構築することで、地方防災計画の効果的かつ持続的な運用の基盤を整えることを計画した。

2.2.4. 治安市民保護省、市民保護総局、一次パイロット地域（州・市）は、活動 1-3 の関係者も含めて、地方防災計画策定に向けた行程（ロードマップ）案を作成する（活動 1-4）

(1) 活動内容

メキシコにおける地方防災計画策定の現状と課題を踏まえ、一次パイロット地域（州・市）における計画策定の段階および手順、関係機関の役割を整理し、工程案としてのロードマップを取りまとめた。

1) 地方防災計画策定の工程案

図 2.1 に、一次パイロット地域（州・市）における地方防災計画策定の全体的な流れを示す。計画策定研修については、2022 年 12 月までに研修参加主体および技術協力機関の役割が明確化

し、2023 年 3 月よりメキシコシティにおいて研修が開始される計画である。同年 11 月に研修を終了し、各パイロット市の地方防災計画は 2023 年 12 月に策定完了を迎える予定である。2024 年 1 月以降は、策定された計画の承認および周知、さらに対策事業の実施およびそのモニタリングの段階へと移行する計画とした。

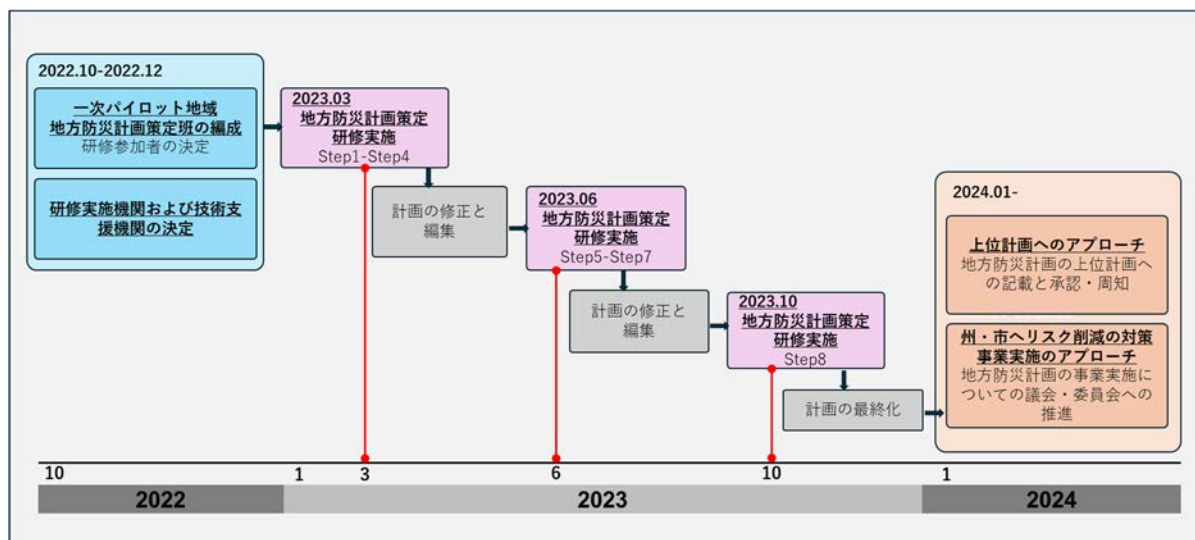


図 2.1 地方防災計画策定の工程

出典：プロジェクトチーム

2) 一次パイロット地域地方防災計画策定班の編成および研修実施機関・技術支援機関

一次パイロット地域（州・市）における地方防災計画策定の実施にあたり、計画策定研修の実施工程と併せて、実施体制、計画策定の主体、ならびに技術的支援を担う機関を明確化した。表 2.11 に、当該地域における地方防災計画策定の実施体制を示す。

表 2.11 一次パイロット地域地方防災計画策定の実施体制

項目	実施主体	実施内容
地方防災計画策定 研修策定	- 一次パイロット州・市 1. チアパス州市民保護局 2. ICIPLAM 3. SGIRPC-CDMX	- 地方防災計画策定研修 1. ステップ 1-4（災害リスク認識、既存の計画のレビュー、残余リスクの特定） 2. ステップ 5-7（対策事業の選定、優先度の検討、予算措置の検討） 3. ステップ 8（事業実施、モニタリング）
地方防災計画研修 実施	CNPC (DGPC)	- 地方防災計画策定研修の実施 1. 研修プログラム作成 2. 研修講師の選定 3. 研修実施
計画策定技術支援	CENAPRED CONAGUA	- CENAPRED：一次パイロット市（メキシコ市）地震災害に係る情報提供、計画策定に係る支援 - CONAGUA：一次パイロット市（チアパス州）洪水災害に係る情報提供、計画策定に係る支援

出典：プロジェクトチーム

3) 地方防災計画策定研修の実施

一次パイロット地域（州・市）における地方防災計画の策定は、2023年3月から12月にかけて実施された。策定研修は3つの段階（ステップ1-4、ステップ5-7、ステップ8）に分けて構成され、各段階に応じた教材作成、研修プログラムの準備、および研修の開催を実施する。研修実施後、各パイロット市が計画の策定作業を進め、計画案についてはCNPCが確認・助言を行い、必要な修正を加えた上で次のステップへ進む形式とした。

2023年10月にステップ1-8までを含む全ての研修の実施を完了し、同年12月に各市の地方防災計画が完成された。

4) 地方防災計画策定後の実施・普及、事前防災投資推進

地方防災計画の策定後、その内容を州・市の上位計画に組み込む承認プロセスを推進することは、計画の普及および持続性の確保において重要である。また、計画に基づく防災事業の優先的な実施や予算措置の推進は、市にとってのインセンティブとなり、策定活動の促進につながると考えられる。

防災事業の実施に際しては、各州および市の制度や状況に応じた申請手続きや実施の枠組みが必要であり、これを今後の計画策定および実施のモデルとすることが望まれる。そのため、地方防災計画の承認および実施に至るプロセスを明確化し、モデルとして文書化・体系化した上で、研修用の参考資料として整理する。

また、一次パイロット市は、今後実施される二次パイロット地域向けの地方防災計画策定研修において、計画の承認プロセスや事業実施に向けた取組みに関する講義や意見交換を通じ、実践的なインプットを提供する役割を担う。

5) 一次パイロット地域（州・市）地方防災計画の承認と実施・普及と持続性の確保

地方防災計画の策定後、実施と普及、そして事前防災投資の推進を図るためには、策定された計画の持続的な活用が重要である。そのため、各パイロット市は、策定した計画承認のアプローチに加え、市および州の上位計画への反映と周知を通じて、防災対策を地域政策に統合していく必要がある。以下に、各市が取り組む主なアプローチを整理する。

■ チアパス州 トゥクストラ・グティエレス市

市における地方防災計画の策定後、計画の承認と実施に向けた主要な工程を図2.2に示す。策定された地方防災計画の持続性を確保するために、市の制度に則った承認プロセスを踏むことを目的としている。

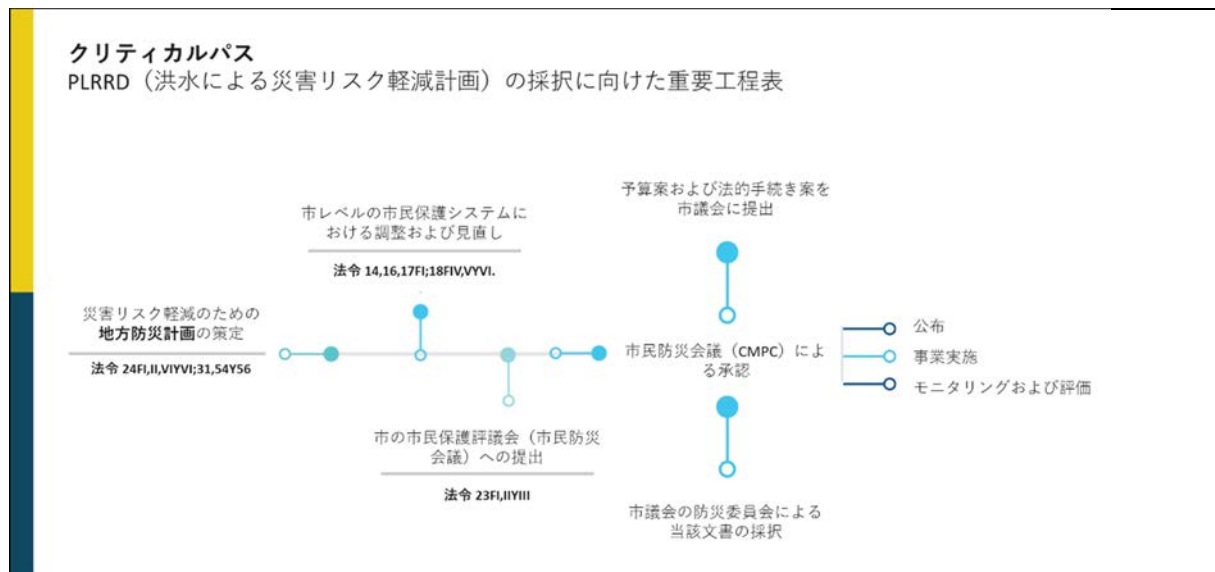


図 2.2 トウクストラ・グティエレス市における地方防災計画策定の工程

出典：トウクストラ・グティエレス市地方防災計画ルートマップより抜粋(和訳)

市の法令に定められた各条項に基づき、災害リスク削減を目的とした地方防災計画を策定する。その後、市レベルの市民保護システムにおける計画の位置づけについて、関係部局と調整・見直しを行う。

次に計画は、市民保護評議会に提出され、同会議による審議・承認を経る。承認後、市議会の防災委員会において採択され、必要な予算措置および法的手続きのために市議会へ提出される。議会において承認・交付がなされ次第、具体的な防災事業の実施が開始される。事業完了後は、モニタリングおよび評価を通じて、計画の実施状況と成果の検証を行う。

■ メキシコ市

メキシコ市においては、行政的および法的な背景から、現時点では地方防災計画の正式な承認は行われていない。既存の計画承認プロセスに新たな地方防災計画を統合するには一定の時間を要するものの、今後も関係機関への働きかけを継続し、地方防災計画の推進を図っていく。

2025 年からは、メキシコ市議会への提案および承認に向けた調整を開始するとともに、広報・周知活動にも取り組む計画である。対策事業実施に向けた工程案を図 2.3 に示す。

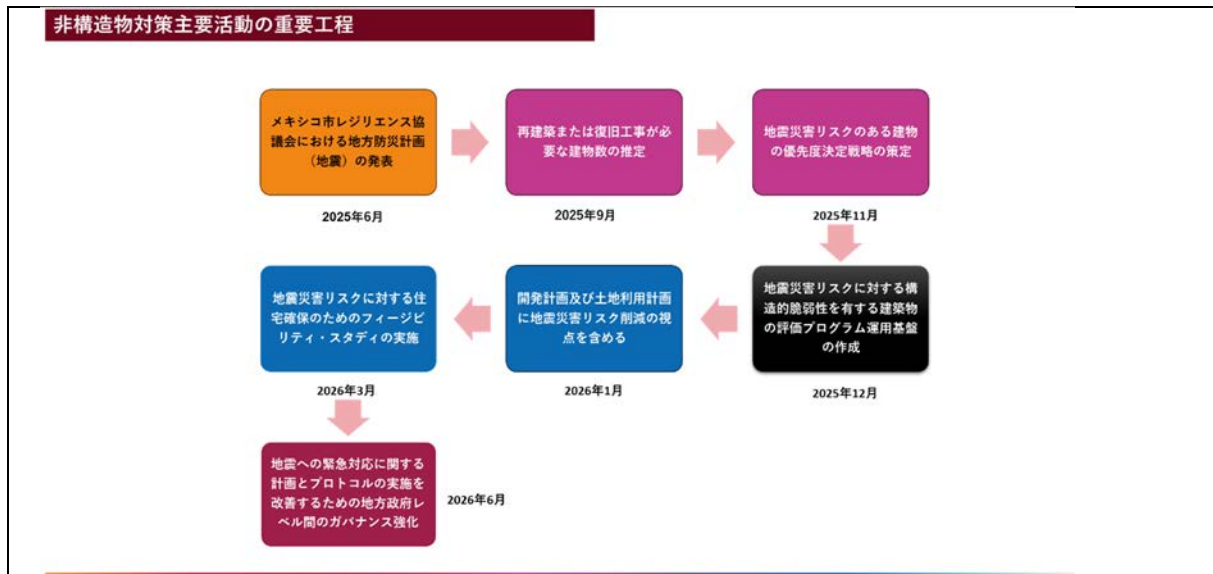


図 2.3 メキシコ市における対策事業実施の工程案

出典：メキシコ市地方防災計画実施工程より抜粋(和訳)

地方防災計画は、市のレジリエンス協議会において発表されたのち、地震災害リスクの軽減に向けた段階的な取り組みとして位置づけられる。この取り組みでは、再建築・復旧に必要な建築物数の推定を起点に、対策の優先度の検討、脆弱性のある建築物の評価を行う。その後、災害リスク削減の視点を開発計画や土地利用計画に統合し、住宅確保に関する実現可能性調査を経て、地方政府の地震災害リスクに対するガバナンス強化のためのステップとして計画されている。

(2) 活動の課題と工夫

メキシコは連邦制国家であり、州による権限の分担と地方自治が保障されている。連邦政府のCNPCが地方防災計画の策定を推進するにあたっては、州・市が連携した主体的な実施が不可欠である。また、現時点において、メキシコ国内には地方防災計画の策定に関する法的根拠がなく、計画策定後の承認プロセスや実施段階における制度的な裏付けが不十分である。さらに、州ごとに市運営の状況や政策実施の枠組みが異なることから、計画の持続性や実効性を確保するための承認プロセス、予算措置、事業実施に向けたアプローチにも多様性が見られると考えられる。

連邦政府による支援体制の工夫：一次パイロット地域における地方防災計画策定においては、CNPCが計画策定研修実施の役割を担い、州政府を通じて州および市を一体的に巻き込む体制を構築した。研修参加の段階から計画策定までを州・市の協働体制に基づき進めることに留意した。

段階的な策定ステップの設定：計画策定は、策定研修の実施に続き計画案の修正を行い、次ステップ研修の実施というサイクルを繰り返す形式で年間スケジュールを設計した。ステップごとに成果を達成し、CNPCと協議を重ねながら研修と実務作業を段階的に進行する計画とした。

計画の承認と上位計画への周知・推進、事業実施の推進：地方防災計画の法的根拠が不在であることから、承認プロセスの制度化は困難であり、州ごとの制度的背景や慣行を踏まえた柔軟なアプローチが必要である。このため、計画策定後の持続性確保の観点から、(1) 市・州の上位計画への組み込み、(2) 市議会等への広報活動による周知と承認の推進を重視し、一次パイロット地域との協議を通じて、それぞれの州・市に適した工程をロードマップに含めた。

2.3. 成果 2 にかかる活動

2.3.1. 地方防災計画策定手法の詳細について研修（2 回目）を開催する（活動 2-1）

(1) 活動内容

2022 年 10 月に地方防災計画策定手法の詳細についての研修（第 2 回及び第 3 回）を含む成果 2 全体（研修準備、研修開催、研修後のフォローアップ活動）にかかる活動計画案（今後のスケジュール案・活動計画案、研修プログラム案）を作成した。10 月 6 日に CNPC と活動計画案の説明・協議を実施し、CNPC は活動計画案に合意した。

2023 年 2～3 月に地方防災計画策定研修（第 2 回）における講義に必要な JICA の 8 ステップ手法にかかる講義資料及び演習に必要な教材等を作成した。メキシコにおいては発災後の緊急対応に重点が置かれていて、減災及び事前準備にかかる 8 ステップ手法に類似の CENAPRED 等の研修コースないし CNPC が地方自治体（市）を支援する事業等は実質的に存在しない事を確認した。

2023 年 3 月 7～10 日に 8 ステップ手法に基づく地方防災計画策定手法にかかる研修（第 2 回）を開催した。研修は AMEXCID 内の研修室で実施した。研修プログラム及び実施手法は表 2.12 に示すとおりである。

表 2.12 研修プログラム（第 2 回）及び実施手法

第 2 回地方防災計画策定研修日程	
2023 年 3 月 7 日	ステップ 1（ハザード情報の収集）＜講義＋演習＋成果発表＞
2023 年 3 月 8 日	ステップ 2（リスクの理解）＜講義＋演習＋成果発表＞
2023 年 3 月 9 日	ステップ 3（国家・関連機関の災害リスク削減計画の確認）
2023 年 3 月 10 日	ステップ 4（残余リスクの把握）＜講義＋演習＋成果発表＞
研修実施手法	
■ 講義：1 時間 作成した教材に基づき JICA 専門家が各ステップの内容を解説（3 月 9 日は CENAPRED 及び CONAGUA も講義）。 ■ 演習：4 時間 一次パイロット地域が、事前に収集した資料及び講義に基づき、テンプレートを埋める形で実際に地方防災計画（案）をステップ毎に作成。 ■ 成果発表：1 時間 一次パイロット地域が作成した地域防災計画（案）の概要をステップ毎に発表。	

出典：プロジェクトチーム

研修参加者は表 2.13 に示すとおりである。

表 2.13 一次パイロット地域 研修参加者

組織	職位
SGIRPC-CDMX	Director General
	Coordinator
	Chief
ICIPLAM	Director General
	Coordinator
チアパス州市民保護局	Risk Analyst

CENAPRED	Coordinator
	Deputy Director
CONAGUA	Chief
	Chief
CNPC	Area Director
	Area Deputy Director
	Area Director
	Chief

出典：プロジェクトチーム



地方防災計画策定研修（第2回）実施状況（於 AMEXCID）

研修の概要は以下のとおりである。

- 一次パイロット地域（メキシコシティ、チアパス州）、CENAPRED、CONAGUA、CNPC の研修生 14 名全員が一日も欠席することなく熱心かつ前向きに研修に参加した。
- 研修プログラムの講義、演習及び成果発表の時間配分はおおむね適切であった。
- 一次パイロット地域の研修参加者は、地方防災計画作成の演習に熱心に取り組み、演習の時間内に計画（案）（メキシコシティ（地震）、チアパス州（洪水））のワード原稿の大部分を完成させた。
- 演習に際して、CENAPRED と CONAGUA は、それぞれ一次パイロット地域が行った作業を積極的にサポートし、研修生としてのみならずティーチングアシスタントとしての役割も果たした。
- CNPC は、研修全体を適切に管理・運営すると共に、一次パイロット地域による演習を効果的に支援した。

(2) 活動の課題と工夫

メキシコ国においては、発災後の緊急対応にかかるアクションプラン的な計画は存在するもの

の、減災及び事前準備にかかる内容を含む地方防災計画は存在しない事がプロジェクト開始後に明らかとなった。このため、一次パイロット地域及び中央政府機関の研修参加者は地方防災計画策定にかかる知識・経験が十分ではない状態から計画を策定していかなければならない事が課題であった。研修参加者によっては過去の職務経歴が必ずしも防災を専門としてはいない事も課題であった。

このため、研修を含む以下の実践的な活動プロセスを経て、JICA 専門家の支援を受けつつも一次パイロット地域が自力で無理なく地方防災計画を策定していけるよう工夫した。

1. 研修実施に先立ち、8 ステップの該当ステップについて一次パイロット地域が計画策定に必要な資料をメキシコ国内の技術リソースとして事前に収集するよう、研修会場にそれら収集した資料を持参するよう依頼した。この際、計画策定の経験が無くてもどのような計画を策定するのかイメージが浮かぶように、計画で実際に作成する図や表の具体的なフォーマットを提示し、それを埋めるための資料を収集するよう依頼した。
2. JICA 課題別研修「中南米総合防災」2022（オンライン）に準拠して研修会場において対面形式で研修を実施し、講義、演習および成果発表を通じ、十分な時間をかけて一次パイロット地域が該当ステップの計画（案）原稿を完成できるように研修プログラムと実施手法を工夫した（上記(1)に記載）。
3. 研修終了後も、メールでのやり取りを通じて、一次パイロット地域が作成した各ステップの計画（案）の原稿を、JICA 専門家がレビュー・添削し、添削結果に基づいて修正作業を行うプロセスを複数回繰り返した。これにより、参加者が最終的に自力で計画（案）を完成できるよう工夫がなされた。

2.3.2. 治安市民保護省、市民保護総局、一次パイロット地域（州・市）は、一次パイロット地域（州・市）のハザード、リスク評価情報を収集し整理する（活動 2-2）

(1) 活動内容

2023 年 2～3 月に一次パイロット地域（メキシコ市、チアパス州）がハザード、リスク評価にかかる資料（ステップ 1 及び 2）を【2-1】の研修（第 2 回）に先立ち収集・整理した。

3 月に一次パイロット地域が【2-1】の研修（第 2 回）実施を通じて、収集した情報を整理した。一次パイロット地域は同研修完了後も自力で作業を継続し地方防災計画の該当部分（ステップ 1 及び 2）の計画（案）原稿を完成させた。

4 月に JICA 短期専門家が計画（案）原稿をレビュー・添削し、一次パイロット地域が添削結果に基づき修正作業を行うプロセスを経て、一次パイロット地域は地方防災計画（案）の該当部分（ステップ 1 及び 2）を完成させた。

(2) 活動の課題と工夫

節 2.3.1(2)で述べたとおり、メキシコ国には減災及び事前準備にかかる内容を含む地方防災計画は存在せず、一次パイロット地域の計画策定にかかる知識・経験が十分ではない事が課題であった。

このため、節 2.3.1(2)で述べたとおり、研修を含めた実践的なプロセスを経て、JICA 専門家の支援を受けつつも一次パイロット地域が自力で無理なく計画を策定していけるように工夫した。

2.3.3. 治安市民保護省、市民保護総局、一次パイロット地域（州・市）は、一次パイロット地域に関連する連邦・州の災害リスク削減の対策事業（中長期・構造物）を洪水災害・地震災害対策省庁と収集し、収集された事業の優先順位も分析し整理する（活動 2-3）

(1) 活動内容

2023 年 2～3 月に一次パイロット地域（メキシコ市、チアパス州）が連邦・州の対策事業にかかる資料（ステップ 3）を【2-1】の研修（第 2 回）に先立ち収集・整理した。CENAPRED 及び CONAGUA が連邦・州の対策事業にかかる資料（ステップ 3）にかかる講義資料を作成した。

3 月に一次パイロット地域が【2-1】の研修（第 2 回）実施を通じて、CENAPRED 及び CONAGUA の支援も得て、収集した情報を整理した。一次パイロット地域は同研修完了後も自力で作業を継続し地方防災計画の該当部分（ステップ 3）の計画（案）原稿を完成させた。その際に、収集された事業のうちメキシコ市、チアパス州についてそれぞれ CENAPRED（地震）、CONAGUA（洪水）（両者とも研修に研修生兼ティーチングアシスタントとして参加）の事業の優先度が高いことが確認された。

4 月に JICA 短期専門家が計画（案）原稿をレビュー・添削し、一次パイロット地域が添削結果に基づき修正作業を行うプロセスを経て、一次パイロット地域は地方防災計画（案）の該当部分（ステップ 3）を完成させた。

(2) 活動の課題と工夫

節 2.3.1(2)で述べたとおり、メキシコ国には減災及び事前準備にかかる内容を含む地方防災計画は存在せず、一次パイロット地域の計画策定にかかる知識・経験が十分ではない事が課題であった。

このため、節 2.3.1(2)で述べたとおり、研修を含めた実践的なプロセスを経て、JICA 専門家の支援を受けつつも一次パイロット地域が自力で無理なく計画を策定していけるように工夫した。

2.3.4. 治安市民保護省、市民保護総局、一次パイロット地域（州・市）は、2-2、2-3 の情報を精査し、残余リスクを明らかにする（活動 2-4）

(1) 活動内容

2023 年 3 月に一次パイロット地域が【2-1】の研修実施を通じて、【2-2】、【2-3】の情報を精査し、残余リスクを明らかにした（ステップ 4）。一次パイロット地域は研修完了後も自力で作業を継続し地方防災計画の該当部分（ステップ 3）の計画（案）原稿を完成させた。その際に各事業による時系列でのリスク低減効果を検討し残余リスクを明らかにした。

4 月に JICA 専門家が計画（案）原稿をレビュー・添削し、一次パイロット地域が添削結果に基づき修正作業を行うプロセスを経て、一次パイロット地域は地方防災計画（案）の該当部分（ステップ 4）を完成させた。

(2) 活動の課題と工夫

節 2.3.1(2)で述べたとおり、メキシコ国には減災及び事前準備にかかる内容を含む地方防災計画は存在せず、一次パイロット地域の計画策定にかかる知識・経験が十分ではない事が課題であった。

このため、節 2.3.1(2)で述べたとおり、研修を含めた実践的なプロセスを経て、JICA 専門家の支援を受けつつも一次パイロット地域が自力で無理なく計画を策定していけるように工夫した。

2.3.5. 一次パイロット地域内の災害種・保全保護対象に応じた対策を一次パイロット地域の視点で優先順位付け、工程、対策分類等を行い、結果を整理する（活動 2-5）

(1) 活動内容

2023 年 6 月に一次パイロット地域（メキシコ市、チアパス州）が防災対策及び優先順位付けにかかる資料（ステップ 5 及び 6）を【2-7】の研修（第 3 回）に先立ち収集・整理した。

6 月に一次パイロット地域が【2-7】の研修（第 3 回）実施を通じて、一次パイロット地域が実施すべき構造物/非構造物及び短期/長期の DRR 施策をリストアップし（ステップ 5）、その中から一次パイロット地域が優先的に実施すべき事業を選定した（ステップ 6）。一次パイロット地域は同研修完了後も自力で作業を継続し地方防災計画の該当部分（ステップ 5 及び 6）の計画（案）原稿を完成させた。

7 月に JICA 専門家が計画（案）原稿をレビュー・添削し、一次パイロット地域が添削結果に基づき修正作業を行うプロセスを経て、一次パイロット地域は地方防災計画（案）の該当部分（ステップ 5 及び 6）を完成させた。

10 月 24 日に、チアパス州（トゥクストラ・グティエレス市）がステップ 6 で選定したサビナル川流域の洪水対策の優先事業のうち代表的なサイトの状況を確認するために、図 2.4 に示す箇所の現地を視察した。ICIPLAM がチアパス州市民保護局、トゥクストラ・グティエレス市市民保護局、CONAGUA 及び専門家チームを案内して視察した。現地視察の結果は以下のとおりであり、優先事業の選定が適切であることが確認できた。



図 2.4 トゥクストラ・グティエレス市内のサビナル川沿いの現地視察位置

出典：プロジェクトチーム



Club Campestre 住宅地における住民が自費・自力で建設した洪水を一時的に貯留するためのダム



洪水時には氾濫した洪水を貯留して遊水機能を発揮するサビナル川沿いの公園



6 月 24 日通り沿いの支川のフラッシュ洪水を貯留するための調節池群の建設予定地



サビナル川本川と支川の合流点（サビナル川本川より支川の方が洪水被害が大きい。）

10 月 27 日に、メキシコ市がステップ 6 で選定した地震対策の優先事業のうち代表的なサイトの状況を確認するために現地を視察した。SGIRPC-CDMX が CNPC 及び専門家チームを案内して視察した。現地視察の結果は以下のとおりであり、優先事業の選定が適切である事が確認できた。



2017 年 9 月 19 日の地震で被災した Tlalpan 550 アパート（330 世帯）の耐震工事現場。メキシコ市が 3 億 3 千万ペソ（27 億 7 千万円）の資金を拠出し 3 年間の工期で施工中。アパートの棟と棟を連結する梁も施工した。



Tlalpan 550 アパート内部の施工現場。杭や壁を増強して耐震性能を向上させる予定。



2017 年 9 月 19 日の地震で被災した Maestro



同小学校の教室内の耐震補強工事現場。柱と梁を

Francisco César Morales 小学校の耐震工事現場。メキシコ市が 600 万ペソ（5 千万円）の資金を拠出し 6 ヶ月の工期で施工中。補強して耐震性能を向上させる予定。

(2) 活動の課題と工夫

節 2.3.1(2)で述べたとおり、メキシコ国には減災及び事前準備にかかる内容を含む地方防災計画は存在せず、一次パイロット地域の計画策定にかかる知識・経験が十分ではない事が課題であった。

このため、節 2.3.1(2)で述べたとおり、研修を含めた実践的なプロセスを経て、JICA 専門家の支援を受けつつも一次パイロット地域が自力で無理なく計画を策定していけるように工夫した。特に優先事業にかかる現地視察を実施し、現地にて優先事業の選定が適切である事が確認できるように工夫した。

2.3.6. 一次パイロット地域（州・市）は、2-5 の結果をもとに、一次パイロット地域（州・市）における最優先のリスク削減の対策事業（構造物）について予算、工程を精査し、事業案を作成する（活動 2-6）

(1) 活動内容

2023 年 6 月に一次パイロット地域（メキシコ市、チアパス州）が防災対策事業の予算、工程にかかる資料（ステップ 7）を【2-7】の研修（第 3 回）に先立ち収集・整理した。

6 月に一次パイロット地域が【2-7】の研修（第 3 回）実施を通じて、収集した情報を整理した。一次パイロット地域は同研修完了後も自力で作業を継続し地方防災計画の該当部分（ステップ 7）の計画（案）原稿を完成させた。その後、7 月に JICA 専門家が計画（案）原稿をレビュー・添削し、一次パイロット地域が添削結果に基づき修正作業を行うプロセスを経て、一次パイロット地域は地方防災計画（案）の該当部分（ステップ 7）を完成させた。

(2) 活動の課題と工夫

節 2.3.1(2)で述べたとおり、メキシコ国には減災及び事前準備にかかる内容を含む地方防災計画は存在せず、一次パイロット地域の計画策定にかかる知識・経験が十分ではない事が課題であった。

このため、節 2.3.1(2)で述べたとおり、研修を含めた実践的なプロセスを経て、JICA 専門家の支援を受けつつも一次パイロット地域が自力で無理なく計画を策定していけるように工夫した。

2.3.7. 地方防災計画策定手法の詳細について研修（3 回目）を開催し、治安市民保護省、市民保護総局、一次パイロット地域（州・市）は、2-4、2-5、2-6 の結果を一次パイロット地域の地方防災計画案としてまとめる（活動 2-7）

(1) 活動内容

2023 年 5～6 月に地方防災計画策定研修（第 3 回）における講義に必要な JICA の 8 ステップ手法にかかる講義資料及び演習に必要な教材等を作成した。

2023 年 6 月 14～16 日に 8 ステップ手法に基づく地方防災計画策定手法にかかる研修（第 3 回）を開催した。研修は AMEXCID 内の研修室で実施した。研修プログラム及び実施手法は表 2.14 に示すとおりである。研修参加者は研修（第 2 回）と同じである（表 2.13 参照）。

表 2.14 研修プログラム（第 3 回）及び実施手法

第 3 回地方防災計画策定研修日程	
2023 年 6 月 14 日	ステップ 5（減災施策群の立案）＜講義＋演習＋成果発表＞
2023 年 6 月 15 日	ステップ 6（減災施策群の優先順位付け）＜講義＋演習＋成果発表＞
2023 年 6 月 16 日	ステップ 7（資金確保の方策検討）＜講義＋演習＋成果発表＞
研修実施手法	
■ 講義：1 時間 作成した教材に基づき JICA 専門家が各ステップの内容を解説する。 ■ 演習：4 時間 一次パイロット地域が、事前に収集した資料及び講義に基づき、テンプレートを埋める形で実際に地方防災計画（案）をステップ毎に作成する。 ■ 成果発表：1 時間 一次パイロット地域が作成した地域防災計画（案）の概要をステップ毎に発表する。	

出典：プロジェクトチーム



地方防災計画策定研修（第 3 回）実施状況（於 AMEXCID）

研修の概要は以下のとおりである。

- 一次パイロット地域（メキシコシティ、チアパス州）、CENAPRED、CONAGUA、CNPC の研修生 14 名全員が一日も欠席することなく熱心かつ前向きに研修に参加した。
- 研修プログラムの講義、演習及び成果発表の時間配分はおおむね適切であった。
- 一次パイロット地域の研修参加者は、地方防災計画作成の演習に熱心に取り組み、演習の時間内に計画（案）のワード原稿の大部分を完成させた。
- 演習に際して、CENAPRED と CONAGUA は、それぞれ一次パイロット地域（メキシコシティ（地震）、チアパス州（洪水））が行った作業を積極的にサポートし、研修生としてのみならずティーチングアシスタントとしての役割も果たした。
- CNPC は、研修全体を適切に管理・運営すると共に、一次パイロット地域による演習を効果的に支援した。

(2) 活動の課題と工夫

節 2.3.1(2) で述べたとおり、メキシコ国には減災及び事前準備にかかる内容を含む地方防災計画は存在せず、一次パイロット地域の計画策定にかかる知識・経験が十分ではない事が課題であった。

このため、節 2.3.1(2) で述べたとおり、研修を含めた実践的なプロセスを経て、JICA 専門家の支援を受けつつも一次パイロット地域が自力で無理なく計画を策定していけるように工夫した。研修（第 2 回）の実施手法と時間配分はほぼ適切で無理が無かったため、研修（第 3 回）も同様の手法で実施した。

2.4. 成果 3 にかかる活動

2.4.1. 地方防災計画策定の概要について研修（4 回目）を開催する（活動 3-1）

(1) 活動内容

地方防災計画策定にあたり、策定プロセスの最終段階に位置付けられる「実施・モニタリング・評価案の作成（ステップ 8）」に関する研修を実施する。本研修では、地方防災計画を策定する市が、計画の実施に必要なプロセスや体制、進捗状況のモニタリング方法、さらには計画改定の手順など、実施段階における運用手法を理解し、それに基づいて実施および改定に向けた体制の検討を行うことを目的とする。

2023 年 10 月 23 日、チアパス州トゥクストラ・グティエレス市において、また同年 10 月 26 日にはメキシコ市において、第 4 回地方防災計画策定研修（ステップ 8）を実施した。本研修は、地方防災計画策定のための 8 ステップ手法に基づき、地方防災計画策定の最終段階にあたるステップ 8 に関する内容を対象としたものであり、各市が策定した計画の実施およびモニタリング・評価体制の構築に向けた検討を目的として実施された。

研修は、チアパス州トゥクストラ・グティエレス市商工会議所会議室、メキシコ市防災局会議室

で実施した。研修日程及び実施手法を表 2.15 に示す。

表 2.15 研修プログラム（第 4 回）及び実施手法

第 4 回地方防災計画策定研修日程	
2023 年 10 月 23 日	チアパス州トゥクストラ・グティエレス市 地方防災計画策定演習（ステップ 8）＜講義＋演習＋成果発表＞
2023 年 10 月 26 日	メキシコ市 地方防災計画策定演習（ステップ 8）＜講義＋演習＋成果発表＞
研修実施手法	
■ 講義：1 時間 作成した教材に基づき JICA 専門家が各ステップの内容を解説する。 ■ 演習：4 時間 一次パイロット地域が、これまでの研修で策定した地方防災計画案に基づき、計画の実施、モニタリング、改定を検討し（ステップ 8）、改革に記載する。 ■ 成果発表：1 時間 一次パイロット地域が作成した地域防災計画とモニタリング案について発表する。	

出典：プロジェクトチーム

研修では、一次パイロット地域（チアパス州・メキシコ市）ともに、計画の実施、モニタリング、改定について深く議論し、モニタリング評価案を作成するとともに、これまで作成した地方防災計画案の最終章への記載を行い、原稿を完成した。



地方防災計画策定研修（第 4 回）実施状況
（於トゥクストラ・グティエレス市商工会議所）



地方防災計画策定研修（第 4 回）実施状況（於メキシコ市防災局会議室）

(2) 活動の課題と工夫

地方防災計画は、本研修において策定されているが、計画策定後は計画に基づく事業の実施と、その継続的な計画の更新が重要な課題となっている。

こうした課題に対応するため、各パイロット市において研修を開催し、市の防災関係機関の参加を促進することで、計画内容の理解促進と周知の強化を図った。また、本研修では、これまで実施してきた計画策定内容を振り返りながら、策定された対策事業が着実に実施されること、そして計画が継続的に活用される体制づくりの重要性を、研修の主催機関および参加者と共有した。

2.4.2. 治安市民保護省、市民保護総局、一次パイロット地域（州・市）は、一次パイロット地域の地方防災計画案について、実施におけるモニタリング評価案を作成する（活動 3-2）

（1）活動内容

第4回地方防災計画策定研修において、一次パイロット地域（チアパス州・メキシコ市）ともに、計画の実施、モニタリング、改定について議論を行い、モニタリング評価案を以下の内容で作成した。地方防災計画の実施に係る進捗管理と評価を行うための枠組みを示し、計画の実行と持続的な改善を目的としている。

■ 地方防災計画実施モニタリングおよび評価案

1) 関係組織による事業実施の調整

地方防災計画に基づく各事業の実施にあたっては、所管する担当機関が調整主体となり、定期的な会合等を通じて進行状況の確認、課題の把握、及び関係機関間の連携を図る。

定期的な会議で明らかになった問題点や課題については、その原因を分析した上で、実行可能な解決策や改善策を策定・共有する体制を整える。

2) 事業進捗モニタリング

災害リスク軽減のための各対策事業については、担当実施機関によりモニタリングを実施する。計画策定の段階で作成された各優先対策事業について、事業ごとに定めたスケジュールに基づき、定期的な進捗確認を行う。

進捗上の課題や遅れが生じた場合には、その原因を特定し、具体的な対応策および改善策を速やかに検討・実施する。

3) 地方防災計画の評価

この地方防災計画は、地方自治体（州・市）が主体となり定期的な評価を行う。関係機関と定期的な会合を開き計画を評価する。本評価案において評価の組織と期間、会議の頻度を定めた。

4) 地方防災計画の見直し・改訂

地方自治体（州・市）は、必要に応じて地方防災計画の見直しを行う。モニタリング報告書に基づく地方防災計画の評価結果に基づき、計画の見直しを行う。

計画の見直しにあたっては、関係組織と見直しの頻度を決定した。計画のレビューと見直しは、地方防災計画の評価結果を踏まえ、実施段階で発生した遅れや課題、その背景となる要因の分析を行う。

(2) 活動の課題と工夫

地方防災計画の実効性と持続性の確保について、計画策定後、市において策定された内容が具体的な対策事業の実施へとつながることが重要である。また、地方防災計画は、自然条件の変化や関連法規制の改正、対策事業の進捗状況、複数セクターとの連携状況の変化等に対応し、適宜更新・改善されていく必要がある。

こうした背景を踏まえ、事業実施のモニタリング案を検討する段階においては、事業の実施主体および関係機関を明確化した上で、定期的な協議と進捗確認を行うための時期や頻度を明示した標準的なフォームの作成を行った。

さらに、計画策定後における継続的な取り組みとして、策定した地方防災計画を州や市の上位計画へと反映させ、また地方議会への紹介や提案を行うためのロードマップについて、本研修内で協議と検討の機会を設けた。この活動により、地方防災計画が単発的な取り組みに終わらず、地域において持続的に活用・発展していくための基盤整備を図った。

2.5. 成果 4 にかかる活動

2.5.1. 一次パイロット地域自治体（州・市）の支援を受けながら、二次パイロット地域を選定する（活動 4-1）

(1) 活動内容

CNPC とプロジェクトチームは、災害リスク、政策における防災の重視度合、過去の JICA の課題別研修研修への参加、本プロジェクトへの関心などから総合的な検討を行い、ベラクルス州とゲレーロ州を二次パイロット地域として推薦し、2023 年 6 月 20 日に開催された第 2 回 JCC 会議において提案され合意した。

二次パイロット市の選定について、ゲレーロ州とベラクルス州が選定された後、2023 年 10 月に活動を実施する州内の対象市の選定に係る調整を行った。ゲレーロ州から 2 市が選定され、ベラクルス州からは対象候補の 4 市が提示された。CNPC は、ベラクルス州担当者を含めた協議のうえで 2 市が選定された。パイロット市は表 2.16 に示す。

表 2.16 二次パイロット地域対象パイロット市

対象州	対象パイロット市	
Guerrero ゲレーロ州	Zihuatanejo de Azueta シワテネホ・デ・アスエタ市	Acapulco de Juárez アカプルコ・デ・フアレス市
Veracruz ベラクルス州	Minatitlán ミナティトゥラン市	Las Choapas ラス・チョアパス市

出典：プロジェクトチーム

(2) 活動の課題と工夫

二次パイロット州・市の選定にあたっては、メキシコ国土の広大さや地理的条件の多様性から、

選定に時間を要することが懸念された。しかしながら、選定プロセスにおいて特段の問題や課題は生じず、円滑に候補地域が決定された。

パイロット州の選定に関する協議は、CNPC が主体となり、一次パイロット地域における地方防災計画策定研修の開始直後から早期に検討が進められた。その結果、適切なタイミングでパイロット州の決定がなされ、第 2 回 JCC 会議において承認を得ることができた。この迅速な対応により、事業計画に遅れが生じることなく、関連する活動を予定通りに実施することができた。

このような判断と対応は、翌年から開始される二次パイロット地域での地方防災計画策定における円滑な実施を見据えたものであり、計画推進の好事例として、今後の類似事業における重要な教訓となるものである。

2.5.2. 地方防災計画策定手法の詳細について研修（5 回目）を開催する（活動 4-2）

（1）活動内容

メキシコ側が主体となり、地方自治体（州・市）向け地方防災計画策定の全国展開を視野に入れて、地方防災計画策定研修が実施された。

2024 年 2 月 8 日および 2 月 15 日には、同年 3 月に予定されている二次パイロット地域向け地方防災計画策定研修に先立ち、CNPC 主導によるオンライン研修が開催された。

2 月 8 日の研修では、プロジェクト全体の概要をはじめ、地方防災計画策定の目的と内容、ならびに「8 ステップ手法」に基づく計画策定の進め方に関する講義が行われた。さらに、研修開始前の準備段階に位置づけられるステップ 0「市のプロファイル作成」に関する要綱の説明も行われ、講師はすべて CNPC が担当した。

続いて、2 月 15 日には、JICA シニアアドバイザー・西川智氏による基調講演「日本における防災の経験に基づく防災対策の推進」が実施され、日本の知見と経験を活かした防災対策の重要性について紹介がなされた。これらのオンライン研修は、3 月に実施される本格的な対面研修に向けた意識醸成および準備活動として、重要な役割を果たした。

2024 年 3 月 11 日から 13 日にかけて、二次パイロット地域向けの地方防災計画策定研修が開催された。本研修では、地方防災計画の策定手法を二次パイロット地域の市に対して実践的に導入するとともに、計画策定に向けた演習も併せて実施された。初日の 3 月 11 日に、一次パイロット地域であるチアパス州およびメキシコ市が講師として登壇し、それぞれの地方防災計画策定に関する経験を共有した。これにより、二次パイロット地域における計画策定活動への理解が促進された。

さらに、過去の JICA 実施の災害リスク削減分野の課題別研修および、第 2 回本邦研修「地方防災計画を通じた災害リスク削減への投資促進」の参加者が、それぞれのアクションプランを発表し、これまでの学びと成果を共有した。

また、2 月 8 日のオンライン研修にて説明された「市のプロファイル作成」については、対象となる二次パイロット市が作成した内容を発表し、研修本編の開始に向けた準備が整ったことが確認された。本研修は、計画策定の導入段階として、知見の共有と準備の確認を通じて、効果的なスタートを切るための重要な機会となった。



二次パイロット地域向け地方防災計画策定研修実施の様子（於 AMEXCID）

(2) 活動の課題と工夫

活動の課題として、二次パイロット地域向けの地方防災計画策定研修は、災害リスク削減に関する地方防災計画の経験が豊富ではない、あるいは未経験の州・市職員を対象としており、かつメキシコ側が初めて主体となって実施するものであった。そのため、一次パイロット地域で実施された研修や計画策定と比較して、研修の実施日程や計画策定スケジュールに遅れが生じ、全体の計画策定進捗に影響を及ぼすことが懸念された。

CNPC は、一次パイロット地域での研修実施の経験を活かし、二次パイロット地域向け研修の計画を見直した。当初予定していた研修開始時期を前倒しし、2024 年 2 月から研修を開始する計画とした。また、前年の段階から二次パイロット州・市の選定を進め、研修と計画策定に必要な期間を戦略的に確保した。

これらの工夫により、二次パイロット地域においても、研修の実施および計画の策定をプロジェクト期間内に遅延なく進めることが可能となった。

2.5.3. 治安市民保護省、市民保護総局は、一次パイロット地域と技術支援チームまたは講師人材を決定する（活動 4-3）

(1) 活動内容

2024 年 3 月 15 日に CNPC と会議を行い、CNPC が策定したステップ 0-8 に係る二次パイロット地域への地方防災計画策定研修の計画案に基づき、二次パイロット市へ研修のための技術支援チーム・講師人材のリストの確認を行い、決定した。講師人材は、CP である CNPC・DGPC のセクター調整課(DCS)と普及・コミュニケーション課(DDC)が中核となり、技術機関である CENAPRED や CONAGUA、一次パイロット地域に各研修の支援をしてもらうこととした。その後、各ステップの研修内容を検討する中で、メキシコの実例を取り入れることや、メキシコの背景等に合った内容とすることとし、決定した講師人材の他にも、新たな技術支援機関として SEDATU を講師として研修に招待した。

(2) 活動の課題と工夫

本プロジェクトは、多くの機関が関わっていることから、二次パイロット市の研修の実施体制を

検討する上で、どこの機関がどの講義の担当をするか等の調整が必要であった。円滑で、確実な研修実施を実施するために、研修実施の主体者・調整役は CNPC とすることとした。技術機関である CENAPRED や CONAGUA には、ハザード情報、地震、洪水に関する各ステップに関連する講義を依頼した。また、一次パイロット地域には、彼らが策定した防災計画の内容例の紹介を行ってもらうこととした。加えて、講師人材については、当初決定した固定の人材ではなく、フレキシブルな形としてオープンに考え、各研修の内容に基づいて、適切な機関から、グッドプラクティスや防災事業内容の紹介をすることを重要視した。

2.5.4. 治安市民保護省、市民保護総局は、一次パイロット地域（州・市）の関係機関や自治体と調整し、地方防災計画策定研修プログラム案を立案する（活動 4-4）

(1) 活動内容

本活動は、当初のプロジェクトデザインでは、ステップ 1 からステップ 8 の全ての地方防災計画策定研修プログラム案を作成してから、二次パイロット市への研修実施を予定していたが、二次パイロット市への研修実施（活動 4-6）を 2 ステップずつ行いながら、同時並行で進めることとした。策定する研修プログラム教材は、メキシコの背景、既存の研修システムおよび教材等メキシコのリソースを活用したものを作成したいとの CNPC の意向から、一次パイロット地域に使用した、各ステップの教材内容や防災計画策定のフォーマットを、メキシコに合った形で CNPC と作成することとした。例えば、ステップ 1 のハザード情報の理解の部分では、CENAPRED が所管している全国の災害情報、履歴、また人口や家屋数が集約されている全国リスクアトラスの活用方法について紹介、災害履歴の整理では、メキシコ政府が発した緊急事態宣言の時系列整理を行う内容とした。



CNPC との研修内容作成協議の様子

各ステップの研修実施後は、研修実施した結果を基に改善しつつ、全国展開用に更に分かりやすい内容とするようにし、地震や洪水に特化した内容を強化するスライドを追加で作成した。全国普及のための研修教材として、パワーポイントによる教材と講師用マニュアルを作成した。教材の作成、修正については、講師を担当した CNCP と CENAPRED で作業分担した。

あわせて、PM から、動画形式の研修教材も有用であるとの意見があり、録画していた二次パイロット地域向け研修内容を編集し、研修用動画として作成することとした。完成した動画は、今後 CNPC が運営する防災啓発ウェブサイト「Preparados」(www.preparados.gob.mx) にアップロードし、希望者がオンラインで視聴できる体制とすることを想定した。

(2) 活動の課題と工夫

当初のプロジェクトデザインでは、ステップ 1 からステップ 8 の全ての地方防災計画策定研修プログラム案を事前に作成することを想定していた。しかしながら、CNPC と協議を重ねながら作成を進める必要があったため、時間が要する上に、専門家の渡航日数にも限りがあり、スケジュールの面で制約が生じた。

そのため、CNCP と研修実施について二次パイロット地域への研修の実施を検討するにあたり、短期間で二次パイロット地域の研修の実施を行うのではなく、計 4 回、約 1 年かけて実施する計画とした。これにより、専門家が渡航していない期間にも、遠隔で時間をかけて研修教材作成を進めることが可能になり、また二次パイロット地域も、各ステップの研修後、防災計画の内容を各市役所内部で詰めるための時間を確保することができた。研修教材の内容も、研修実施を通し、地方自治体（州・市）の職員の理解度を確認し、理解度レベルに合った教材に改善する必要性も見つかったため、より良い研修教材作成にも功を奏した。

2.5.1. 治安市民保護省、市民保護総局は、一次パイロット地域（州・市）の関係機関等と、地方防災計画策定手法研修実施計画を作成する（活動 4-5）

(1) 活動内容

2024 年 3 月から、PM も交えて、研修プログラムの活用場所・普及のあり方について、意見交換を行ってきた。結果として、2028 年までの全国普及のための筋道を記載した研修実施計画は、図 2.5 のようにまとめ、2025 年 3 月に最終化した研修教材は、今後 CNPC が実施する対面研修において活用する予定である。研修においては、地方防災計画の作成主体や内容を明確にしつつ、CNPC 内での実施主体は CP が所属している DGPC の DCS、DDC が担うこととした。プロジェクトの技術支援機関である CENAPRED の協力も得ながら、2028 年までに 3 州もしくは 3 市における地方防災計画での策定を目指す。



CNPC との研修実施計画についての協議の様子

加えて、8 ステップを基にした地方防災計画のフォーマットや研修教材を反映させた、これまでの研修動画についても、CNPC が運営する防災啓発ウェブサイト「Preparados」に格納し、対面研修の対象とならない州や市も閲覧できる体制を整えることが計画された。また、CNPC の研修カタログの 1 つのプログラムとして、8 ステップのイントロダクション講義を開設することを目指す。

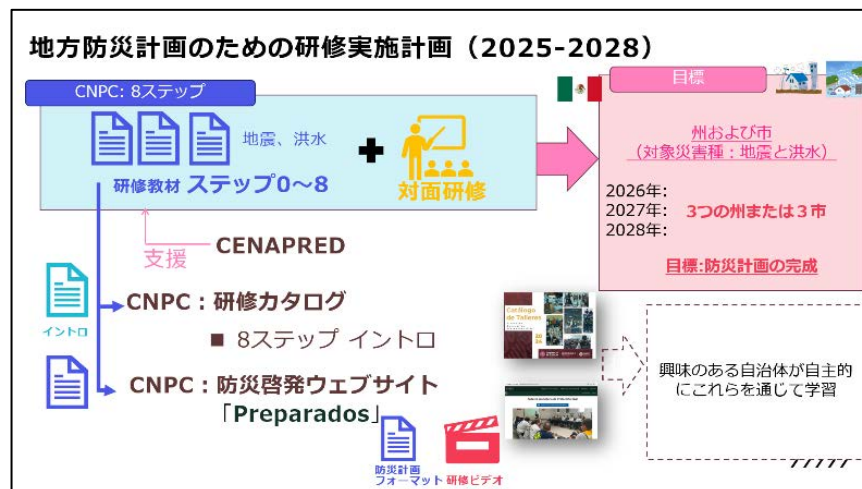


図 2.5 研修実施計画 概要図

出典：プロジェクトチーム

(2) 活動の課題と工夫

CNPC の対面研修を中心に、地方防災計画の普及・展開について検討を行ったが、各年度に CNPC が研修を実施する場合でも、防災計画の内容のブラッシュアップに係るフォローアップを考慮すると、年間で研修が可能な市の数は3~4市に限られると考えられた。また、二次パイロット市に対する研修を通じで、たとえ州が研修対象市を選定したとしても、実際に市職員に防災計画策定に対する強い意欲がなければ、研修から途中離脱する可能性もあることが確認された。このことから、防災計画策定へのモチベーションが高い市を選定する重要性が再確認された。さらに、研修実施計画の内容を CNPC とともに協議して進めてきたが、2024 年 5 月以降、国内広域での自然災害発生による対応にて現場に派遣されることが増え、計画の内容について協同で検討し、進めることが難しくなったことが課題であった。

これらの状況から、プロジェクトで作成した研修教材は、CNPC の対面研修のみの閉鎖的なものとはせず、全国展開に向けて、興味のある様々な州や市が、簡単にでも防災計画の策定の手法や内容について知ることができるよう、オンラインでアクセス可能な環境を整えることを重視した。CNPC の研修カタログの 1 つの研修として、8 ステップのイントロダクションの講義を開設することにより、CNPC の対面研修受講を行う予定の州や市、もしくは、防災計画の策定を行いたいと希望する州・市が、防災計画の策定の目的、内容を理解し、対面研修の受講の判断にも活用することや、防災計画の作成を独自にも始めるきっかけを作ることとした。

研修実施計画の策定のプロセスにおいては、対面やオンラインの協議に加え、文書化し、ドキュメントとして共有する形で意見交換を行った。これにより、CP が自身の時間があるタイミングで内容を検討できるようになり、効率的な作成が可能となった。様々な意見やアイディアを共有できる環境を整え、お互いの認識のずれをなく活動を進める工夫を行った。

2.5.2. 治安市民保護省、市民保護総局は、一次パイロット地域（州・市）の関係機関等と、地方防災計画策定手法及び研修紹介を目的とした全国フォーラムを開催する（活動 4-6）

(1) 活動内容

2024 年 3 月に CNPC PM との協議にて、CNPC が毎年開催している全国 32 州の市民防災局長が集う全国市民保護フォーラムを 2024 年 10 月に開催し、開催に合わせて地方防災計画策定の普及活動を実施することが提案された。その後、雨季前の 2024 年 5 月にバハ・カリフォルニア州で同フォーラムが開催されることとなり、PM によるプレゼンの際に、本プロジェクトにおいて一次パイロット市が地方防災計画を策定したことや、今後全国展開を目指し、研修プログラムを作成していくことが説明された。



2024 年全国市民保護フォーラムにて発表する PM

2025 年 5 月には、ユカタン州メリダにおいて、CNPC 主催の雨季および熱帯低気圧シーズンの開始にあわせた全国市民保護フォーラムが 3 日間にわたり開催され、全国の州市民保護局、自治体

(州・市)、防災関係機関から多くの参加者が集まった。CNPC の市民保護局 (DGPC) は、地方防災計画に関するセッションを設け、5 月 9 日午前中に実施した。

このセッションでは、地方防災計画および関連プロジェクトの概要、一次・二次パイロット地域での成果、さらには上位計画への反映状況などが紹介され、各州からの参加者との活発な意見交換や質疑応答が行われた。また、会場ではポスターの掲示や資料の配布を通じて、地方防災計画策定 8 ステップ手法とプロジェクト活動説明資料を広く周知し、普及活動も展開された。

フォーラムでの地方防災計画のセッションには、22 州から約 120 名が参加し、地方防災計画の策定およびその全国展開に向けた普及の重要な一歩となった。



全国市民保護フォーラムでの地方防災計画に係るセッションの実施状況（ユカタン州メリダ市）

(2) 活動の課題と工夫

全国フォーラムの開催時期について、2024 年 11 月より CNPC への打診を行ってきたが、頻発する自然災害対応等のため、CNPC 側で検討することが難しい状況が続いていた。そのため、CNPC には、プロジェクト独自で開催する場合と、CNPC が実施している全国市民保護フォーラムと合同で実施する場合の検討を行い、提案を行った。プロジェクト独自で開催する場合は、CP の負担低減やメキシコ全国の州・市が参加しやすいようハイブリッドで実施することを提案した。

また、全国市民保護フォーラムでの発表の機会は、全国への普及展開を目的として行うが、加えて、プロジェクトの一次パイロット地域、二次パイロット地域が策定した防災計画の成果紹介の場とし、彼らの防災計画の策定に対する努力への認知、称賛も兼ねつつ、今後の防災計画の内容実施に向けた動機づけを高める機会とすることを目指した。

2.5.3. 治安市民保護省、市民保護総局は、一次パイロット地域（州・市）の関係機関等と、二次パイロット地域への研修を実施する（活動 4-7）

(1) 活動内容

二次パイロット地域への研修は表 2.17 のスケジュールで、4 回に分けて研修を実施した。共通した防災計画策定研修の流れとして、1 日 1 ステップの講義とし、ステップの内容に関する講義は、CNPC が実施し、技術支援機関と一次パイロット地域による事例紹介を行った。講義後は、一次パイロット地域の助言を受けながら、各市ステップの記載を進めた。研修後、各二次パイロット地域は、該当ステップの記載を締め切りまでに CNPC に提出する流れで実施した。その後、CNPC と専門家はコメントを行い、各二次パイロット地域は、コメントを基に修正をした原稿を返送し

た。次の研修初日は、返送された原稿の修正時間とし、各ステップの最終化を目指した。研修では、各ステップに関連した防災のテーマについて、一次パイロット地域のみならず、二次パイロット地域も各市の事情や例を基に、フリーディスカッションできる時間も設け、ハザード情報や防災施策への理解を深める機会となった。以下に、各研修の要点をまとめる。

表 2.17 二次パイロット地域への研修スケジュール

	開催時期	8 ステップ研修内容
1	2024 年 3 月 11 日-13 日	ステップ 0、1、2
2	2024 年 5 月 13 日-15 日	ステップ 3、4
3	2024 年 11 月 19 日-21 日	ステップ 5、6
4	2025 年 3 月 24 日-26 日	ステップ 7、8

出典：プロジェクトチーム

第 1 回研修（ステップ 0、1、2）の講義では、メキシコのリソースに合わせて実施することを目的として、ステップ 1 では、全国リスクアトラスの活用方法、ステップ 2 では、iGOPP、災害リスクとリスク管理指標（IGR）の活用について紹介された。また、研修後は、第 2 回地方防災計画策定研修に不参加だったゲレーロ州アカプルコ市に対する補講が CNPC 主体によりオンラインで実施された。

第 2 回研修（ステップ 3、4）の講義では、イントロダクションとして、防災に関わる機関とその役割に関するエクササイズを取り入れ、メキシコの防災施策の仕組み、メキシコ連邦レベルにおける災害リスク削減に貢献した事業実施例の紹介を技術支援機関が実施した。第 3 回研修から新たに SEDATU からの協力を得ることとなり、今後研修において土地利用に関する視点を取り入れることとなった。

第 3 回研修（ステップ 5、6）では、ステップ 1-4 の理解不足により、二次パイロット地域の防災計画の内容が混乱している事態を受けて、復習の時間を設けることとした。防災計画の修正を行う時間では、ファシリテーターとして、CNPC の CP から各市の担当者を定め、支援する体制とした。講義では、CONAGUA より治水事業の実施状況、CNPC よりメキシコにおける地震対策の例、SEDATU より土地利用に災害リスクを配慮するよう定められた公式基準 NOM006 の説明が行われた。演習では、防災施策のブレインストーミングを行いやすいよう、大きな模造紙へ付箋で書き込んでいく形にした。

第 4 回研修（ステップ 7、8）では、各州・市が活用できる連邦レベルの防災予算として、CNPC が事務局となっている防災基金の紹介を行い、その仕組みや申請方法等について共有した。また、最終回の防災計画策定研修であったため、研修を通して得た、防災計画策定の利点とは何かについて参加者同士で発表しあった。第 4 回研修をもって、全ての二次パイロット地域への地方防災計画策定研修は完了となり、2025 年 4 月中に、二次パイロット地域はステップ 7、8 の作成とその他の部分の修正作業を行い、その後、C/P と JICA 専門家がレビューを行った。これらの作業を経て、5 月に、二次パイロット地域の地方防災計画（案）が策定された。



第1回研修（2024年3月）



第2回研修（2024年5月）



第3回研修（2024年11月）



第4回研修（2025年3月）

二次パイロット地域地方防災計画策定研修実施状況(於 AMEXCID)

(2) 活動の課題と工夫

CNPC の主導で、二次パイロット地域の研修を進めていったが、一次パイロット地域と比べて、二次パイロット地域の市職員の理解がスムーズではなく、提出された防災計画の内容にも不足が伺えた。加えて、2023年10月に発生したハリケーン・オーティスは、二次パイロット地域であるグレーロ州アカプルコ市で大きな被害をもたらす等、研修期間中に発生した災害対応と復興支援のため、研修へ参加することが難しくなることもあった。

これらの状況を受け、CNPC から各市の担当者を定め、ファシリテーターとして支援する体制を取ることにした。各回の研修初日には、前回研修の復習と各市が記載した防災計画の内容を CNPC と共にマンツーマンで、修正する作業時間を設け、不足部分を補うようにしにした。このマンツーマンセッションを行うため、CNPC の8ステップの理解と、講師としての能力向上を目指し、事前に専門家と CNPC で、提出された各市の防災計画策定のレビューを共に行い、どのような点を直さなければならないのかについて、各ステップの目的を再度明確にした。各市が作成した防災計画の内容へコメントを行う作業は、CNPC に率先して行ってもらうようにし、専門家による補足コメントを入れる形にした。



CNPC と二次パイロット市職員による防災計画修正作業の様子

また、二次パイロット地域の研修参加が叶わなかった場合は、CNPC によるオンライン補講の実施や、参加した州職員が研修後、市をフォローアップする体制を取る等、CNPC と州のリードにより、全ての市が8ステップを最後まで書きあげられるよう、支援体制を取った。

3. プロジェクト実施運営上の課題・工夫・教訓

3.1. 地方防災計画策定研修実施における自治体の継続的な参加と計画策定の促進

(1) 課題

地方防災計画策定研修の実施にあたっては、参加するパイロット地域の自治体（市）の研修への継続的な参加が困難となったことや、計画策定のプロセスにおいて進捗の遅延が生じる事例が確認された。特に、二次パイロット地域の一部市においてこの傾向が顕著であった。

その主な要因として、市の市民保護局（防災担当部局）の人的リソースの不足が考えられる。例えば、以下のような状況が背景にある：

- 対象地域において自然災害の発生頻度が高く、かつ被害が激甚化していること
- 頻発する災害対応に多くの時間と労力が割かれ、通常業務や計画策定へのリソースが確保しにくいこと
- 防災担当部署における人員不足により、災害リスク削減に係る業務の経験を有した専門人材の確保が難しくなっていること

これらの課題は、本プロジェクトの研修実施に限らず、今後のメキシコ国内における地方防災計画の普及と実施にも影響を与えると考えられる。

(2) 工夫と教訓

このような状況を踏まえ、プロジェクトでは地方防災計画策定の遅れや市の参加継続の困難さに対応するための対策を講じた。

まず、地方防災計画策定においては、州の防災部局が研修に参加し、市の計画策定作業を支援・フォローアップする体制を構築した。また、災害対応などの理由で市の担当者が研修に参加できない場合でも、研修内容の共有や後日の個別サポートを可能とする仕組みを整備した。これらの点について、州と合意を得たうえで実施した。

メキシコの特徴的な、行政の連絡プロトコルとして、市への情報伝達は、連邦政府から州政府を経由して行われる制度となっているため、州と市の円滑な連携が重要である。そのため、本プロジェクトでの活動では、州・市の合同参加を促し、相互の協力関係を深め、地方防災計画策定が円滑に進められよう努めた。

今後同様の課題が想定される他地域においても、州政府の積極的な関与が成功の鍵となることが重要であると考えられる。この経験は、今後メキシコ国内における地方防災計画の策定および対策事業の実施を推進するうえで、広く適用が可能である。

3.2. メキシコの市の市民保護局に適した地方防災計画策定研修の実施

(1) 課題

一次パイロット地域における地方防災計画策定研修および計画策定作業は、2023 年 3 月に開始され、同年 11 月までに 3 回の研修を実施し、8 ヶ月程の時間をかけて、2023 年 12 月に計画のドラフトを完成させた。一次パイロット地域の州および市の研修参加者には、事前に JICA 課題別研修「中南米総合防災」において地方防災計画策定演習の受講経験を有する者も含まれていたため、研修内容や計画策定手法に関する情報共有が円滑に行われ、計画策定がスムーズに進行したと考えられる。

その後、翌年 2024 年 3 月からは、メキシコ側が主体となって二次パイロット地域向けの地方防災計画策定研修が開始された。研修は、一次パイロット地域での経験を踏まえ、より余裕を持たせたスケジュールで進められ、2025 年 3 月に研修を完了、1 年 2 ヶ月程の時間をかけて、同年 5 月に計画案が策定された。

二次パイロット地域の研修では、3.1「地方防災計画策定研修実施における自治体の継続的な参加と計画策定の促進」に記載のとおり、災害緊急対応や人的リソースの不足といった要因により、一部市において計画策定の進捗に遅れが見られたことに加えて、研修内容の説明だけでは、理解が困難であった様子も伺え、地方防災計画策定にあたっては、遠隔と対面による複数回の修正作業を行った。

一方で、二次パイロット地域向けの地方防災計画策定研修の参加者の多くは、市の消防署を指揮する消防に特化した職員が選定されており、災害リスク削減の地方防災計画に係る経験を有さない、もしくは少ない市職員が対象となった。

(2) 工夫と教訓

上記の状況から、二次パイロット地域向け地方防災計画策定研修の実施に向けて、一次パイロット地域の地方防災計画策定研修に参加した担当者に対し、二次パイロット地域向け計画策定研修への参加と、指導とコメント、経験の共有を依頼し、積極的に参画してもらうようにした。一次パイロット州および市の参加者は、二次パイロット地域の演習グループに加わり、各ステップにおいて技術的な支援や知見の共有を行うなど、具体的かつ効果的なサポートを提供した。この取り組みにより、二次パイロット地域の参加者は、先行事例に学びながら計画策定を進めることが可能となった。

本プロジェクトは、地方防災計画策定の普及および事業実施の推進を上位目標としていることから、今後の展開においても、計画策定を行った自治体（州・市）による知見と経験の継承が極めて有効であることが確認された。

また、二次パイロット地域での研修を通し、メキシコの小規模な市においての市民保護局（防災担当部局）は、防災の知識や経験が豊富ではない担当者が配置されていることが想像された。これらの状況を踏まえた適切な研修の在り方を含め、メキシコ側が初めて防災計画策定について主体となって実施するものであったため、研修実施と計画策定に係る今後の展開に向けた貴重な知見を得る機会となった。

3.3. 多数のステークホルダーを巻き込んだプロジェクト実施体制

(1) 課題

本プロジェクトには、多数の技術機関やパイロット州・市が関与しており、JCC 議事録の署名者も多岐にわたった。特に CNPC、AMEXCID、CONAGUA、CENAPRED など、関係機関の署名者はいずれも局長レベルであった。さらに、JCC 議事録の署名者としてパイロット州も含めることとなった背景には、パイロット州が市と共に防災計画策定を進める上で州とのコミットメントを示すこと必要であるとの認識であった。その結果、JCC 議事録には最終的に 9 機関の署名が必要となった。

しかし、遠隔に位置するパイロット州が毎回 JCC のために首都に赴くことには限度があり、署名の取り付けは郵送で進めることとなった。その過程では、署名者が入院したことで手続きが一時中断されるなどの想定外の事態もあり、署名の完了には最終的に約 5 か月を要することとなった。

(2) 工夫と教訓

JCC 開催に先立ち、各関係機関に署名案を送り、内容確認を依頼する形とした。また、メキシコ国内の地理的制約から、JCC 会議にすべてのパイロット州・市が参加することが困難であったため、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型として実施することとした。

本プロジェクトにおいては、JCC 議事録を含む公式文書への署名に関し、関係機関の局長格が署名者となっていた。その結果、プロジェクトに関与する全機関が署名者となり、調整や手続きに多くの時間を要することとなった。今後メキシコのプロジェクトを実施するにあたっては、JCC 議事録の署名者については、関係機関すべてが必ずしも署名者とならずともよいよう、JICA、AMEXCID、CNPC などの代表機関のみを署名者とする最低限の体制について、事前に合意形成を図ることが望まれる。

4. プロジェクト目標の達成度

4.1. 各成果における達成度

4.1.1. 成果 1 における達成度

成果 1 は、一次パイロット地域において、地方防災計画策定にむけた目標・手法・計画が整理され、実施体制が整えられることを目的とした活動を実施した。

第 1 回地方防災計画策定研修において、地方防災計画策定の 8 ステップ手法の概要を共有し、事前防災投資の重要性について関係者間で共通認識を深めることを目的として実施された。

メキシコにおける地方防災計画策定の現状と、防災政策・ガバナンスに係るメキシコの州別の分析を通じ、地方防災計画策定における課題と、一次パイロット地域（州・市）が取り組む計画策定に向けた活動を検討した。これらの活動を通じ、CNPC が主体となり、一次パイロット地域のための地方防災計画策定に係る工程を策定し、実施体制、計画策定の主体、ならびに技術的支援を担う機関を明確化した。計画の策定は、約 1 年の期間をかけ、計画策定研修と計画案の最終化を行う工程とした。

また、一次パイロット市における計画策定後の計画承認と実施に向けたアクションについて、重要工程をロードマップとして記載した。地方防災計画の策定後、その内容を市・州の上位計画に組み込む承認プロセスを推進することは、計画の普及および持続性の確保において重要であり、計画に基づく防災事業の優先的な実施や予算措置の推進は、市にとってのインセンティブとなり、策定活動の促進につながるものと考えられる。表 4.1 に、成果 1 の指標に基づいた達成状況と課題をまとめる。

表 4.1 成果 1 指標の達成状況

成果	指標	達成状況	課題
1. 一次パイロット地域において、地方防災計画策定にむけた目標・手法・計画等が整理され実施体制が整えられる。	■ 1-1. 関係組織の役割を明確にした地方防災計画の策定、承認、実施のためのロードマップもしくはアクションプラン。	■ 1-1. 地方防災計画の策定、承認、実施のためのロードマップを含むアクションプランが作成された。(100%)。	■ 地方防災計画の上位計画への記載、議会での承認については、各一次パイロット市においてプロジェクト終了後もフォローアップを継続する。

出典：プロジェクトチーム

4.1.2. 成果 2 における達成度

一次パイロット地域（メキシコ市及びチアパス州）が地方防災計画策定研修及びその後の JICA 専門家による原稿の添削を通じて地震（メキシコ市）及び洪水（チアパス州）にかかる具体的なリスク削減対策を含む地方防災計画（案）を自力で完成させた。

今後は、一次パイロット地域が計画策定にとどまらず、計画（案）で提案した具体的なリスク削減対策を着実に事業として実施していく裏付けとなるモニタリングを含む体制整備と予算措置が必要となる。

メキシコ国においては、発災後の緊急対応にかかるアクションプラン的な計画は存在するものの、減災及び事前準備にかかる内容を含む地方防災計画は存在しなかった。本研修は一次パイロット地域による計画（案）の策定のみならず、今後の CNPC による市向けの地方防災計画策定研修

のベースとして活用できるものとなった。表 4.2 に、成果 2 の指標に基づいた達成状況と課題をまとめる。

表 4.2 成果 2 指標の達成状況

成果	指標	達成状況	課題
2. 一次パイロット地域において、対象災害別のリスク削減の対策事業案計画(案)を含んだ地方防災計画(案)が策定される。	■ 2-1. 一次パイロット地域によって策定された、具体的なリスク削減対策を含む地方防災計画。	■ 2-1. 一次パイロット地域により具体的なリスク削減対策を含む地方防災計画が策定された(100%)。	■ 一次パイロット地域が地方防災計画の策定を通じて提案した具体的なリスク削減対策を着実に事業として実施していくためのモニタリングを含む体制整備と予算措置が必要である。

出典：プロジェクトチーム

4.1.3. 成果 3 における達成度

成果 3 は、地方防災計画策定プロセスの最終段階に位置付けられる「実施・モニタリング・評価案の作成（ステップ 8）」に関する研修を実施し、地方防災計画を策定する市が、計画の実施に必要なプロセスや体制、進捗状況のモニタリング方法、計画改定の手順など、実施段階における運用手法を理解し、それに基づいて実施および改定に向けた体制の検討を行うものである。

研修では、一次パイロット地域（チアパス州・メキシコ市）ともに、計画の実施、モニタリング、改定について深く議論し、モニタリング評価案を作成するとともに、これまで作成した地方防災計画案の最終章に記載し原稿を完成した。表 4.3 に、成果 3 の指標に基づいた達成状況と課題をまとめる。

表 4.3 成果 3 指標の達成状況

成果	指標	達成状況	課題
3. 地方防災計画実施モニタリング評価案が作成される。	■ 3-1. 地方防災計画実施について評価するためのモニタリングシート。	■ 3-1. 地方防災計画（ステップ 8）においてモニタリング方針がまとめられ、モニタリング評価案が作成された(100%)。	■ 計画策定後、地方防災計画の承認と上位計画への記載、議会への推進を通じ、関係機関とのモニタリング評価の実施の定着化を図ることが必要である。

出典：プロジェクトチーム

4.1.4. 成果 4 における達成度

CNPC と共に、二次パイロット地域への研修計画として、1 年間に渡り計 4 回の研修実施スケジュールを組んだ後、各研修の準備をする中で、研修教材を作成した。研修プログラムの内容は、一次パイロット地域での研修で専門家が作成したものをベースとしたが、メキシコの法令、防災体制、防災施策事例、背景、一次パイロット地域が作成した地方防災計画の例を更に取り込んだ形とすべく、作成した。研修実施後は、二次パイロット地域における防災計画策定の進捗状況や課題を踏まえ、研修教材の内容や防災計画策定のためのフォーマットを見直し、より分かりやすく実用的なものとなるように改良を加えた。

作成した研修教材を活用し、防災計画策定の全国展開に向け、2025-2028 年における研修実施計

画を CNPC と共に作成した。研修実施の主体は CNPC とし、目標として、2028 年までに 3 州もしくは 3 市での策定を目指すものとした。二次パイロット地域での研修経験を踏まえ、州との対話を重視し、関心の高い市を選定することとした。また、確実性のない内容を計画に記載せず、研修を実施する段階で、対象とする州と市を選別する方針とした。

表 4.4 成果 4 指標の達成状況

成果	指標	達成状況	課題
4. 一次パイロット地域自治体での地方防災計画策定プロセスをもとにした研修プログラムが立案される。	4-1. カリキュラムおよび講師人材・資料リスト付の研修計画の作成。 4-2. 2025～2028 年における、担当機関および見込のある対象州・地方自治体に向けた、研修の実施計画。	4-1. カリキュラムおよび講師人材・資料リスト付の研修計画が作成された（100%）。 4-2. 2025～2028 年における研修実施計画が策定された（100%）。	2025-2028 年における研修実施計画については、対象州・市についても検討したが、C/P の意向として確実性のないことは記載できないことから、未記載とし、数値目標だけを記載した。

出典：プロジェクトチーム

4.2. プロジェクト目標に対する達成度

本プロジェクトの目標は、一次パイロット地域（州・市）において、具体的な災害リスク削減対策を含む地方防災計画案を策定するとともに、その策定手法を研修コースとして体系化することである。これらの目標は、「地方防災計画の策定」と「研修実施計画の作成」という二つの軸で構成されている。

一次パイロット地域における地方防災計画は、地方防災計画策定研修を通じて、チアパス州トゥクストラ・グティエレス市およびメキシコ市においてそれぞれ策定された。また、研修実施計画は、一次パイロット地域での研修成果を踏まえ、2024 年 3 月から実施された二次パイロット地域向けの研修を通じて研修プログラムが整備され、教材とともに研修実施計画として取りまとめられた。各ステップで得られた研修成果は、教材およびプログラムの改善に反映され更新された。

地方防災計画の事業実施の面においても一定の進展が見られた。チアパス州トゥクストラ・グティエレス市では、策定された地方防災計画が州の土地利用開発計画に組み込まれ、管理予算が配分されるに至った。また、市の予算により、計画に基づく一部の対策事業がすでに開始されている。一方、メキシコ市では、2025 年より市議会に対し地方防災計画の紹介が予定されており、地震対策に関するアクションプランの提示が行われている。

研修実施計画について、策定された研修実施計画およびビデオ教材等を含む研修教材を活用し、2025 年以降に他の自治体（州・市）への研修実施を進めることで、地方防災計画の全国的な普及を図る予定である。表 4.5 に、プロジェクト目標の指標に基づいた達成状況と課題をまとめる。

表 4.5 プロジェクト目標指標の達成状況

プロジェクト目標	指標	達成状況	課題
メキシコ国パイロット地域自治体が、中央防災機関、洪水災害・地震災害対策省庁、地方政府の役割を明確化した具体的な	- 最低 2 箇所の一次パイロットサイトで地方防災計画が策定される。 - CNPC によって研修計画が作成される。	1. 一次パイロット地域のチアパス州、メキシコ市において地方防災計画が策定された。（100%）	一次パイロット市の地方防災計画の議会、上位計画への承認アプローチを継続する。事業実施について、大規模で連邦

スク削減の対策事業案を含む地方防災計画案を策定し、その策定手法がコースとして纏められる。		■ 2.地方防災計画策定のための研修実施計画が策定された（100%）。	政府との連携事業が必要な事業に対し、市と州の連携による予算措置、事業推進が望まれる。
--	--	-------------------------------------	--

出典：プロジェクトチーム

5. 上位目標の達成に向けての提言

5.1. プロジェクト上位目標と指標

プロジェクト終了後、メキシコ側による持続的な成果発現と、パイロット地域以外への水平展開を評価するため、表 5.1 に示す上位目標及びその指標が設定されている。

CNPC は全てのプロジェクト活動において主体的に取り組むとともに、プロジェクト内に限らず、常に地方自治体（市）への防災に関する能力強化に係る新たな取り組みを続けている。

表 5.1 上位目標と指標

上位目標	指 標
メキシコでの地方防災計画を通じた防災への事前投資が促進される。	- 一次、二次パイロット地域の少なくとも 2 つの市が、2028 年 6 月までに、国際機関、国家機関、州機関、または市の財政当局に対し、優先対策のいずれかに関する資金提供提案/要請を提出する。 - 一次、二次パイロット地域の少なくとも 2 つの市が、2028 年 6 月までに、優先対策のいずれか（構造的対策または非構造的対策）を実施する。 - 一次、二次パイロット地域外の少なくとも 3 つの州または市が、2028 年 6 月までに、地域防災計画策定方法について研修を受ける。

出典：プロジェクトチーム

以下に、上位目標と指標の内容に基づき、上位目標達成のための提言を示す。

5.2. 防災計画策定の全国普及に向けた提言

■2025-2028 年の防災計画策定研修実施にあたって

CNPC は、プロジェクトの上位目標である、地方防災計画策定を通じて防災への投資を促進することを目指し、活動 4-5 で作成した研修実施計画に記載されているように、今後、8 ステップ手法に基づく地方防災計画策定の対面研修を実施する。2028 年までの対面研修の対象とする州・市について、候補等は挙げなかったが、州と市が合同参加し、実施することが、市の防災計画の内容への州の理解や、州による市への策定支援を行う上でも、重要である。この点については、2025 年 3 月 28 日に開催したプロジェクト成果・進捗共有会議において、プロジェクト上位目標の達成に向けた取組みとして確認されている。また、参加する市の職員については、防災部門に限らず、他部門の職員も巻き込んで研修を実施することが重要である。これは、防災計画に対する市職員全体の理解を深めるとともに、災害時の緊急対応による人手不足の影響で防災計画策定作業が中断することを防ぐという観点からも、有効な取り組みである。

具体的な研修対象とする州や市については、本プロジェクトのパイロット州である、チアパス州、ゲレーロ州、ベラクルス州において、プロジェクトにおける地方防災計画策定を実施していない、州内の他市をターゲットとすることも、この活動の利点の理解と防災計画策定の意欲の高さから、円滑に実施するという点で良い選択肢である。

■2028 年以降の防災計画策定研修に係る取り組み

2028 年以降の更なる全国普及に向けた取り組みとしては、以下について提言する。

● 他の災害種に関する研修教材の作成

本プロジェクトでは地震と洪水を対象の災害種として研修教材を作成したが、津波災害、火山災

害、地すべり・土石流等の土砂災害といった他の災害種別に関する研修教材も作成することが、全国展開を行う上で必要である。

- 州レベルにおける指導者養成プログラムの構築

メキシコには約 2,500 の市があるため、市における地方防災計画策定を全国レベルで促進するためには、州の協力と連携が不可欠である。CNPC は、対面式の研修プログラムの実施経験を重ねた後、州の防災職員へのトレーニング・オブ・トレーナーズ（TOT）の研修プログラムを策定し、州が市の地域防災計画を策定支援する体制を構築することを提案する。

- 研修プログラムの自己学習型オンラインコースへの変換

各市がそれぞれのペースで学び、防災計画の策定を進められるようにするためには、これまでの研修実施経験を踏まえた自己学習型の地方防災計画策定オンラインコースの整備が望まれる。こうしたコースは、CNPC のウェブサイト「Preparados」や、ENAPROC プログラムの一部として開設することが推奨される。

- 防災計画策定のインセンティブづくり

防災計画策定のインセンティブとして、様々なアプローチが考えられる。例えば、防災基金については、防災基金の申請の際に、防災計画策定が一つの評価点になる等、防災計画策定が予算確保にも貢献する制度とすることが推奨される。評価者にとっても、アドホック的な事業申請ではなく、市全体の災害リスクと優先すべき事業を考慮した防災計画に基づいた予算申請であることが明確となるため、防災基金をより効果的に活用するうえでも有益である。地方防災計画策定を行っている自治体名を、CNPC のウェブサイトにて公表することでインセンティブとする案については、CNPC において検討していくことが継続される。

また、各市の計画策定の意欲を高めるために、防災計画策定と実施の優良事例を CNPC の全国市民保護フォーラムで紹介することを継続し、市による防災事業への努力と実績の認知を行い、メキシコとして防災事業のモデル市の構築を目指していくことも、有効であると考えられる。

5.3. メキシコにおける防災計画の承認、予算確保、実施への提言

- 防災計画の実施体制の確保

本プロジェクトの実施を通し、防災計画を策定した一次、二次パイロット地域は、今後防災計画の承認、予算確保、実施を進めていくこととなる。各市においては、まず防災計画の内容や目的について市長をはじめ、市議会や災害リスク管理に関わる評議会に対して説明を行い、理解と承認を得るための働きかけを行うことが不可欠である。市長や関係部署、市議会、ステークホルダーに加え、市防災委員会などの既存の防災関連委員会が発足している市もあるため、これらの委員会への適切なアプローチと活用が、防災計画の理解促進および承認に向けた重要な鍵となる。例えば、一次パイロット地域のメキシコ市の承認のためのロードマップには、市のレジリエンス協議会への発表というステップが示された。市防災委員会が存在しない場合、防災委員会の新設を通して、防災計画の防災事業のモニタリングや再検討等を行うための中心的な組織として確立することも、今後円滑に防災計画を実行していくために重要である。

また、予算の確保、実施にあたっては、防災計画の法的位置づけを含め、州・市によって対応が異なることが想定される。そのため、各市が状況に応じて適切な方法を模索し、対応を進めてい

くことが重要である。

一次パイロット地域のトゥクストゥラ・グティエレス市での経験を通し、メキシコにおいて、各市で防災計画策定の後、防災計画が承認され、予算が付くようになるためには、市の開発計画に防災計画の内容が反映されることが一つの筋道であることが分かった。トゥクストゥラ・グティエレス市では、市のみならず、州の開発計画に防災計画の内容が組み込まれ、防災計画の内容を実施するための管理予算がつけられ、事業の実施に向かうこととなった。トゥクストゥラ・グティエレス市のように、上位計画である市や州開発計画の一部として取り込むことも一案である。加えて、市の防災計画ではあるが、その内容や意義について、州知事等、州レベルにも内容を説明し、理解してもらうことは、州からの予算確保や州による事業実施においても重要な要素である。

■防災に関する既存予算の活用

防災対策事業実施の予算確保の面においては、市のインフラ予算等の基本的な財源を活用することがまず、第一である。そのためには、上述の通り、防災計画の位置づけを明確にし、予算が付く枠組みの中に組み込んでいくことが大切である。その他、活用できる他資金として、連邦政府の防災基金や、州において緊急対応予算とは別に設定されている防災予算がある。それらの財源の活用のための提言について、以下に述べる。

● 自然災害予防のため国家基金（Programa Fondo de Prevención de Desastres Naturales (FOPREDEN)）の活用

自然災害予防のため国家基金（以下、「防災基金」）については、中央政府機関、中央・地方の公的研究機関、州政府機関が申請可能な制度である。市がこの防災基金を活用する場合には、州を通じて申請することは可能であり、州政府が主体となって申請、事業の実施を行うことになる。そのため、州政府と市政府との連携が強固でないと、事業の実施は難しく、実際に市が防災基金を活用した事例が限られているのが現状である。

加えて、防災基金の申請内容自体が市にとって高いハードルとなっていることも課題である。市が申請しても容易に採択されない理由のひとつとして、申請審査の評価項目に「過去 5 年以内に作成されたハザードマップの有無」含まれていることが挙げられる。しかしながら、多くの市ではこのハザードマップが整備されていないのが実情である。そのため、市が防災基金を活用するには、まずはハザードマップの整備を目的とした申請から始める必要がある。

上記の背景を踏まえると、市による防災基金の活用を促進するためには、申請のハードルが下げるような制度改善が望まれる。例えば、申請書の要件である「過去 5 年以内のハザードマップの整備」を、「過去 10 年以内」に緩和するなどが考えられる。CNPC リスク管理局との協議では、これら申請の要件は法令により定められていることから、変更には議員を通じたアプローチを行うなど、時間を要することが課題となることが挙げられた。また、州政府を介さずに、市が直接防災基金に申請できる制度の整備も、有効なアプローチとして考えられる。これにより、市がより主体的に防災事業を推進することが可能になると期待できる。

● 州防災予算の活用

州の防災予算についても、積極的に活用していくことが望まれる。たとえば、ゲレーロ州では、法令上、州として防災予算を確保されることが定められており、市の防災事業にも活用可能な予算となっている。しかしながら、これまでは緊急対応にのみ焦点が当てられていたため、事前防災投資としての活用事例が少なく、市で実際に使用されているケースは確認されていない。今後

は、州レベルで資金規模を明確化し、どの程度の予算が市に割り当てられるかを把握することが重要である。市もその動向を捉え、適切に活用することが必要である。また、このような、利用可能な予算については、州から市への適切な情報提供と周知が不可欠である。

これらの状況を踏まえると、メキシコにおいて、州による市の防災予算確保への支援が重要であると考えられる。そのためにも、市は、防災計画に記載された事業内容や優先事業を州に対し明確に共有・発信し、積極的にアピールしておく必要がある。一方で、州や、市が必要とする予算を適切に確保できるよう、防災基金の申請支援や、州が保有する防災予算の活用に向けた支援を行うことが求められる。また、市の防災計画に記載された示された、州の役割としての防災事業についても、市と連携・協議を重ね、州が積極的に実施していくことも重要である。

添付資料

Project Design Matrix (PDM)

Project Design Matrix

Ver.4, Dated January 15, 2025

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico

Executive Agency: Federal Level: National Coordination of Civil Protection (CNPC), Secretary of Security and Citizen Protection

Collaborating Agency: Mexican Agency for International Development Cooperation (AMEXCID)

Target Group: National Water Commission (CONAGUA) and National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)

Technical and Management level: personnel of Mexico City and State of Chiapas

Target Area: Mexico City, State of Chiapas (First Pilot Areas), States of Veracruz and Guerrero (Second Pilot Areas)

Cooperation Period: 36 months (3 years)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal	1. At least 2 cities of the First and Second Pilot Areas have submitted a funding proposal/request for one of their priority measures by June 2028, either with international, national, state, or municipal financial authorities. 2. At least 2 cities of the First and Second Pilot Areas have implemented one of their priority measures (either structural or non-structural) by June 2028. 3. At least 3 states or municipalities outside the First and Second Pilot Areas have been trained and learned the methodology of Local DRR Plans by June 2028.	'- DRR reports of the First and Second Pilot Areas - Project Completion Report - Project Monitoring Sheet	State and local governments have sufficient budget for the implementation of local DRR plans.
Promote, through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (DRR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.			
Project Purpose	1. Local DRR Plans and their roadmaps made, at least, by the two First Pilot Areas. 2. Training plan and its implementation strategy made by CNPC and CENAPRED.	'- Project Completion Report - Project Monitoring Sheet	
1. Formulate Local Plans of DRR with concrete risk reduction measures and identify the role of each institutions involved. 2. Design a training program using the methodology for making Local Plan of DRR.			
Outputs	1. Roadmap or action plan for the formulation, approval, and implementation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved.	'- Project Completion Report - Project Monitoring Sheet	
1. In the First Pilot Areas, an implementation system is organized to make Local DRR Plans with its own goals, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.			
2. In the First Pilot Areas, Local DRR Plans are formulated, with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as earthquake and flood.	1. Local DRR Plans formulated by the First Pilot Areas, with concrete risk reduction measures.	'- Project Completion Report - Project Monitoring Sheet	
3. A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans.	1. Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	'- Project Completion Report - Project Monitoring Sheet	
4. A training program is designed based on the methodology for making Local DRR Plans and empirical knowledge of the First Pilot Areas.	1. Training plan for making Local DRR Plans with curriculum, and list of instructors and materials. 2. Implementation plan for 2025-2028, including responsible organization(s) and possible target states/municipalities.	'- Project Completion Report - Project Monitoring Sheet	
Activities	Inputs		Pre-conditions
	Japanese Side	Mexican Side	
1-1 Hold a workshop about the methodology for making Local DRR Plans.	(1) Assignments of Experts One long-term expert -Project Coordinator (36 months) Three short-term experts -Earthquake DRR Plan -Flood Control Measures	(1) Assignment of Counterpart Personnel - Project Director - Project Manager - Two Project Officers (2) Office space and facilities for Japanese experts (basic operation cost) - Office space and facilities - Utilities and Internet connections (3) Local cost for project	The project activities development would not be adversely affected by the epidemiological situation of COVID-19.
1-2 Collect and organize the information about current situation of making Local DRR Plans at state and municipal level in Mexico.			
1-3 Analyze issues related to the development and implementation of Local DRR Plans and identify the related institutions that could be involved for formulating Local DRR Plans, based on the information collected with the activity 1-2.			
1-4 Make a roadmap or action plan for formulating Local DRR Plans with the related institutions identified in the activity 1-3.			
2-1 Hold a second detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans.			
2-2 Collect and analyze information on hazard and risk assessment of the First Pilot			

Areas at state and municipal level.	-DRR Investment Promotion	implementation	
2-3 Collect and organize information about all DRR projects with structural measures implemented by the Federal and State Governments in the First Pilot Areas.	(2) Equipment		
2-4 Identify the residual risks based on the information obtained in the activities 2-2 and 2-3.	-N/A		
2-5 Examine and prioritize countermeasures to implement in the First Pilot Areas.	(3) Training for counterpart personnel in Japan		
2-6 Formulate a structural countermeasure proposal analyzing the engineering process and budget, based on the information obtained in the activity 2-5.	-8 steps for making Local DRR Plans and DRR policy at national and local level		
2-7 Hold a third detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans and assemble all the proposal countermeasures as a Local DRR Plan of the First Pilot Areas, based on the results obtained in the activities 2-5 and 2-6.	-Hazard identification in earthquakes and floods		
3-1 Hold a fourth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans.	-DRR planning with structural and non-structural countermeasures		
3-2 Formulate a monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.			
4-1 Select the Second Pilot Areas with the support of the First Pilot Areas (state and municipality).			
4-2 Hold a fifth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans.			
4-3 Organize a technical support team and/or select instructors to disseminate the Local DRR Plans formulation methods to the Second Pilot Areas.			
4-4 Prepare a training program proposal for formulating Local DRR Plans in coordination with the related institutions of the First Pilot Areas.			
4-5 Prepare an implementation plan for Local DRR formulation training at Second Pilot Areas and the nation.			
4-6 Hold a national forum to disseminate the methods for formulating Local DRR Plans and training program.			
4-7 Carry out the training to the Second Pilot Areas.			

Plan of Operation (PO)

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico																																							
Inputs				Year		1st Year				2nd Year				3rd Year				Remarks																					
						2022				2023				2024						2025																			
				Month	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
Expert																																							
Project Coordinator																																							
				Plan																																			
Expert Team Leader / Earthquake DRR Plan																																							
				Actual																																			
Flood Control Measures																																							
				Actual																																			
DRR Investment Promotion																																							
				Actual																																			
Equipment																																							
NA																																							
				Plan																																			
				Actual																																			
Training in Japan																																							
1st Training course in Japan 2nd Training course in Japan 3rd Training course in Japan KCCP on DRR mainstreaming																																							
				Plan																																			
				Actual																																			
In-country Training																																							
NA																																							
				Plan																																			
				Actual																																			

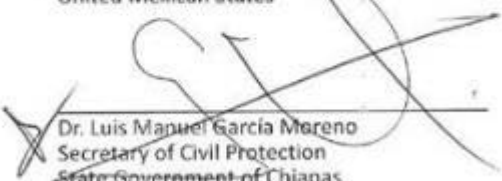
第1回合同調整会議（JCC）議事録

MINUTES OF MEETING
OF THE
FIRST MEETING OF THE JOINT COORDINATING COMMITTEE
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE UNITED MEXICAN STATES
FOR AMENDMENT OF THE RECORD OF DISCUSSIONS
ON
THE PROJECT FOR STRENGTHENING OF THE DISASTER RISK REDUCTION
GOVERNANCE IN MEXICO


Mr. Hajime Tsuboi
Director General
Mexico Office
Japan International Cooperation Agency


Mr. Raúl Álvarez Villaseñor
Director General of Project Operation in
Mexico
Mexican Agency for International
Development Cooperation (AMEXCID)
United Mexican States


Mr. Enrique Guevara Ortiz
Director General
National Center for Disaster Prevention
(CENAPRED)
United Mexican States


Dr. Luis Manuel García Moreno
Secretary of Civil Protection
State Government of Chiapas


Ms. Laura Velázquez Alzúa
National Coordinator of Civil Protection
Secretariat of Security and Citizen
Protection
United Mexican States


Mr. Germán Arturo Martínez Santoyo
Director General
National Water Commission (CONAGUA)
United Mexican States


Ms. Myriam Vilma Urzúa Venegas
Secretary of Integrated Risk Management
and Civil Protection
Government of Mexico City
United Mexican States

United Mexican States

The Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico (hereinafter referred to as "the Project") has launched on June 24th, 2022 based on an agreement on the Record of Discussion (R/D), which was signed on March 2nd, 2022 between National Coordinator of Civil Protection of Ministry of Security and Citizen Protection (hereinafter referred to as "CNPC") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

The Project has been implemented in collaboration between the implementing body of General Direction of Civil Protection (hereinafter referred to as "DGPC"), and related federal and state agencies and JICA Expert Team.

Both parties organized the 1st Joint Coordinating Committee (JCC) on September 29th, 2022, to discuss the implementation of the Project. As the result of the discussion, the representatives of relevant agencies agreed on the matters referred to in the documents attached hereto.

Mexico City, September 29, 2022

[Handwritten signatures and initials in blue ink, including a large checkmark and various initials, are present on the page.]

ATTACHED DOCUMENT

The following points were discussed and agreed in the 1st Joint Coordinating Committee (JCC) meeting.

1. Project outline based on the work plan

Japan International Cooperation Agency (JICA) project team leader made a presentation on the project outline based on the work plan. As a result of the presentation and discussions, the JCC members approved the project scheme based on the work plan.

JICA project team leader explained that JCC will be established AS A CENTRAL ORGAN TO PROMOTE in order to facilitate inter-organizational coordination, JCC will be held at least once a year and whenever it deems necessary between the project and related institutions. JCC will approve an annual work plan, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of the project and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the project and the JCC members understood and agreed with that. JICA project team leader explained that National Coordinator of Civil Protection Secretariat of Security and Citizen Protection (CNPC) is the main counterpart agency, CENAPRED and CONAGUA are the technical supporting agencies and Mexico City and the State of Chiapas are the first pilot areas to formulate local disaster risk reduction plans through the project and the JCC members understood that.

2. Monitoring of the project

The monitoring of the project and its format were explained and distributed to JCC members prior to the JCC and agreed upon at the JCC. The monitoring report aims at obtaining the information on the progress and results of the project activities based on the Project Design Matrix (PDM).

3. Baseline survey results

The baseline survey results related to the PDM indicators aimed at measuring project effects were shared by CNPC and discussed with JCC members. The JCC members approved the contents of the Baseline survey.

4. List of participants in the training program

The JCC members reviewed the list of the members who participated in the first training session held on September 26 and 27, 2022 in Mexico City, and agreed that these members will continue joining the training program of the Project.

5. Revision of the Project Design Matrix (PDM)

Based on the discussion between the JICA project team and the CNPC prior to the JCC, the PDM was revised. The revised PDM (Annex 3) were distributed and explained to the JCC members. The JCC members approved the revision of the PDM.

Annex 1: Project Outline

Annex 2: List of the revision of the PDM

Annex 3: Revised Project Design Matrix (PDM)

Annex 4: Revised Plan of Operation (PO)

Annex 5: Format of the Monitoring Sheet

Annex 6: Outline of the baseline survey results

Annex 7: List of participants in the training program

MP

★

1

2

3

4

5
6
7

United Mexican States
Ministry of Security and Citizen Protection
National Coordination of Civil Protection

Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico

Project Outline

September 2022

Japan International Cooperation Agency (JICA)
Earth System Science Co., LTD

Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico

Project Outline

Project Period

June 2022 – June 2025 (3 years)

Executive Agency :

National Coordination of Civil Protection , Ministry of Public
Security and Citizen Protection

Collaborating Agency :

Mexican Agency of International Development Cooperation
(AMEXCID)

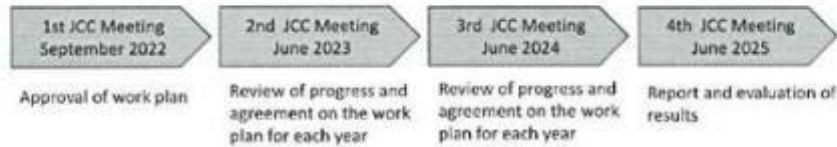
Technical Supporting Agency

National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)
National Water Commission (CONAGUA)

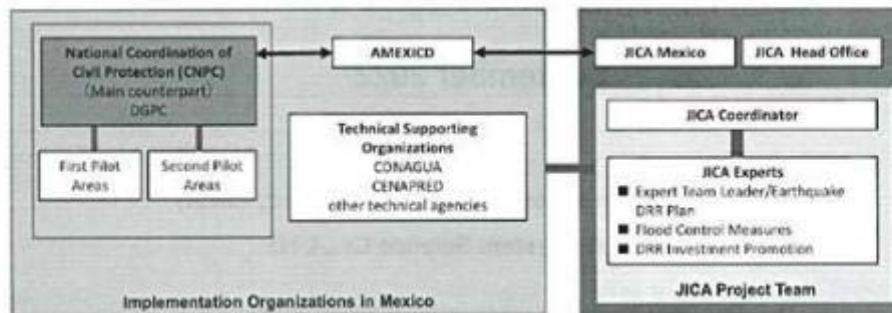
Pilot Project Areas

Mexico City, Chiapas State (First Pilot Areas)

Holding a JCC (Joint Coordination Committee) meeting

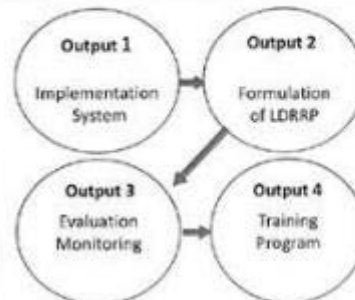


Implementation System of the Project



Overall Goal : Promote, through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (DRR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.

Project Purpose : Formulate Local Plans of DRR with concrete risk reduction measures and identify the role of each institutions involved. Design a training program using the methodology for making of Local Plan of DRR.



- **Output 1 :** In the First Pilot Areas, an implementation system is organized to make Local Plan of DRR with its own goals, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.
- **Output 2 :** In the First Pilot Areas, Local DRR Plans are formulated, with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as earthquake and flood.
- **Output 3 :** A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans.
- **Output 4 :** A training program is designed based on the methodology for making of Local DRR Plans and empirical knowledge of the First Pilot Areas.

Plan of Operation of Output 1 and 2

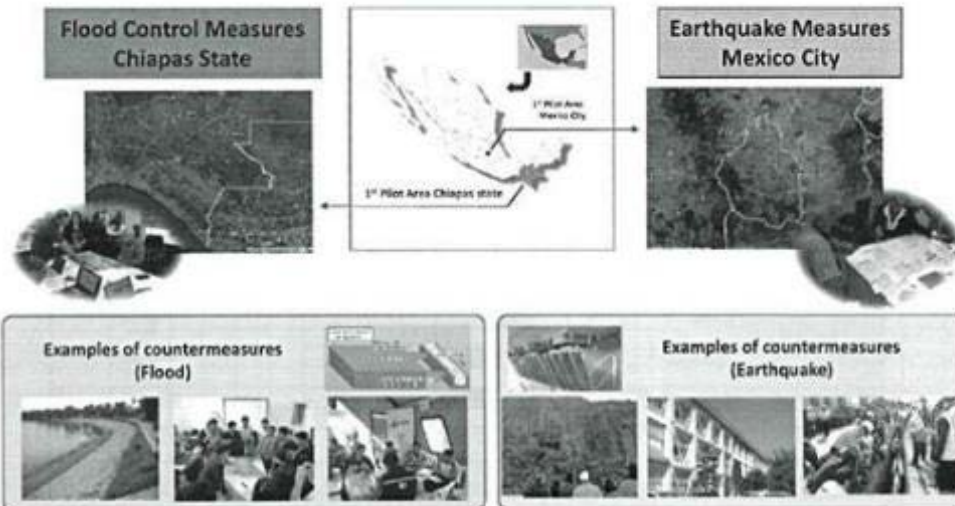
[illegible]

Plan of Operation of Output 3 and 4

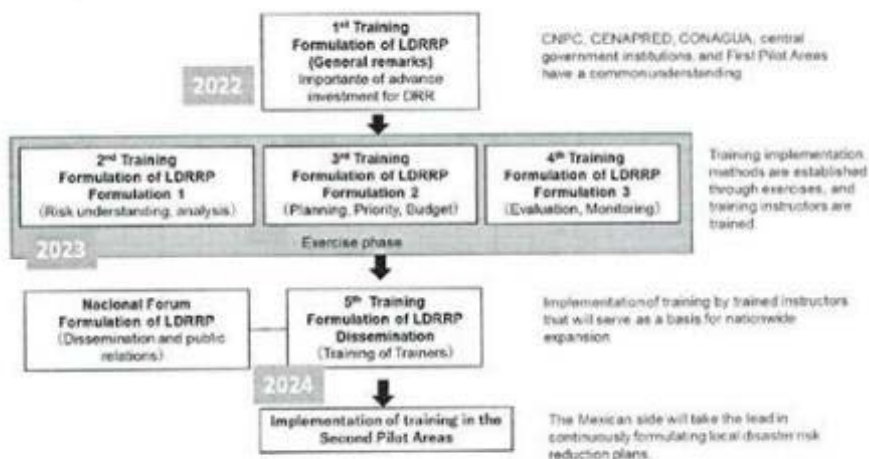
[illegible]

Formulation of Local Disaster Risk Reduction Plans (Activities in First Pilot Areas)

Strengthening capacity of formulation of local DRR plans, cooperation of related organizations and First Pilot Areas for promotion of investment in DRR for the purpose of reducing disaster risk



Flow of activities through training



Outline of expected training in Japan (tentative)

	1 st training	2 nd training	3 rd training
No. of trainees	About 5 people/one course		
Implementation period	About 2 weeks		
Year / Month	2023, May	2024, Jan	2025, Jan
Participants	CNPC (DGPC), CENAPRED, CONAGUA, C/P staff in Chiapas State, Mexico City		CNPC (DGPC) and C/P staff of the Second Pilot Areas

Training Fields

1. 8-steps method for formulating local DRR plans and national and local DRR policies
2. Earthquake and flood hazard evaluation
3. Disaster risk reduction through structural measures

A

✓

✓

✓

(2)

✓

✓

✓
A
D
m

Annex 2: List of the revision of the PDM

The following indicates amendments from the original Project Design Matrix (PDM) (version 1) attached in Record of Discussion (R/D).

1. Project Design Matrix (PDM), Collaborating Agency & Technical Supporting Agency

	Original	Amended
Collaborating Agency	AMEXCID	Mexican Agency for International Development Cooperation (AMEXCID)
Technical Supporting Agency	CONAGUA CENAPRED	National Water Commission (CONAGUA) National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)
For terminology clarification.		

2. Project Design Matrix (PDM), Target Area, Narrative Summary, Objectively Verifiable Indicators, Means of Verification and Activities

Original	Amended
Phase 1 Pilot Sites	First Pilot Areas
Phase 2 Pilot Sites	Second Pilot Areas
For terminology clarification.	

3. Project Design Matrix (PDM), Narrative Summary, Objectively Verifiable Indicators, Activities, and Inputs.

Original	Amended
Local Plans of DRR	Local DRR Plans
For terminology clarification.	

4. Project Design Matrix (PDM), Narrative Summary, Objectively Verifiable Indicators, Activities, and Inputs

Original	Amended
making of Local Plans of DRR	making Local DRR plans.
For terminology clarification.	

5. Project Design Matrix (PDM), Objectively Verifiable Indicators, [Overall Goal]

Original	Amended
Negotiations for the authorization of the budget for Local Plans of DRR implementation by the Local or State Governments of the Phase 1 and Phase 2 Pilot Sites	Negotiations about the budget authorization for implementing Local DRR Plans by the State Governments of the First and Second Pilot Areas
For terminology clarification.	

6. Project Design Matrix (PDM), Objectively Verifiable Indicators, [Project Purpose]

Original	Amended
2. Training plan made by CNPC.	2. Training plan made by CNPC and CENAPRED
Through the baseline survey, it was agreed that CNPC and CENAPRED will closely collaborate in the development of the training plan.	

7. Project Design Matrix (PDM), Means of Verification, [Overall Goal]

Original	Amended
Annual DRR Report of the Phase 1 and Phase 2 Pilot Sites Annual Report of CNPC	DRR reports of the First and Second Pilot Areas Project Completion Report Project Monitoring Sheet
For terminology clarification.	

8. Project Design Matrix (PDM), Means of Verification, [Project Purpose]

Original	Amended
Project Completion Report	Project Completion Report Project Monitoring Sheet
For terminology clarification.	

9. Project Design Matrix (PDM), Output, [Output 3]

Original	Amended
An assessment sheet of the existing and residual risks is made by the project, to evaluate the implementation of Local Plans of DRR.	A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans.
For terminology clarification.	

10. Project Design Matrix (PDM), Objectively Verifiable Indicators, [Output 3]

Original	Amended
Assessment sheet of the existing and residual risks to evaluate the implementation of the Local Plans of DRR.	Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.
For terminology clarification.	

11. Project Design Matrix (PDM), Activities, [Output 1]

Original	Amended
1-3 Analyze tasks on making and implementation situation of Local Plans of DRR and identify the related institutions that could be involved for the Local Plans of DRR formulation, based on the information collected with the activity 1-2.	1 3 Analyze issues related to the development and implementation of Local DRR Plans and identify the related institutions that could be involved for formulating Local DRR Plans, based on the information collected with the activity 1-2.
For terminology clarification.	

12. Project Design Matrix (PDM), Activities, [Output 1]

Original	Amended
Local Plans of DRR formulation	formulating Local DRR Plans
For terminology clarification.	

13. Project Design Matrix (PDM), Activities, [Output 2]

Original	Amended
2-7 Hold a third detailed workshop on the methods of Local Plans of DRR formulation.	2-7 Hold a third detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans and assemble all the proposal countermeasures as a Local DRR Plan of the First Pilot Areas, based on the results obtained in the activities 2-5 and 2-6.
2-8 Assemble all the proposal countermeasures as a Local Plan of DRR of the Phase 1 Pilot Sites, based on the results obtained in the activities 2-5 and 2-6.	
For terminology clarification.	

14. Project Design Matrix (PDM), Activities, [Output 3]

Original	Amended
3-2 Formulate an assessment sheet of the existing and residual risks to evaluate the implementation of the Local Plans of DRRs.	3-2 Formulate a monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.
For terminology clarification.	

15. Project Design Matrix (PDM), Activities, [Output 4]

Original	Amended
4-1 Select the Phase 2 Pilot Sites	4-1 Select the Second Pilot Areas with the support of the First Pilot Areas (state and municipality)
For terminology clarification.	

16. Project Design Matrix (PDM), Activities, [Output 4]

Original	Amended
4-5 Prepare a training plan to implement in the Phase 2 Pilot Sites	4-5 Prepare an implementation plan for Local DRR formulation training at Second Pilot Areas and the nation
For terminology clarification.	

17. Project Design Matrix (PDM), Inputs, [Japanese Side]

Original	Amended
(1) Assignment of Experts Long Term Expert - Project Coordinator (36 months) - Short Term Experts - 8 steps method for making of Local Plan of DRR - Seismic risk reduction planning - Flood risk reduction planning - Japanese experiences on pre-disaster investment for DRR	(1) Assignment of Experts One long-term expert - Project Coordinator (36 months) Three short-term experts - Earthquake DRR Plan - Flood Control Measures - DRR Investment Promotion
For terminology clarification.	

18. Project Design Matrix (PDM), Inputs, [Mexican Side], Assignment of Counterpart Personnel

Original	Amended
Counterparts	Two Project Officers
For terminology clarification.	

PDM: Project Design Matrix

Version 2: September 29, 2022

Project Title:
Executive Agency:
Collaborating Agency:
Technical Supporting Agency:
Target Group:
Target Area:
Cooperation Period:

Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico
Federal Level: National Coordination of Civil Protection (CNPC), Ministry of Security and Citizen Protection
Mexican Agency for International Development Cooperation (AMEXCID)
National Water Commission (CONAGUA) and National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)
Management level: personnel of National Coordination of Civil Protection
Technical and Management level: personnel of Mexico City and State of Chiapas
Mexico City, State of Chiapas (First Pilot Areas)
36 months (3 years)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
[Overall Goal] Promote, through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (DRR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.	1. Negotiations about the budget authorization for implementing Local DRR Plans by the State Governments of the First and Second Pilot Areas. 2. Some activities of the Local DRR Plan are implemented.	DRR reports of the First and Second Pilot Areas Project Completion Report Project Monitoring Sheet	State and local governments have sufficient budget for the implementation of local DRR plans.
[Project Purpose] 1. Formulate Local Plans of DRR with concrete risk reduction measures and identify the role of each institutions involved. 2. Design a training program using the methodology for making Local Plan of DRR.	1. Local DRR Plans made, at least, by the two First Pilot Areas. 2. Training plan made by CNPC and CENAPRED.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	
[Outputs] 1. In the First Pilot Areas, an implementation system is organized to make Local DRR Plans with its own goals, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.	1. Roadmap or action plan for the formulation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	

Annex 3

- 1 -






2. In the First Pilot Areas, Local DRR Plans are formulated, with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as earthquake and flood.	1. Local DRR Plans formulated by the First Pilot Areas, with concrete risk reduction measures.	Project Report Project Monitoring Sheet	
3. A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans.	1. Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	Project Report Project Monitoring Sheet	
4. A training program is designed based on the methodology for making Local DRR Plans and empirical knowledge of the First Pilot Areas.	1. Training plan for making Local DRR Plans with curriculum and list of instructors.	Project Report Project Monitoring Sheet	
Activities	Inputs		Pre-condition
[Activities]	[Japanese side]	[Mexican Side]	
<Output1> 1-1 Hold a workshop about the methodology for making Local DRR Plans. 1-2 Collect and organize the information about current situation of making Local DRR Plans at state and municipal level in Mexico. 1-3 Analyze issues related to the development and implementation of Local DRR Plans and identify the related institutions that could be involved for formulating Local DRR Plans, based on the information collected with the activity 1-2. 1-4 Make a roadmap or action plan for formulating Local DRR Plans with	(1) Assignment of Experts One long-term expert - Project Coordinator (36 months) Three short-term experts - Earthquake DRR Plan - Flood Control Measures - DRR Investment Promotion (2) Equipment - N/A (3) Training for counterpart personnel in Japan - 8 steps for making Local DRR Plans and DRR policy at national and local level - Hazard identification in earthquakes and floods	(1) Assignment of Counterpart Personnel - Project Director - Project Manager - Two Project Officers (2) Office space and facilities for Japanese experts (basic operation cost) - Office space and facilities - Utilities and Internet connections (3) Local cost for project implementation	The project activities development would not be adversely affected by the epidemiological situation of COVID-19.



the related institutions identified in the activity 1-3.	* DRR planning with structural and non-structural countermeasures	
<Output2> 2-1 Hold a second detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 2-2 Collect and analyze information on hazard and risk assessment of the First Pilot Areas at state and municipal level. 2-3 Collect and organize information about all DRR projects with structural measures implemented by the Federal and State Governments in the First Pilot Areas. 2-4 Identify the residual risks based on the information obtained in the activities 2-2 and 2-3. 2-5 Examine and prioritize countermeasures to implement in the First Pilot Areas. 2-6 Formulate a structural countermeasure proposal analyzing the engineering process and budget, based on the information obtained in the activity 2-5. 2-7 Hold a third detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans and assemble all the proposal countermeasures as a Local DRR Plan of the First Pilot Areas, based on the results obtained in the activities 2-5 and 2-6.	Idem	Idem

上書き保存 (Ctrl+S)

- 3 -

Handwritten notes and signatures at the top of the page, including a large checkmark and several illegible signatures.

<Output3> 3-1 Hold a fourth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 3-2 Formulate a monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	Idem	Idem
<Output4> 4-1 Select the Second Pilot Areas with the support of the First Pilot Areas (state and municipality). 4-2 Hold a fifth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 4-3 Organize a technical support team and/or select instructors to disseminate the Local DRR Plans formulation methods to the Second Pilot Areas. 4-4 Prepare a training program proposal for formulating Local DRR Plans in coordination with the related institutions of the First Pilot Areas. 4-5 Prepare an implementation plan for Local DRR formulation training at Second Pilot Areas and the nation. 4-6 Hold a national forum to disseminate the methods for formulating Local DRR Plans and training program. 4-7 Carry out the training to the Second Pilot Areas.	Idem	Idem

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico

Annex 4





Activities				Year	1st Year												2nd Year												3rd Year												Responsible Organization																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					2022						2023						2024						2025																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
Sub-Activities				Month																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

Activities					Year	1st Year												2nd Year												3rd Year												Responsible Organization																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
						2022												2023												2024														2025																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
						Month																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
Sub-Activities																																																		Japan	Mexico																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
Output 3: A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-1	Hold a fourth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans.	Plan																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										





Handwritten notes and signatures at the top of the page.

Activities	Sub-Activities	Year		1st Year					2nd Year					3rd Year					Responsible Organization	
		Month	7	2022					2023					2024					Japan	Mexico
				8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

Duration / Phasing		Plan		Actual															
--------------------	--	------	--	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Monitoring Plan	Year	1st Year					2nd Year					3rd Year					Remarks									
		2022					2023					2024						2025								
		Month	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8		9	10	11	12	1	2	3	4	5
Monitoring	Joint Coordinating Committee	Plan																								
		Actual																								
	Set-up the Detailed Plan of Operation	Plan																								
		Actual																								
	Submission of Monitoring Sheet	Plan																								
		Actual																								
	Monitoring Mission from Japan	Plan																								
		Actual																								
	Joint Monitoring	Plan																								
		Actual																								
Post Monitoring	Plan																									
	Actual																									
Reports/Documents		Plan																								
		Actual																								
Project Completion Report		Plan																								
		Actual																								
Public Relations		Plan																								
		Actual																								

TO DG of JICA Mexico OFFICE

Project Monitoring Sheet

Project Title : Project for Strengthening of the Disaster Risk ReductionGovernance in MexicoVersion of the Sheet: Ver.1 (Term: XX/XX/202X – XX/XX/202X)Name: Ms. Laura Velázquez AlzúaTitle: Project DirectorName: Mr. Hodaka IgoTitle: Project Manager of JICA ExpertTeamSubmission Date: XX/XX/202X

I. Summary

1 Progress

1-1 Progress of Inputs

1-2 Progress of Activities

1-3 Achievement of Output

1-4 Achievement of the Project Purpose

1-5 Changes of Risks and Actions for Mitigation

1-6 Progress of Actions undertaken by JICA

1-7 Progress of Actions undertaken by Gov. of Mexico

1-8 Progress of Environmental and Social Considerations (if applicable)

1-9 Progress of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction (if applicable)

1-10 Other remarkable/considerable issues related/affect to the project (such as other JICA's projects, activities of counterparts, other donors, private sectors, NGOs, etc.)

2 Delay of Work Schedule and/or Problems (if any)

2-1 Detail

2-2 Cause

2-3 Action to be taken

2-4 Roles of Responsible Persons/Organization (JICA, Gov. of Mexico, etc.)

3 Modification of the Project Implementation Plan

3-1 PO

3-2 Other modifications on detailed implementation plan

(Remarks: The amendment of R/D and PDM (title of the project, duration, project site(s), target group(s), implementation structure, overall goal, project purpose, outputs, activities, and input) should be authorized by JICA HDQs. If the project team deems it necessary to modify any part of R/D and PDM, the team may propose the draft.)

4 Current Activities of Gov. of Mexico to Secure Project Sustainability after its Completion

II. Project Monitoring Sheet I & II as Attached





Project Monitoring Sheet 1 (Revision of Project Design Matrix)

Version 1.0

Dated 29th, September, 2022

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico
Executive Agency: Federal Level: National Commission of Civil Protection (CENAPRED), Ministry of Economy and Culture Protection,
 Guadalajara, Jalisco; Mexico Agency for International Development Cooperation (AMECSCO)
Technical Support/Donor Agency: Mexican Agency for International Development Cooperation (AMECSCO)
Local System: Management level: Secretariat of National Commission of Civil Protection, Technical and Management level: personnel of Mexico City and State of Chiapas.
Target Area: Mexico City, State of Chiapas (Five local areas)
Cooperation Period: 36 months (3 years)

Overall Goal	Specific Objectives	Means of Verification	Indicators	Assessment	Remarks
Improve through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (LDPR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.	1. Negotiations about the budget allocation for implementing Local Disaster Risk Reduction (LDPR) Plans by the State Government of the five local areas. 2. Approval of the LDPR Plans by the State Government of the five local areas.	LDPR Report of the five local areas. Project Completion Report Project Monitoring Sheet	LDPR Report of the five local areas. Project Completion Report Project Monitoring Sheet		
Project Purpose 1. Formulate Local Plans of Disaster Risk Reduction (LDPR) with concrete risk reduction measures and identify the role of each participating institution. 2. Design a training program using the methodology for making Local Plans of Disaster Risk Reduction (LDPR).	1. Local LDPR Plans made at local level by the five local areas. 2. Training plan made by CENAPRED and CENAPRED.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	Project Completion Report Project Monitoring Sheet		
Objectives 1. The five local areas, in implementation of a project for making Local Disaster Risk Reduction (LDPR) Plans with concrete risk reduction measures and identify the role of each participating institution. 2. In the five local areas, Local Disaster Risk Reduction (LDPR) Plans are formulated with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as landslides and flood. 3. A training plan is made in the project to evaluate the implementation of Local Disaster Risk Reduction (LDPR) Plans.	1. Approval of LDPR Plans by the five local areas. 2. Training plan made by CENAPRED and CENAPRED.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	Project Completion Report Project Monitoring Sheet		
4. A training program is designed based on the methodology for making Local Disaster Risk Reduction (LDPR) Plans and empirical knowledge of the five local areas.	1. Training plan for making Local Disaster Risk Reduction (LDPR) Plans with concrete risk reduction measures and identify the role of each participating institution.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	Project Completion Report Project Monitoring Sheet		

- XXXVII -

Project Monitoring Sheet II (Revision of Plan of Operation)

Dated 29, September, 2022

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico																Monitoring					
Inputs	Year	1st Year				2nd Year				3rd Year				Remarks	Issues	Status					
		2022		2023		2024		2025		2026											
		Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				12	1	2	3	4
Expert	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
	Project Coordinator	Plan																			
Equipment	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
	Equipment	Plan																			
Training in Japan	Training course in Japan	Plan																			
	Training course in Japan	Plan																			
	Training course in Japan	Plan																			
In-country Training	In-country Training	Plan																			
	In-country Training	Plan																			
	In-country Training	Plan																			
Activities	Activities	Plan																			
	Activities	Plan																			
	Activities	Plan																			
Sub-Activities	Sub-Activities	Plan																			
	Sub-Activities	Plan																			
	Sub-Activities	Plan																			
Output 1: In the First Pilot Areas, an implementation system is implemented to make Local Civil Plans with its own plans, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.	Output 1: In the First Pilot Areas, an implementation system is implemented to make Local Civil Plans with its own plans, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.	Plan																			
	Output 1: In the First Pilot Areas, an implementation system is implemented to make Local Civil Plans with its own plans, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.	Plan																			
	Output 1: In the First Pilot Areas, an implementation system is implemented to make Local Civil Plans with its own plans, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.	Plan																			
Output 2: Conduct and organize the information about current situation of existing Local Civil Plans at state and municipal level in Mexico.	Output 2: Conduct and organize the information about current situation of existing Local Civil Plans at state and municipal level in Mexico.	Plan																			
	Output 2: Conduct and organize the information about current situation of existing Local Civil Plans at state and municipal level in Mexico.	Plan																			
	Output 2: Conduct and organize the information about current situation of existing Local Civil Plans at state and municipal level in Mexico.	Plan																			
Responsible Organization	Responsible Organization	Japan																			
	Responsible Organization	Japan																			
	Responsible Organization	Japan																			
Activities	Activities	Japan																			
	Activities	Japan																			
	Activities	Japan																			
Issue & Countermeasures	Issue & Countermeasures	Japan																			
	Issue & Countermeasures	Japan																			
	Issue & Countermeasures	Japan																			

Handwritten signatures and initials at the bottom right of the page.

Activities	Sub-Activities	Year	1st Year												2nd Year												3rd Year												Responsible Organization		Achievements	Total # Contributions																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			2022												2023												2024																2025																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	Japan	Mexico																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
Output A: A visiting program is designed based on the methodology for making Local ERPs from and empirical knowledge of the First Post Areas.	4.1 Select the Second Post Areas with the support of the First Post Areas (over and emergency).	Plan																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

26
⑤
30
A

Outline of baseline survey

Baseline survey: Objectives

As a first step of the project, a brief study was performed to:

- Review overall goals, project purposes, outputs and indicators previously defined in the Project Design Matrix (PDM).
- Analyze the present status (base) of each indicator, define possible goals, and propose new indicators if necessary.
- Identify needs and expectations of each institution for the training program in Mexico and Japan.

[Project Design Matrix (PDM)]

MMA: Marco de Diseño del Proyecto (Continuación)				Versión 1.0, México 2, 2022
Nombre del proyecto: Proyecto de Cooperación Técnica	Contexto: Marco de la Estrategia de la Política de Desarrollo Sostenible Resumen: Marco de la Estrategia de la Política de Desarrollo Sostenible			
Agencia de colaboración: Protección Civil de México	MMA (MMA)			
Temas: Seguridad Ciudadana	Resumen: Marco de la Estrategia de la Política de Desarrollo Sostenible			
Objeto del proyecto: Proyecto de Cooperación Técnica	Resumen: Marco de la Estrategia de la Política de Desarrollo Sostenible			
Resumen ejecutivo	Indicadores clave para la medición	Medios de verificación	Resumen ejecutivo	
Resumen ejecutivo: El presente documento tiene como objetivo principal proporcionar información sobre el estado actual de la gestión de la seguridad ciudadana en México, así como sobre las necesidades y expectativas de las instituciones involucradas en el proyecto de cooperación técnica.	1. Indicadores para la medición del cumplimiento de los objetivos del proyecto de cooperación técnica. 2. Indicadores para la medición del cumplimiento de los objetivos del proyecto de cooperación técnica.	Indicadores de cumplimiento de los objetivos del proyecto de cooperación técnica.	Resumen ejecutivo: El presente documento tiene como objetivo principal proporcionar información sobre el estado actual de la gestión de la seguridad ciudadana en México, así como sobre las necesidades y expectativas de las instituciones involucradas en el proyecto de cooperación técnica.	

Baseline survey: Methodology

- A face-to face or online meeting was organized with each partner institution to conduct an interview.
- Review of official documents was performed to complement interview data.

[Interview list]

Date	Interviewee
July 18, 2022	General Directorate for Risk Management, National Coordination of Civil Protection (CNPC)
July 29, 2022	Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection (SGIRPC) of Mexico City
August 4, 2022	National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)
August 11, 2022	Secretariat of Civil Protection, Government of Chiapas and Municipality of Tuxtla Gutiérrez
August 22, 2022	National Water Commission (CONAGUA)

Baseline survey: Results

Level	Tentative Indicator	Present status (Base)	Possible goal
Overall Goal	Negotiations for the authorization of the budget for Local Plans of DRR implementation by the Local or State Governments of the Phase 1 and Phase 2 Pilot Sites.	Both pilot states have knowledge and experience in requesting and implementing budget for preventive measures, including CNPC's Preventive Fund and international aid	- During project implementation, the two pilot sites would make a realistic funding proposal based on their revised local DRR plans. - Specific goals with phase 2 pilot sites will need to be defined in a later stage.
	Some activities of the Local Plan of DRR are implemented	Both pilot states have developed various activities in accordance with their existing local plans.	The two phase 1 pilot sites would implement two quick activities to promote implementation of their revised local plans.

Level	Tentative Indicator	Present status (Base)	Possible goal
Project Purpose 1	Local Plans of DRR made, at least, by the two Phase 1 Pilot Sites	- Both pilot states have developed their local DRR plans - CDMX: Anti-seismic structural measures of prioritized buildings - Chiapas: Structural and communicational measures against flooding of the Sabinal River	- Both states would create a revised local plan through the project. - CDMX: Cooperation plan with other sectors - Chiapas: Integration of measures, financial stability, and long-term strategy
Project Purpose 2	Training plan made by CNPC	CENAPRED and State of Chiapas manage a training scheme at the national level, but no specific courses on the development local DRR plan are provided.	CNPC in collaboration with CENAPRED and other partners would develop a proposal of a course based on the 8-step methodology.

Level	Tentative Indicator	Present status (Base)	Possible goal
Output 1	Roadmap or action plan for the formulation of Local Plan of DRRs, identified role of the Institutions involved	• No roadmaps or action plans are available to prepare a local DRR plan.	• Both states would create a roadmap or action plan through the project.
Output 2	Local Plans of DRR formulated by the Phase 1 Pilot Sites, with concrete risk reduction measures	• See [Project Purpose1]	• See [Project purpose 1]
Output 3	Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	• Some tools are in use to measure risks, but no standard assessment sheets are available to evaluate the overall implementation of local DRR plans.	• Both states would develop an assessment sheet based on the Japanese methodology.
Output 4	Training plan for making of Local Plans of DRR with curriculum and list of instructors	• National School of Civil Protection of CENAPRED and the one in Chiapas Campus have programs and instructors in risk reduction.	• Content of the Japanese methodology would be added to an existing program. • Some project members would be added to list of instructors.






 26

Annex 7

List of trainees in Mexico

National Commission of Civil Protection (CNDP)			
Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Benito Alejandro Vargas Castañeda	Area Director	Sector Coordination	Project member, trainee
Mr. Héctor Alonso Barrera Burrola	Area Deputy Director	Social and International Sector	Project member, trainee, OR of RCA training
Ms. Cindy García Matos Zamudio	Area Director	Internal Affairs, Programs, Policies in Integrated Risk Management	Trainee

National Center for Disaster Prevention (CONAPRED)			
Name	Title	Affiliation	Role in the project
Ms. Constanza Anahí de la Rivera Pereira	Coordinator	Public Policies for Disaster Risk Reduction	Main focal point, trainee
Mr. Verónica Andrea Rojas Hernández	Deputy Director	Training in Civil Protection	Trainee

National Water Commission (CONAGUA)			
Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. César Pérez Álvarez	Chief	Administration Services	Trainee
Mr. Jorge Aguero Olivera	Chief	Administration Systems	Trainee

Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection (SGIRPC) of Mexico City			
Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Norling Manuel García Arvizaga	Director General	General Directorate of Resilience	Main focal point, trainee
Mr. Gloria-Luz Ortiz Escobedo	Director General	External Affairs, Training and Dissemination	Trainee
Ms. Adelfa Sorphiana Benítez Avila	Coordinator	Actions and Policies of Resilience	Trainee
Mr. Ismael Hernández Hernández	Chief	Risk Confirmation Department Unit	Trainee

Secretariat of Civil Protection, Government of Chiapas / Municipality of Tuxtla Gutiérrez			
Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Eder Fabián Mancilla Velázquez	Secretary of Civil Protection	Municipality of Tuxtla Gutiérrez	Trainee
Mr. Alejandro Menéndez Cordero	Director General	City Institute of Municipal Planning for Sustainable Development of Tuxtla Gutiérrez	Trainee
Mr. Enriquez Rodolfo Mayra Castillo	Coordinator of Environment and Energy	City Institute of Municipal Planning for Sustainable Development of Tuxtla Gutiérrez	Trainee
Mr. Jorge Luis Toledo García	Risk Analyst	Directorate of Risk Identification and Analysis	Focal point, trainee, OR of RCA training

第2回合同調整会議（JCC）議事録

**MINUTES OF MEETING
OF
THE SECOND JOINT COORDINATING COMMITTEE
BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE UNITED MEXICAN STATES
ON THE PROJECT FOR STRENGTHENING OF THE DISASTER RISK REDUCTION
GOVERNANCE IN MEXICO**



Mr. Hajime Tsuboi
Chief Representative
Mexico Office
Japan International Cooperation
Agency

 P.A.

Ms. Laura Velázquez Alzúa
National Coordinator of Civil Protection
Secretariat of Security and Citizen
Protection
United Mexican States

 P.A.

Mr. Raúl Álvarez Villaseñor
Director General of Project Operation
in Mexico
Mexican Agency for International
Development Cooperation
United Mexican States

 P.A.

Mr. German Anuro Martínez Santoyo
Director General
National Water Commission
United Mexican States

 P.A.

Mr. Enrique Guevara Ortiz
Director General
National Center for Disaster Prevention
Secretariat of Security and Citizen
Protection
United Mexican States



Ms. Myriam Vilma Urzúa Venegas
Secretary of Integrated Risk
Management and Civil Protection
Government of Mexico City
United Mexican States

 P.A.

Dr. Luis Manuel García Moreno
Secretary of Civil Protection
State Government of Chiapas
United Mexican States

The meeting of the Second Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") for the Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico (hereinafter referred to as "the Project") was held on June 20, 2023 at the meeting room of the Ministry of Foreign Affairs in Mexico City.

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") exchanged viewpoints and progress of activities with the National Coordination of Civil Protection of the Secretariat of Security and Citizen Protection (hereinafter referred to as "CNPC"), representatives of the Mexican Agency for International Development Cooperation (hereinafter referred to as "AMEXCID"), the National Water Commission (hereinafter referred to as "CONAGUA"), the National Center for Disaster Prevention (hereinafter referred to as "CENAPRED"), Secretary of Integrated Risk Management and Civil Protection of Mexico City Government and the Secretary of Civil Protection of the State Government of Chiapas, in order to review the implementation of the technical cooperation activities for the Project.

As the result of the discussion, the representatives of relevant agencies agreed on the matters referred to in the documents attached hereto.

Mexico City, June 20, 2023



ATTACHED DOCUMENTS

According to the Meeting of the 2nd Joint Coordinating Committee (JCC), the following points were discussed and agreed:

1. Progress of the activities of the Project

JICA project team leader, Hodaka Igo, made a presentation on the progress of the activities of the Project (Long-Term Expert Mr. Hirota: June 2022 – June 2023, Short-Term Experts: August 2022 - June 2023). The activities were generally implemented as planned, with no delays or problems. As a result of the presentation and discussions, the JCC members agreed with the result of the progress.

Following the first introductory training course held in September 2022, two technical trainings for the formulation of local disaster risk reduction plans were held in Mexico City. The second training course was held from March 7 to March 10, 2023, and the third training course was held from June 14 to June 16 of the same year. Through these two training courses, the local disaster risk reduction plans for Mexico City and Tuxtla Gutierrez, Chiapas were prepared.

The first training course in Japan was held from May 15 to May 27, 2023. Four officials from relevant agencies of the Project took part in the training in Japan on the theme of promoting pre-investment in disaster risk reduction through the development of local disaster risk reduction plans. Prior to this training, two CNPC officials participated in the course "Promotion of Mainstreaming Disaster Risk Reduction" in JICA's Knowledge Co-Creation Program (KCCP).

2. Planning of the activities of the Project

JICA project team leader, Hodaka Igo, made a presentation on the planning of the activities of the Project covering the period from July 2023 to June 2024. As a result of the presentation and discussions, the JCC members agreed to the planning of the activities.

The fourth training course for local disaster risk reduction planning will be held in October 2023 and the fifth training course, focusing on the "Training for the promotion of local disaster risk reduction planning", will be held in March 2024. As the output of the training, two local disaster risk reduction plans for the First Pilot Areas and its monitoring plans will be prepared.

The second training course in Japan will be held in January 2024, focusing on the theme of "Promoting the pre-investment in the disaster risk reduction through the development of local disaster risk reduction plans".

3. Selection of two additional states for the Second Pilot Areas

The CNPC and the JICA experts previously discussed the selection of the federal entities that would participate in the second phase of the Project.

The representatives of CNPC provided a presentation of the implementation of the next phase, in specific, the selection of two additional states. CNPC indicated that based on a detailed risk analysis and Project's own requirements, the States of Guerrero and Veracruz would be the ideal Second Pilot Areas. The justification for the proposal was explained, including the high risk of earthquake and floods, the presence of human resources trained in Japan, and availability for collaboration in the Project. The JCC members approved the nomination for the Second Pilot Areas and agreed that a detailed plan to work in these two additional states must be developed by the end of 2023, including the selection of target municipalities. The changes are shown in the revised Project Design Matrix (PDM) included in the Annex 1.

Additionally, the representatives of CNPC explained to the JCC members that as part of the planned activities to apply gained experience, the Mexican authorities should design and implement a training program for the Second Pilot Areas, through receiving technical assistance by the Japanese experts. It was stressed that the Mexican team should make the best use of the experience of the First Pilot Areas, the model cases of the local disaster risk reduction plans developed in Mexico City and Tuxtra Gutierrez, Chiapas.

The participants discussed how the CNPC and other institutions can utilize the results of this Project to promote local disaster risk reduction plans, including the mechanism to apply to Mexico at the time of project conclusion.

4. List of participants in the training course

The JCC members reviewed the updated list of the members for the training course and agreed that these members will continue joining the training course of the Project. The list is shown in Annex 2.

Annex 1: Project Design Matrix (PDM) including the Second Pilot Areas

Annex 2: List of participants in the training course

Annex 3: Project Monitoring Sheet

PDM: Project Design Matrix

Version 3: June 20, 2023

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico
Executive Agency: Federal Level: National Coordination of Civil Protection (CNPIC), Secretary of Security and Citizen Protection
Collaborating Agency: Mexican Agency for International Development Cooperation (AMEXCID)
Technical Supporting Agency: National Water Commission (CONAGUA) and National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)
Target Group: Management level; personnel of National Coordination of Civil Protection
Target Area: Technical and Management level; personnel of Mexico City and State of Chiapas
Cooperation Period: Mexico City, State of Chiapas (First Pilot Areas), **States of Veracruz and Guerrero (Second Pilot Areas)**
 36 months (3 years)

Narrative Summary		Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
[Overall Goal] Promote, through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (DRR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.	[Project Purpose] 1. Formulate Local Plans of DRR with concrete risk reduction measures and identify the role of each institutions involved. 2. Design a training program using the methodology for making Local Plan of DRR.	1. Negotiations about the budget authorization for implementing Local DRR Plans by the State Governments of the First and Second Pilot Areas. 2. Some activities of the Local DRR Plan are implemented.	DRR reports of the First and Second Pilot Areas Project Completion Report Project Monitoring Sheet	State and local governments have sufficient budget for the implementation of local DRR plans.
		1. Local DRR Plans made, at least, by the two First Pilot Areas. 2. Training plan made by CNPIC and CENAPRED.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	
		1. Roadmap or action plan for the formulation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	

2. In the First Pilot Areas, Local DRR Plans are formulated, with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as earthquake and flood.	1. Local DRR Plans formulated by the First Pilot Areas, with concrete risk reduction measures.	Project Report Project Monitoring Sheet	Completion	
3. A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans.	1. Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	Project Report Project Monitoring Sheet	Completion	
4. A training program is designed based on the methodology for making Local DRR Plans and empirical knowledge of the First Pilot Areas.	1. Training plan for making Local DRR Plans with curriculum and list of instructors.	Project Report Project Monitoring Sheet	Completion	
Activities		Inputs		Pre-condition
[Activities]		[Japanese side]	[Mexican Side]	
<Output1> 1-1 Hold a workshop about the methodology for making Local DRR Plans. 1-2 Collect and organize the information about current situation of making Local DRR Plans at state and municipal level in Mexico. 1-3 Analyze issues related to the development and implementation of Local DRR Plans and identify the related institutions that could be involved for formulating Local DRR Plans, based on the information collected with the activity 1-2. 1-4 Make a roadmap or action plan for formulating Local DRR Plans with		(1) Assignment of Experts One long-term expert - Project Coordinator (36 months) Three short-term experts - Earthquake DRR Plan - Flood Control Measures - DRR Investment Promotion (2) Equipment - N/A (3) Training for counterpart personnel in Japan - 8 steps for making Local DRR Plans and DRR policy at national and local level - Hazard identification in earthquakes and floods	(1) Assignment of Counterpart Personnel - Project Director - Project Manager - Two Project Officers (2) Office space and facilities for Japanese experts (basic operation cost) - Office space and facilities - Utilities and Internet connections (3) Local cost for project implementation	The project activities development would not be adversely affected by the epidemiological situation of COVID-19.

the related institutions identified in the activity 1-3.	- DRR planning with structural and non-structural countermeasures	
<Output2> 2-1 Hold a second detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 2-2 Collect and analyze information on hazard and risk assessment of the First Pilot Areas at state and municipal level. 2-3 Collect and organize information about all DRR projects with structural measures implemented by the Federal and State Governments in the First Pilot Areas. 2-4 Identify the residual risks based on the information obtained in the activities 2-2 and 2-3. 2-5 Examine and prioritize countermeasures to implement in the First Pilot Areas. 2-6 Formulate a structural countermeasure proposal analyzing the engineering process and budget, based on the information obtained in the activity 2-5. 2-7 Hold a third detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans and assemble all the proposal countermeasures as a Local DRR Plan of the First Pilot Areas, based on the results obtained in the activities 2-5 and 2-6.	Idem	Idem

<Output3> 3-1 Hold a fourth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 3-2 Formulate a monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	Idem	Idem
<Output4> 4-1 Select the Second Pilot Areas with the support of the First Pilot Areas (state and municipality). 4-2 Hold a fifth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 4-3 Organize a technical support team and/or select instructors to disseminate the Local DRR Plans formulation methods to the Second Pilot Areas. 4-4 Prepare a training program proposal for formulating Local DRR Plans in coordination with the related institutions of the First Pilot Areas. 4-5 Prepare an implementation plan for Local DRR formulation training at Second Pilot Areas and the nation. 4-6 Hold a national forum to disseminate the methods for formulating Local DRR Plans and training program. 4-7 Carry out the training to the Second Pilot Areas.	Idem	Idem

Updated in May 2023 for the 2nd JCC Meeting

List of trainees in Mexico

National Coordination of Civil Protection (CONPC)

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Roman Alejandro Vergara Castañeda	Area Director	Sector Coordination	Project member, trainee, OB of JICA training
Mr. Hector Alonso Barera Barrios	Area Deputy Director	Social and International Sector	Project member, trainee, OB of JICA training
Ms. Cindy Daniela Martínez Zamudio	Area Director	External Affairs, Programs, Policies in Integrated Risk Management	Trainee, OG of JICA training
Ms. Mayra Lucette Sánchez Rodríguez	Chief	Social and International Sector	Trainee

National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Ms. Constanza Anahí Elsa Rivera Pereira	Coordinator	Water Hazards for Disaster Risk Reduction	Main focal point, trainee
Ms. Verónica Andrea Rojas Hernández	Deputy Director	Training in Civil Protection	Trainee

National Water Commission (CONAGUA)

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. César Pérez Álvarez	Chief	Administration Services	Trainee, OB of JICA training
Mr. Jorge Aguino Chávez	Chief	Administration Systems	Trainee

Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection (SQRPPC) of Mexico City

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Norling Marcel García Arellaga	Director General	General Directorate of Resilience	Main focal point, trainee, OB of JICA training
Ms. Aidelé Stephanie Jiménez Aule	Coordinator	Actions and Policies of Resilience	Trainee
Mr. Israel Hernández Hernández	Chief	Risk Confirmation Department Unit	Trainee, OB of JICA training

Secretariat of Civil Protection, Government of Chiapas / Municipality of Tuxtla Gutiérrez

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Alejandro Mendoza Castañeda	Director General	City Institute of Municipal Planning for Sustainable Development of Tuxtla Gutiérrez	Trainee
Mr. Enrique Abdala Mujica Castillo	Coordinator of Environment and Energy	City Institute of Municipal Planning for Sustainable Development of Tuxtla Gutiérrez	Trainee
Mr. Jorge Iván Toledo García	Risk Analyst	Directorate of Risk Identification and Analysis	Focal point, trainee, OB of JICA training

Annex 3: Project Monitoring Sheet

TO Chief Representative of JICA Mexico OFFICE

Project Monitoring Sheet

Project Title: The Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico

Version of the Sheet: Ver.2 (Term: June 24, 2022 – December 23, 2022)

Name: Laura Velázquez Alzúa

Title: Project Director, CNPC

Name: Hodaka Igo

Title: Project Manager, JICA Expert Team

Submission Date: December 24, 2022

I. Summary

1 Progress

1-1 Progress of Inputs

(1) Input by the Japanese side

Assignment of Experts

The following experts from the Japanese side were assigned in this monitoring period.

Responsibility Area	Name	Assignment Period
Technical advisory	Satoru Nishikawa	Assignment in Mexico: from Sep.25 until Sep.29, 2022
Short-term Expert, Earthquake DRR Plan	Hodaka Igo	Assignment in Mexico: from Sep.20 until Oct.2, 2022
Short-term Expert, Flood Control Measure	Yasuhiko Kato	Assignment in Mexico: from Sep. 20 until Oct. 9, 2022
Short-term Expert, DRR Investment Promotion	Masae Kuroki	Assignment in Mexico: from Sep.20 until Oct.2, 2022
Long-term Expert, Project Coordination	Reo Hirota	June 24, 2022-Present

Training in Japan

The following two Mexican members were accepted in a Knowledge Co-Creation Program (KCCP) held in Tokyo and Kobe, Japan. One member was financed by the project, and the other by KCCP budget.

Name	Course title	Course Period
Romeo Alejandro Vergara Castañeda, CNPC	Promotion of Mainstreaming Disaster Risk Reduction	From Dec.14 until Dec.24, 2022
Héctor Alonso Barrera	Promotion of Mainstreaming	From Dec.14 until Dec.24, 2022

Annex 3: Project Monitoring Sheet

Burrola, CNPC	Disaster Risk Reduction	
---------------	-------------------------	--

Other training

One project member joined the following congress to share progress of the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction in Mexico and discuss challenges with experts from other countries. The funding was provided by the organizer of the event.

Name	Title of the event	Period
Constanza Anahí Elsa Rivera Pereira, CENAPRED	International Disaster and Risk Conference/World Bosai Forum 2022 in Switzerland	From Dec.5 until Dec.6, 2022

(2) Input by the Mexican side

Assignment of counterparts

The following members of the National Coordination of Civil Protection (CNPC) were assigned in this monitoring period.

Responsibility Area	Name	Assignment Period
Project Direction	Laura Velázquez Alzúa	June 24, 2022-Present
Project Management	Oscar Zepeda Ramos	June 24, 2022-Present
Project Operations	Romeo Alejandro Vergara Castañeda	June 24, 2022-Present
Project Operations	Héctor Alonso Barrera Burrola	June 24, 2022-Present
Project Operations	Mayra Lizzette Sánchez Rodríguez	June 24, 2022-Present

Facilities and administrative costs

Local operational costs, including training room, office space, internet and consumables, were provided by CNPC to facilitate activities with the Japanese experts.

1-2 Progress of Activities

(1) Overall goal of Project

- Interviewed the two First Pilot Areas, National Water Commission (CONAGUA), National Center for Disaster Prevention (CENAPRED), and CNPC through baseline study about the present status of pre-disaster investment

Annex 3: Project Monitoring Sheet

- Analyzed budget structure at the federal level and calculated overall public spending on disaster risk management policies and programs for the recent years.

(2) Activities for Output 1

- 1-1: Held the first workshop on Sep. 26-27 and shared the methodology for making Local DRR Plans, Japan's best practices in disaster risk reduction, and existing DRR initiatives of the Mexican parties.
- 1-2, 1-3: Collected, organized, and analyzed the information about the current situation and challenges in making Local DRR Plans at the state and municipal level in Mexico. The most relevant data include: mid-term report of the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015-2030, progress report on CNPC's Special Programs of Civil Protection, and the results of the Index of Governance and Public Policy for Disaster Risk Management (iGOPP).
- 1-4: Collected and shared existing Local DRR Plans of the First Pilot Areas and their involved institutions through the first workshop.

(3) Activities for Output 2

- 2-1 Draft activity plan for training on the development of a local disaster risk reduction plan was prepared.
- 2-2: Collected and analyzed information on the development of risk maps and other risk assessment projects through baseline interviews with the First Pilot Areas, CENAPRED and CONAGUA. Data collection for the training of this project is expected to start in January 2023.
- 2-3: Collected and analyzed information on existing structural measures through baseline interviews with the First Pilot Areas and a field visit in Chiapas. Data collection for the training of this project is expected to start in January 2023.

(4) Activities for Output 3

N/A

(5) Activities for Output 4

N/A

1-3 Achievement of Output

The following objectively verifiable indicators is applied to assess the achievement of the Project based on the PDM.

(1) Output 1

Indicator: Roadmap or action plan for the formulation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved.

Annex 3: Project Monitoring Sheet

- Roadmap or action plan will be developed in a later stage of the project.
- The first workshop and data analysis in this monitoring period identified some common issues in the development of Local DRR Plans in Mexican states and municipalities, including the financial instability due to political change and the lack of evaluation mechanism for preventive measures.

(2) Output 2

Indicator: Local DRR Plans formulated by the First Pilot Areas, with concrete risk reduction measures.

- Refined Local DRR Plans will be developed in a later stage of the project.
- Draft activity plan for training on the development of a local disaster risk reduction plan was prepared.
- Activities in this monitoring period, mainly baseline study, confirmed both progress and challenges in the risk assessment and structural measures of the existing local DRR projects in the First Pilot Areas. Major challenges include: prioritizing construction measures for vulnerable buildings (Mexico City) and developing risk analysis in the tributaries of the Sabinal River (Chiapas).

(3) Output 3

N/A

(4) Output 4

N/A

1-4 Achievement of the Project Purpose

The following objectively verifiable indicators are applied to assess the achievement of the Project based on the PDM.

Indicator 1: Local DRR Plans made, at least, by the two First Pilot Areas.

- Refined Local DRR Plans will be developed in a later stage of the project.
- The essence of 8 step methodology was shared with the two First Pilot Areas through the first workshop to help strengthen their Local DRR Plans.
- Draft activity plan for training of Local DRR planning was developed.

Indicator 2: Training plan made by CNPC and CENAPRED

- A new training plan will be developed in a later stage of the project.

Annex 3: Project Monitoring Sheet

- The existing training programs at the national and local level were reviewed through baseline study. It was confirmed that the platform of National School of Civil Protection in CENAPRED and Civil Protection School of Chiapas would help disseminate the training plan to be developed by the project.

1-5 Changes of Risks and Actions for Mitigation

No important changes

1-6 Progress of Actions undertaken by JICA

N/A

1-7 Progress of Actions undertaken by Gov. of Mexico

N/A

1-8 Progress of Environmental and Social Considerations (if applicable)

This project is classified as Category C (no or very little negative impact on environment and society)

1-9 Progress of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction (if applicable)

One CNPC public officer participated in a KCCP course in Japan "Gender and Diversity in Disaster Risk Reduction". Possible collaboration with the trainee will be considered for the next semester.

1-10 Other remarkable/considerable issues related/affect to the project (such as other JICA's projects, activities of counterparts, other donors, private sectors, NGOs, etc.)

N/A

2 Delay of Work Schedule and/or Problems (if any)

The project is developed on schedule.

2-1 Detail

N/A

2-2 Cause

N/A

2-3 Action to be taken

N/A

Annex 3: Project Monitoring Sheet

2-4 Roles of Responsible Persons/Organization (JICA, Gov. of Mexico, etc.)

N/A

3 Modification of the Project Implementation Plan

3-1 PO

The JCC members approved the second version of PO, which was based on the Work Plan developed by the Japanese experts and CNPC.

3-2 Other modifications on detailed implementation plan

(Remarks: The amendment of R/D and PDM (title of the project, duration, project site(s), target group(s), implementation structure, overall goal, project purpose, outputs, activities, and input) should be authorized by JICA HDQs. If the project team deems it necessary to modify any part of R/D and PDM, the team may propose the draft.)

The JCC members ratified the first amendment of R/D and PDM to make some minor changes, mostly for terminology clarification.

4 Current Activities of Gov. of Mexico to Secure Project Sustainability after its Completion

CNPC is considering the possibility of developing an online platform to provide an accessible and sustainable training program on Local DRR plans in the future.

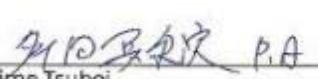
II. Project Monitoring Sheet I & II

As Attached.

[illegible][illegible]

第 3 回合同調整会議（JCC）議事録

**MINUTES OF MEETING
OF
THE THIRD JOINT COORDINATING COMMITTEE
BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE UNITED MEXICAN STATES
ON THE PROJECT FOR STRENGTHENING OF THE DISASTER RISK REDUCTION
GOVERNANCE IN MEXICO**


Mr. Hajime Tsuboi
Director General
Mexico Office
Japan International Cooperation
Agency

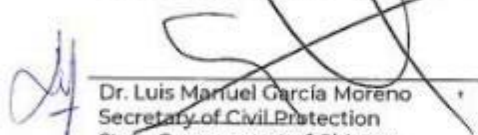

Ms. Laura Velázquez Alzúa
National Coordinator of Civil Protection
Secretariat of Security and Citizen
Protection
United Mexican States

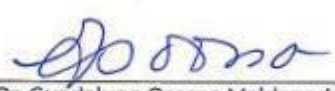

Dr. José Alfredo Galván Corona
Director General of Project Operation
in Mexico
Mexican Agency for International
Development Cooperation
United Mexican States


Mr. Germán Arturo Martínez Santoyo
Director General
National Water Commission
United Mexican States


Mr. Enrique Guevara Ortiz
Director General
National Center for Disaster Prevention
Secretariat of Security and Citizen
Protection
United Mexican States


Ms. Myriam Vilma Urzúa Venegas
Secretary of Integrated Risk
Management and Civil Protection
Government of Mexico City
United Mexican States


Dr. Luis Manuel García Moreno
Secretary of Civil Protection
State Government of Chiapas
United Mexican States


Dr. Guadalupe Osorno Maldonado
Secretary of Civil Protection
State Government of Veracruz
United Mexican States


Dr. Roberto Arroyo Matus
Secretary of Integrated Risk
Management and Civil Protection
State Government of Guerrero
United Mexican State

The third meeting of the Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") for the Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico (hereinafter referred to as "the Project") was held on May 17, 2024 at the César Sepúlveda meeting room of the Ministry of Foreign Affairs in Mexico City.

Viewpoints, progress and planning of activities were exchanged in order to review the implementation of the technical cooperation activities for the Project with the following nine institutions: the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the National Coordination of Civil Protection of the Secretariat of Security and Citizen Protection (hereinafter referred to as "CNPC"), representatives of the Mexican Agency for International Development Cooperation (hereinafter referred to as "AMEXCID"), the National Water Commission (hereinafter referred to as "CONAGUA"), the National Center for Disaster Prevention (hereinafter referred to as "CENAPRED"), the Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection of Mexico City Government, the Secretariat of Civil Protection of the State Government of Chiapas, the Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection of the State Government of Guerrero, and the Secretariat of Civil Protection of the State Government of Veracruz.

As the result of the discussion, the representatives of relevant agencies agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Mexico City, May 17, 2024











ATTACHED DOCUMENT

According to the third meeting of the Joint Coordinating Committee (JCC), the following points were discussed and agreed:

1. Progress of the activities of the Project

A representative of CNPC, Mr. Oscar Zepeda Ramos, provided a presentation on the progress of the project activities (June 2023 – May 2024). The activities were generally implemented as planned, with no delays or problems.

Following the three technical training sessions for the formulation of Local Disaster Risk Reduction (DRR) Plans for the First Pilot Areas held in Mexico City, the fourth training course was held from October 24 to October 27, 2023, in Tuxtla Gutierrez City, Chiapas and Mexico City. Thanks to the knowledge acquired through the training courses, the Local DRR Plans and monitoring plans for Mexico City and Tuxtla Gutierrez, Chiapas were formulated. With their initiatives, the First Pilot Areas are currently working to formalize their Local Plans and in negotiations to obtain an approval for the Local DRR Plan and budget for implementing the measures.

Also, the second counterpart training in Japan was held from January 15 to January 27, 2024. Three officials from relevant agencies of the Project took part in the training in Japan on the theme of promoting pre-disaster investment in DRR through the development of Local DRR Plans.

Under the leadership of CNPC, the process to customize the Japanese methodology to the Mexican context and to prepare teaching materials began in January 2024 for the training of the Second Pilot Areas. The training initiated online on February 8 and 15, 2024, where Step 0 was explained. Subsequently, face-to-face training was provided from March 11 to 13, 2024 to present the methodology to elaborate Steps 1 and 2. In order to introduce the Project at a national level, CNPC presented the overview of the Project during the National Meeting for the Start of the Rainy and Tropical Cyclone Season in 2024, held on May 6, 2024 in Baja California Sur.

Finally, the third training on Steps 3 and 4 was carried out from May 13 to 15, 2024, at AMEXCID's facilities, Mexico City. Making good use of the knowledge acquired in the training, the Second Pilot Areas have initiated the development of Local DRR Plans, up to the fourth step, with the support of the First Pilot Areas and other participating institutions. The members of the JCC agreed with the progress proposed by CNPC.

2. Selection of municipalities and members from the Second Pilot Areas and additional areas as observers

For the selection of the Second Pilot Areas, a national-level risk analysis was carried out. As a result, the States of Guerrero and Veracruz were considered, and CNPC issued an official letter to know the interest of both states to participate in the Project. In response to the letter, the States of Guerrero and Veracruz have accepted to participate, and the Second Pilot Areas have been selected and agreed in the second JCC meeting in June 2023. The municipalities selected by each state were the following: Zihuatanejo de Azueta and Acapulco de Juárez of Guerrero and Minatitlán and Las Choapas of Veracruz. The JCC members reviewed the updated list of the members (Annex3), including the Second Pilot Areas, and agreed that these listed members shall continue participating in the training courses of the Project to develop Local DRR Plans for their areas by ensuring travel expenses as a rule. In cases that the municipalities corresponding to the Second Pilot Areas cannot participate in the subsequent training courses due to extraordinary situations, the State Civil Protection Units shall transfer the knowledge acquired during the training courses to municipalities and ensure progress on the development of the Steps with the advice of the Japanese experts, CNPC, and technical entities.

In addition, one from the State of Guerrero, and two from the municipality of Chilpancingo de los Bravo were assigned as observers of the Project since they have expressed interest to continue studying Step 3 to Step 8, after taking a course of Steps 1 and 2 in the CNPC's international training course "Understanding the disaster risk reduction: Basic Aspects for the Local Plan Implementation" supported by JICA. Voluntary participation in the future training courses of the Project to develop Local DRR Plans will be encouraged.

3. Achievement and Planning of the activities of the Project

JICA Project Team leader, Mr. Hodaka Igo, made a presentation on the achievements to date according to Project Design Matrix (PDM) and planning of the activities of the Project covering the period from June 2024 to June 2025, end of the Project. As a result of the presentation and discussions, the JCC members agreed to the planning of the activities.

1) Achievements based on the PDM

The achievements of project activities were explained according to the PDM (Annex 1). The achieved results were presented in accordance with the Overall Goal, Project Purposes, and Outputs (Annex 1). The achievement level for Project Purposes was 100 % for the first purpose, 40 % for the second purpose, Output 1 was 80%, Output 2 and 3 were 100%, and Output 4 was 40%.

2) Strategy, priority actions and activities to be implemented

The JCC members have discussed and agreed on the prioritized activities to be implemented by the end of the Project in June 2025 under the initiative of the Mexican side. A conceptual matrix showing a strategy, priority actions, and activities is presented in Annex 1.

- Priority Action 1: Updating and monitoring roadmaps with the First Pilot Areas

The roadmap for the development, approval, and implementation of Local DRR plans of the First Pilot Areas will be updated. The process of review, consultation, and funding with relevant agencies will be captured and lessons learned will be shared with the Second Pilot Areas.

- Priority Action 2: Completing Local DRR Plans with the Second Pilot Areas, with a special focus on securing funds for preventive measures.

CNPC supported by the JICA Project Team will continue preparing and conducting the training courses for the Second Pilot Areas in October 2024 for Step 5-6 and in March 2025 for Step 7-8. In particular, for the development of Step 7, it is considered necessary to include information on possible subsidiary guidelines and preventive funds for DRR according to public policies at the national level such as a preventive program operated by CNPC and subsidies from the Secretariat of Agrarian, Territorial and Urban Development (SEDATU) to achieve the Overall Goal of the Project.

- Priority Action 3: Development of a training program and a training implementation strategy after the project completion

The JCC members acknowledged that the Mexican side will take the initiative to prepare the training programs and the training implementation strategy during the remaining one year of the project period.

The Mexican side supported by the JICA Project Team will find out the most feasible way to develop the training program during the remaining year by outlining a critical path, indicating the pedagogical means and technical tools, such as the official websites of CNPC and CENAPRED, that could be used to implement the program aimed at other states and municipalities (Annex I).

In order to ensure follow-up and sustainability of the Project in the future, the Mexican side will develop a training implementation strategy for the period 2025-2028.

3) Commitments and roles of the participating institutions

The JCC members have recognized that strong leadership by the Mexican partner institutions, particularly CNPC, and supporting function by the Japanese experts are essential to carry out the priority actions by the project conclusion. Expected roles to be performed by each organization were explained (Annex I).

4) Inclusion of SEDATU to the Project as a technical supporting institution

The members of the JCC have acknowledged the importance of inviting SEDATU to receive technical advice on projects, programs, plans, and financial instruments that have been developed within the scope of SEDATU on DRR. It was noted that, through CNPC and the JICA Project Team,

SEDATU was invited to the course held from May 13 to 15, 2024 to present some topics related to Steps 3 and 4.

5) Schedule of the Project during the final year (June 2024 - June 2025)

The schedule of project activities from June 2024 to June 2025 was explained to JCC members. The plans for the counterpart training in Japan and implementation of the national forum were explained (Annex 1).

- Counterpart training in Japan for the Second Pilot Areas

The third counterpart training in Japan will be held in January 2025, focusing on the theme of "Promoting the pre-disaster investment in DRR through the development of Local DRR plans". The participants for the counterpart training will be mainly selected from the Second Pilot Areas.

- Planning and implementation of the national forum

CNPC and the JICA Project Team will organize the national forum to disseminate the Local DRR Plans, tentatively in March 2025.

- Holding the fourth JCC meeting

It was agreed that the next fourth JCC meeting will be held in October or November 2024 together with the next face-to-face training.

4. Update of the indicators in PDM

The JCC members approved the update of Objectively Verifiable Indicators of the PDM as Annex 2. The purpose of the update was to clarify the Verifiable indicators for Overall Goal, Project Purposes, and some Outputs so that means of verification to measure achievements during and after the Projects are understood by all stakeholders in a clear manner, including the external evaluators of JICA.

Annex 1: Presentation of the JICA Project Team

Annex 2: Project Design Matrix (PDM) Version 4

Annex 3: List of participants in the training course



PROYECTO DE GOBERNANZA 2022-2025

Proyecto para el Fortalecimiento de la
Gobernanza de la Reducción del Riesgo
de Desastres en México

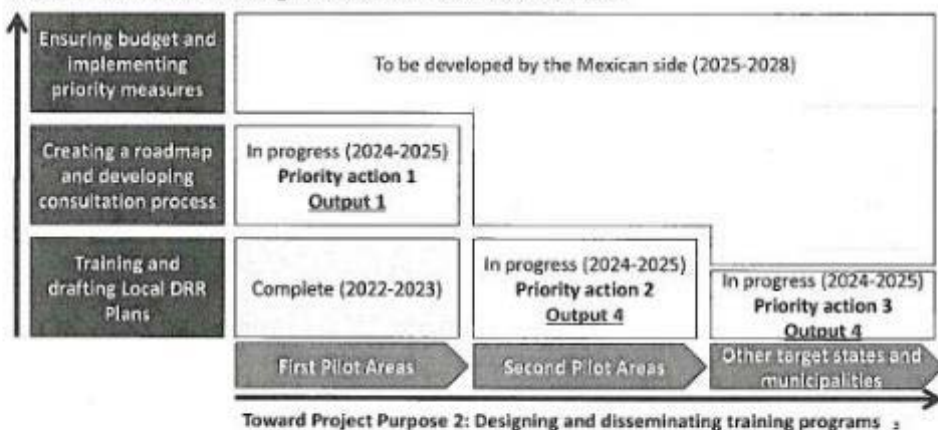
Achievements and strategy for the final year
Hodaka Igo, Leader of the JICA Project Team

Achievements based on the Project Design Matrix (PDM)

Overall Goal to be met in June 2025	Promote, through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (DRR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.		
Project Purpose to be achieved by the end of the project in June 2025	1. Formulate Local Plans of DRR with concrete risk reduction measures and identify the role of each institution involved.		
	Indicator	1. Local DRR Plans made, at least, by the two First Pilot Areas.	100%
	2. Design a training program using the methodology for making Local Plan of DRR.		
	Indicator	2. Training plan made by CNPC and CENAPRED.	40%
Output		Indicator	Achievement
Output 1: In the First Pilot Areas, an implementation system is organized to make Local DRR Plans with its own goals, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.		Roadmap or action plan for the formulation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved.	80%
Output 2: In the First Pilot Areas, Local DRR Plans are formulated, with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as earthquake and flood.		Local DRR Plans formulated by the First Pilot Areas, with concrete risk reduction measures.	100%
Output 3: A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans.		Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	100%
Output 4: A training program is designed based on the methodology for making Local DRR Plans and empirical knowledge of the First Pilot Areas.		Training plan for making Local DRR Plans with curriculum and list of instructors.	40%

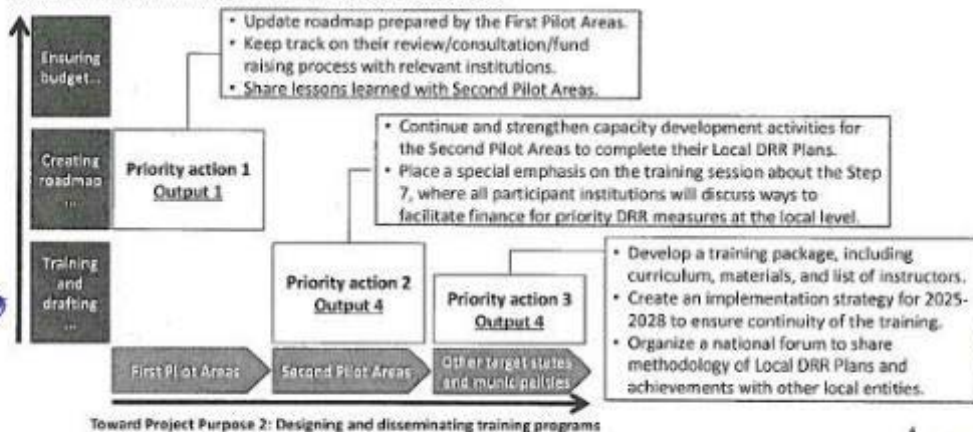
○ Strategy and priority actions

Toward Overall Goal: Promoting investment for Disaster Risk Reduction



○ Specific activities to be developed for each priority action

Toward Overall Goal: Promoting investment for Disaster Risk Reduction



Priority action 3: preliminary thoughts



Commitments and roles by participating institutions

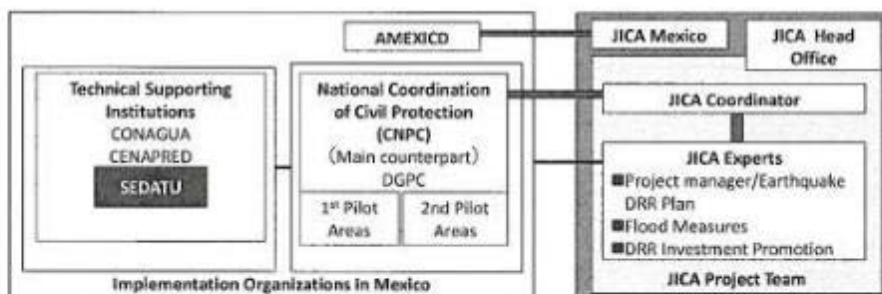
- Strong leadership by the Mexican team, particularly CNPC, and supporting function by the Japanese experts will be critical to develop the 3 priority actions by the project conclusion.

Expected roles to be performed by the Mexican partners

Implementing agency:	CNPC	Take the initiative in overall project implementation, including training sessions for the Second Pilot Areas, preparation of training programs, development of promotion strategy, national forum, and JCC meetings.
Technical supporting institutions:	CONAGUA CENAPRED	Provide technical assistance in developing training sessions for the Second Pilot Areas and designing training programs to be shared at the national level.
Collaborating agency:	AMEXCID	Support overall project implementation and operation, including training activities and JCC meetings.
First Pilot Areas:	Mexico City, State of Chiapas	Update a roadmap for the approval and implementation of their Local DRR Plans and share experiences with the Second Pilot Areas through training.
Second Pilot Areas:	States of Veracruz and Guerrero	Ensure continuous participation in the training sessions and complete their Local DRR Plans of the selected municipalities from Step 0 to Step 8.

○ Additional institution to be invited

- ◆ JICA Project Team recommends that SEDATU (Secretariat of Agrarian, Land, and Urban Development) should be officially invited to the Project as a **Technical Supporting Institution**, for its strong knowledge and experience in financing and implementing DRR projects.



○ Calendar of the final year (June 2024-June 2025)

	2024	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	2025	Jan	Feb	Mar	Apr	May	2025	Jun
Training and promotion																
Training for the Second Pilot Areas																
National forum																
3rd training in Japan -During 2 weeks in January 2025 -5 participants mainly from the Second Pilot Areas)																
4th JCC Meeting																
5th JCC Meeting (Project conclusion)																

○ Key Agreements with the JCC members

- ◆ Progress of the previous year (June 2023-May 2024)
- ◆ Assignment of the target municipalities of the Second Pilot Areas and their trainees
- ◆ Strategy for the final year (June 2024-June 2025)
 - Confirmation of achievements and remaining duties
 - Priority actions and activities to be implemented
 1. Updating and monitoring roadmaps with the First Pilot Areas
 2. Completing Local DRR Plans with the Second Pilot Areas, with a special focus on finance for preventive measures
 3. Developing the training package and its implementation strategy for other priority states and municipalities
 - Roles and responsibilities: Importance of the leadership by the Mexican side and supporting role by the Japanese side
 - Schedule of activities until the end of the Project
- ◆ Update of some PDM indicators for the post-project evaluation

A

X

M

h

O

h
h
h
h

PDM: Project Design Matrix

ANNEX

Version 4: May 17, 2024

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico
 Executive Agency: Federal Level: National Coordination of Civil Protection (CNPC), Secretary of Security and Citizen Protection
 Collaborating Agency: Mexican Agency for International Development Cooperation (AMEXCID)
 Technical Supporting Agency: National Water Commission (CONAGUA) and National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)
 Target Group: Management level; personnel of National Coordination of Civil Protection
 Technical and Management level; personnel of Mexico City and State of Chiapas
 Target Area: Mexico City, State of Chiapas (First Pilot Areas), States of Veracruz and Guerrero (Second Pilot Areas)
 Cooperation Period: 36 months (3 years)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
[Overall Goal] Promote, through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (DRR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.	1. At least 2 cities of the First and Second Pilot Areas have submitted a funding proposal/request for one of their priority measures by June 2026, either with international, national, state, or municipal financial authorities. 2. At least 2 cities of the First and Second Pilot Areas have implemented one of their priority measures (either structural or non-structural) by June 2026. 3. At least 3 states or municipalities outside the First and Second Pilot Areas have been trained and learned the methodology of Local DRR Plans by June 2026.	DRR reports of the First and Second Pilot Areas Project Completion Report Project Monitoring Sheet	State and local governments have sufficient budget for the implementation of local DRR plans.
[Project Purpose] 1. Formulate Local Plans of DRR with concrete risk reduction measures and identify the role of each institution involved. 2. Design a training program using the methodology for making Local Plan of DRR.	1. Local DRR Plans and their roadmaps made, at least, by the two First Pilot Areas. 2. Training plan and its implementation strategy made by CNPC and CENAPRED.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	

[Outputs] 1. In the First Pilot Areas, an implementation system is organized to make Local DRR Plans with its own goals, methods, work schedules and identified role of the institutions involved. 2. In the First Pilot Areas, Local DRR Plans are formulated, with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as earthquake and flood. 3. A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans. 4. A training program is designed based on the methodology for making Local DRR Plans and empirical knowledge of the First Pilot Areas.	1. Roadmap or action plan for the formulation, approval, and implementation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved. 1. Local DRR Plans formulated by the First Pilot Areas, with concrete risk reduction measures. 1. Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans. 1. Training plan for making Local DRR Plans with curriculum, and list of instructors and materials. 2. Implementation plan for 2025-2028, including responsible organization(s) and possible target states/municipalities.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet Project Completion Report Project Monitoring Sheet Project Completion Report Project Monitoring Sheet Project Completion Report Project Monitoring Sheet	
Activities	Inputs		Pre-condition
[Activities]	[Japanese side]	[Mexican Side]	
<Output> 1-1 Hold a workshop about the methodology for making Local DRR Plans. 1-2 Collect and organize the information about current situation of making Local DRR Plans at state and municipal level in Mexico. 1-3 Analyze issues related to the development and implementation of Local DRR Plans and identify the related institutions that could be	(1) Assignment of Experts One long-term expert - Project Coordinator (36 months) Three short-term experts - Earthquake DRR Plan - Flood Control Measures - DRR Investment Promotion (2) Equipment - N/A (3) Training for counterpart personnel in Japan	(1) Assignment of Counterpart Personnel - Project Director - Project Manager - Two Project Officers (2) Office space and facilities for Japanese experts (basic operation cost) - Office space and facilities - Utilities and internet connections (3) Local cost for project implementation	The project activities development would not be adversely affected by the epidemiological situation of COVID-19.

involved for formulating Local DRR Plans, based on the information collected with the activity 1-2.	- 6 steps for making Local DRR Plans and DRR policy at national and local level - Hazard identification in earthquakes and floods - DRR planning with structural and non-structural countermeasures	
1-4 Make a roadmap or action plan for formulating Local DRR Plans with the related institutions identified in the activity 1-3.		
<Output2> 2-1 Hold a second detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 2-2 Collect and analyze information on hazard and risk assessment of the First Pilot Areas at state and municipal level. 2-3 Collect and organize information about all DRR projects with structural measures implemented by the Federal and State Governments in the First Pilot Areas. 2-4 Identify the residual risks based on the information obtained in the activities 2-2 and 2-3. 2-5 Examine and prioritize countermeasures to implement in the First Pilot Areas. 2-6 Formulate a structural countermeasure proposal analyzing the engineering process and budget, based on the information obtained in the activity 2-5. 2-7 Hold a third detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans and assemble all the proposal countermeasures as a Local DRR Plan of the First Pilot Areas, based on the results obtained in the activities 2-5 and 2-6.	Idem	Idem

<Output3> 3-1 Hold a fourth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 3-2 Formulate a monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	Idem	Idem
<Output4> 4-1 Select the Second Pilot Areas with the support of the First Pilot Areas (state and municipality). 4-2 Hold a fifth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans. 4-3 Organize a technical support team and/or select instructors to disseminate the Local DRR Plans formulation methods to the Second Pilot Areas. 4-4 Prepare a training program proposal for formulating Local DRR Plans in coordination with the related institutions of the First Pilot Areas. 4-5 Prepare an implementation plan for Local DRR formulation training at Second Pilot Areas and the nation. 4-6 Hold a national forum to disseminate the methods for formulating Local DRR Plans and training program. 4-7 Carry out the training to the Second Pilot Areas.	Idem	Idem








List of the revised indicators

1. Overall Goal

Original	Amended
1. Negotiations about the budget authorization for implementing Local DRR Plans by the State Governments of the First and Second Pilot Areas.	1. At least 2 cities of the First and Second Pilot Areas have submitted a funding proposal/request for one of their priority measures by June 2028, either with international, national, state or municipal financial authorities.
2. Some activities of the Local DRR Plan are implemented.	2. At least 2 cities of the First and Second Pilot Areas have implemented one of their priority measures (either structural or non-structural) by June 2028.
	3. At least 3 states or municipalities outside the First and Second Pilot Areas have been trained and learned the methodology of Local DRR Plans by June 2028.
The first two indicators were modified to clarify the meaning and make them easier to be measured by external evaluators. Also, the third indicator is added to stress the importance of disseminating the training activities with other states and municipalities after the project completion.	

2. Project Purpose

Original	Amended
1. Local DRR Plans made, at least, by the two First Pilot Areas.	1. Local DRR Plans and their roadmaps made, at least, by the two First Pilot Areas.
2. Training plan made by CNPC and CENAPRED.	2. Training plan and its implementation strategy made by CNPC and CENAPRED.
For terminology clarification. To highlight the importance of having a long-term strategy for implementing Local DRR Plans in the target areas and disseminating the training program in other priority areas.	

3. Output 1

Original	Amended
1. Roadmap or action plan for the formulation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved.	1. Roadmap or action plan for the formulation, approval, and implementation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved.
For terminology clarification. The roadmap or action plan should identify process for approval and implementation of Local DRR Plans, in accordance with the context of the target states and municipalities.	

4. Output 4

Original	Amended
1. Training plan for making Local DRR Plans with curriculum and list of instructors.	1. Training plan for making Local DRR Plans with curriculum, and list of instructors and materials .
	2. Implementation plan for 2025-2028, including responsible organization(s) and possible target states/municipalities.
For terminology clarification. The second indicator was added to ensure continuity of the training activities after the project conclusion.	

Updated for the 3rd JCC Meeting

List of trainees in Mexico

National Coordination of Civil Protection (CENAPC)

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Romeo Alejandro Vergara Castañeda	Area Director	Sector Coordination	Project member, trainee, OG of JICA training
Mr. Néstor Alonso Barrera Bernal	Area Deputy Director	Social and International Sector	Project member, trainee, OG of JICA training
Ms. Cindy Daniela Martínez Zamudio	Area Director	External Affairs, Programs, Policies in Integrated Risk Management	Trainee, OG of JICA training
Ms. Mayra Lizette Sánchez Rodríguez	Chief	Social and International Sector	Trainee
Ms. Sarai Cruz Londoño	Area Deputy Director	Promotion strategy of Civil Protection Culture	Training advisor
Ms. Ana Belén Gerardo González	Chief	Promotion strategy of Civil Protection Culture	Training advisor
Ms. Jacqueline Pamela Meléndez González	Chief	Sector Coordination	Logistical support
Mr. Ricardo Mutamoros Arroyo	Officer	Social and International Sector	Logistical support

National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Ms. Constanza Anahi Rita Rivera Pereira	Coordinator	Public Policies for Disaster Risk Reduction	Main focal point, trainee, OG of JICA training
Ms. Verónica Andrea Rojas Hernández	Deputy Director	Training in Civil Protection	Trainee, OG of JICA training

National Water Commission (CONAGUA)

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. César Pérez Álvarez	Chief	Administration Services	Trainee, OG of JICA training
Mr. Jorge Aquino Chávez	Chief	Administration Systems	Trainee

Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection (SGIRPC) of Mexico City

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Norling Marcel García Aróliga	Director General	General Directorate of Resilience	Main focal point, trainee, OG of JICA training
Ms. Andee Stephanie Jiménez Ávila	Coordinator	Actions and Policies of Resilience	Trainee, OG of JICA training
Mr. Israel Hernández Hernández	Chief	Risk Confirmation Department Unit	Trainee, OG of JICA training

Secretariat of Civil Protection, Government of Chiapas / Municipality of Tuxtla Gutierrez

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Mr. Alejandro Mendoza Castañeda	Director General	City Institute of Municipal Planning for Sustainable Development of Tuxtla Gutierrez	Trainee, OG of JICA training
Mr. Enrique Abdala Mojca Castillo	Coordinator of Environment and Energy	City Institute of Municipal Planning for Sustainable Development of Tuxtla Gutierrez	Trainee
Mr. Jorge Iván Toledo García	Risk Analyst	Directorate of Risk Identification and Analysis	Focal point, trainee, OG of JICA training

Secretariat of Integrated Risk Management and Civil Protection of Guerrero / Secretaría de Protección Civil y Gestión de Riesgos de Guerrero

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Ms. Miriam de Dios Vega	Officer	Department of Cultural Promotion and Civil Protection, SGRPC-Guerrero	Trainee
Mr. Jesús Alberto Nieblas Morales	Officer	General Direction of Training and Evaluation, SGRPC-Guerrero	Trainee
Mr. Ernesto Javier Morales Piza	Chief	Department of Informatics and Statistics, SGRPC-Guerrero	Trainee
Mr. Sergio Manuel Nájera	Chief	Department of Natural Phenomena, SGRPC-Guerrero	Observer
Mr. Carlos Alberto Leyva Vázquez	Secretary of Public Works	Municipality of Otlapandingo de los Bravos	Observer
Mr. Gustavo Vela Guzmán	Liaison for Civil Protection and mitigation works of the northwestern geological fault	Municipality of Otlapandingo de los Bravos	Observer
Mr. Giovanni Medina Galeana	Commander of the Fire Service	Municipality of Zihuatanejo de Azueta	Trainee
Mr. Gabriel Maximiliano Cervantes Álvarez	Civil Protection Inspector	Municipality of Zihuatanejo de Azueta	Trainee
Mr. Adrián de Jesús Tagle	Chief	General Coordination of Civil Protection and Firefighting, Acapulco de Juárez	Trainee
Mr. Armando Barrios Medina	Instructor	General Coordination of Civil Protection and Firefighting, Acapulco de Juárez	Trainee
Mr. Juan Ramón Ramírez Miranda		General Coordination of Civil Protection and Firefighting, Acapulco de Juárez	Trainee
Mr. Javier Aparicio García		General Coordination of Civil Protection and Firefighting, Acapulco de Juárez	Trainee

Secretariat of Civil Protection, Government of Veracruz / Secretaría de Protección Civil y Gestión de Riesgos de Veracruz

Name	Title	Affiliation	Role in the project
Ms. Alma Angelica Fuentes Lara	Director General	General Direction of Disaster Risk Prevention, Secretariat of Civil Protection	Main focal point, trainee, OG of JICA training
Mr. Ricardo González Armenta	Focal point with Minatitlán	General Direction of Emergency Response and Administration, Secretariat of Civil Protection	Trainee
Mr. Oscar Esteban Sarracino Urbano	Focal point with Coahuacoicos	General Direction of Emergency Response and Administration, Secretariat of Civil Protection	Trainee
Mr. Damián Ramírez Guzmán		Municipality of Las Choapas	Trainee
Mr. Ángel Antonio Pérez Velázquez	Director of Municipal Civil Protection	Municipality of Las Choapas	Trainee
Mr. Andrés Edmundo Gómez Montes	Director of Civil Protection	Municipality of Minatitlán	Trainee
Mr. Edgar Eduardo Morales Ramírez	Officer of Civil Protection	Municipality of Minatitlán	Trainee

第4回合同調整会議（JCC）議事録

**MINUTES OF THE MEETING
OF
FOURTH JOINT COORDINATION COMMITTEE
BETWEEN THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND THE UNITED MEXICAN STATES
REGARDING THE PROJECT FOR STRENGTHENING GOVERNANCE
FOR DISASTER RISK REDUCTION IN MEXICO**

Mr. Chiaki Kobayashi
Director General
Mexico Office
Japan International Cooperation
Agency

Mr. Oscar Zepeda Ramos
Director General of Civil Protection
Project Manager
National Coordination of Civil Protection
Secretariat of Security and Citizen
Protection
United Mexican States

Mr. Carlos Acosta Montoya
Director General of Project Operations in
Mexico
Mexican Agency for International
Development Cooperation
United Mexican States

Mr. Efraín Morales López
Director General
National Water Commission
United Mexican States

Ing. Mr. Enrique Guevara Ortiz
Director General
National Center for Disaster Prevention
Secretariat of Security and Citizen
Protection
United Mexican States

Ms. Myriam Vilma Urzúa Venegas
Secretary of Integrated Risk Management
and Civil Protection
Government of Mexico City
United Mexican States

Mr. Mauricio Cordero Rodríguez
Secretary of Civil Protection
State Government of Chiapas
United Mexican States

Dr. Guadalupe Osorno Maldonado
Secretary of Civil Protection
State Government of Veracruz
United Mexican States

Dr. Roberto Arroyo Matus
Secretary of Integrated Risk Management
and Civil Protection
State Government of Guerrero
United Mexican States

The fourth meeting of the Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") for the Project for Strengthening Disaster Risk Reduction Governance in Mexico (hereinafter referred to as "the Project") was held online on the 16 July 2025.

Views and achievements of the activities were exchanged to review the implementation of the technical cooperation activities for the Project with the following institutions: the Japan International Cooperation Agency (hereinafter "JICA"), the National Coordination of Civil Protection of the Secretariat of Security and Citizen Protection (hereinafter "CNPC"), representatives of the Mexican Agency of International Cooperation for Development (hereinafter "AMEXCID"), the National Water Commission (hereinafter "CONAGUA"), the National Centre for Disaster Prevention (hereinafter, "CENAPRED"), the Secretariat for Integrated Risk Management and Civil Protection of the Government of Mexico City, the Secretariat for Civil Protection of the Government of the State of Chiapas, the Secretariat for Integrated Risk Management and Civil Protection of the Government of the State of Guerrero, and the Secretariat for Civil Protection of the Government of the State of Veracruz

As a result of the discussion, the representatives of the relevant agencies agreed on the issues mentioned in the document attached to this document.

Mexico City, July 16, 2025

the CNPC to ensure the effective development of the activities.

5) Local Plans for Disaster Risk Reduction

The goal of the project has been established since its inception. Substantial progress has been made during the elaboration of the Local Plans in the pilot sites.

- Two Local Plans for Disaster Risk Reduction (PLRRD, by its acronym in Spanish) have been developed for the first pilot areas.
- Two PLRRDs for the second pilot areas have been developed.

Regarding the above, it should be noted that the PLRRD for the city of Tuxtla Gutiérrez was included in the State Plan for Land Use and Urban Development, as well as in the Municipal Urban Development Program for 2024, and the process was promoted to include it in future planning actions. On the Mexico City side, preparatory work for presenting the PLRRD at the Mexico City Resilience Council in June 2025, is underway to formalize the PLRRD at the mayoral level. Additionally, the Local Plans for the Second Pilot Sites have been promoted and developed under the guidance and coordination of CNPC, CENAPRED and CONAGUA since February 2024.

It is recommended to follow up on the implementation of DRR measures in the post-planning period.

2. Project achievements and remaining activities

The JICA Project Team Leader, Mr. Hodaka Igo, presented the achievements of the Project until March 2025, based on the above, the JCC members agreed on the following:

1) Achievements based on the Project Development Matrix (PDM)

The achievements of the Project's activities were presented following the PDM (Annex 2), highlighting the following accomplishments:

- 100% for the first Project Goal.
- 100% for the second Project Goal.
- 100% for Output 1
- 100% for Output 2, 3, and
- 100% for Output 4.

3. Suggested actions for the sustainability of the Project

ATTACHED DOCUMENT

According to the fourth meeting of the Joint Coordinating Committee (JCC), the following points were discussed and agreed on:

1. Summary of results and highlights of the Project activities

Eng. Óscar Zepeda Ramos, Director General of Civil Protection and representative of the CNPC in his capacity as Project Manager, presented the main results achieved. The activities were carried out as planned, with the following aspects being highlighted:

1) Pilot sites selection

A hazard analysis was carried out in the 32 states to identify the municipalities most prone to flood and earthquake risks in both phases of the project. This selection was based on the National Risk Atlas, as well as the criteria for items such as the vulnerability of dwellings, the degree of danger, and the existence of emergency and disaster declarations, among other factors.

2) Trainings

About the training activities, the following are highlighted:

First Phase

Thanks to the support of various Japanese experts in the field, during the first phase 4 trainings were carried out in Mexico, for the first pilot areas (Tuxtla Gutierrez, Chiapas and Mexico City), where how the Government of Japan developed the Local Plans under the Japanese methodology of the 8 steps was transmitted.

Second Phase

- Based on the knowledge acquired during the project's first phase, the Mexican counterpart staff adapted the Japanese methodology to the Mexican context in terms of public policies governing risk management in the country, generating didactic material that was used to provide training for the second pilot areas.
- In this regard, 4 trainings were provided for the second pilot areas (Acapulco de Juárez and Zihuatanejo de Azueta in Guerrero, as well as Minatitlán and Las Choapas in Veracruz).

In addition, three training sessions were held in Japan, aimed at strengthening the capacities of the staff in charge of drawing up the Local Plans, as well as fostering the exchange of experiences and good practices.

3) Project dissemination

Within the dissemination actions, a logo was designed, along with a triptych alluding to the generalities and aims of the project.

Likewise, within the framework of the National Civil Protection Meeting for the onset of tropical rains and storms 2024, which counted with the participation of various federal agencies, the 32 State Civil Protection Units and municipalities, a presentation was given to disseminate the efforts of the Project. During the event, triptychs and USB flash drives with general information on the Project were distributed.

On the other hand, the National Forum was held in the framework of the National Meeting on rainfall and tropical storms, on May 9, 2025, with the participation of representatives of the 32 states, as well as municipal authorities. At the forum, during the session dedicated to promoting the formulation of Local Disaster Risk Reduction Plans, CNPC presented an overview of the development of such plans, the achievements of the project, the explanation of the 8-step method, as well as the benefits of having a plan. The directions and the current status of the implementation in the first pilot areas, as well as the perspectives for the second pilot areas were also shared.

Training Program

The didactic material generated allowed the structuring of a formal training program, with the potential to be replicated in future sessions.

In addition, a video was produced, including the presentations made during the second phase, which will serve as a complementary tool to reinforce learning.

4) Inter-Institutional Coordination

Three meetings of the Joint Coordination Committee (JCC) were held to oversee the fulfillment of the Project's objectives, aimed at promoting investment in Disaster Risk Reduction (DRR) through the formulation of Local Plans.

Continuous monitoring was maintained by the coordinators and technical staff of

To provide follow-up and sustainability to the Project, the Japanese experts made the following recommendations to the JCC members for possible implementation, after the Project's completion date:

1) Actions to implement priority measures

State and municipal authorities will promote investment in DRR and will seek, within their attributions, financing mechanisms to support local plans, within the three levels of government, for the implementation of DRR measures, such as: state and federal funds.

2) Establishment of a legal framework for the development of PLRRD

In the absence of legal obligations for the municipalities to prepare Local Plans, it is suggested that the state and municipal authorities should promote the inclusion of the PLRRD for the second pilot areas (4 municipalities), within their respective planning instruments, as well as to submit them for consideration by the state and municipal civil protection councils.

3) Training programs for PLRRD formulation

According to the proposal of the implementation plan, it is recommended to carry out training for new pilot states and/or municipalities, considering the following:

- Conduct training programs for the preparation of PLRRD based on the 8-Step methodology, considering 3 states and/or municipalities preferably before 2028.

4) Possible actions to strengthen inter-institutional collaboration

The following recommendations were proposed for a training approach for the development of PLRRD:

- Update training materials for other types of disasters.
- Establish a Training of Trainers program for the methodology at the state level.
- Transform the training program into a self-study online course.
- Identify DRR initiatives of institutions at the federal level, which may be of interest to state and municipal governments.

The Parties acknowledge and agree that this Minutes of Meetings may be approved by electronic signature, which shall be considered equivalent to an original signature for all purposes and shall have the same legal force and effect. An "Electronic signature" includes the original signature or electronically scanned and transmitted versions (e.g., in

pdf format).

Anex 1: Presentation by JICA

Anex 2: Attendance list

Anex 3: Project Design Matrix (PDM) Version 4



Achievement of the Project and Expansion of project results

1

Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico

Achievements based on the Project Design Matrix (PDM)

Overall Goal to be met in June 2028	Promote, through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (DRR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.		
Project Purpose to be achieved by the end of the project in June 2025	1. Formulate Local Plans of DRR with concrete risk reduction measures and identify the role of each institutions involved.		
	Indicator	1. Local DRR Plans made, at least, by the two First Pilot Areas.	100%
	2. Design a training program using the methodology for making Local Plan of DRR.		
	Indicator	2.Training plan made by CNPC and CENAPRED.	100%
Output		Indicator	Achievement
Output 1: In the First Pilot Areas, an implementation system is organized to make Local DRR Plans with its own goals, methods, work schedules and identified role of the institutions involved.		Roadmap or action plan for the formulation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved.	100%
Output 2: In the First Pilot Areas, Local DRR Plans are formulated, with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as earthquake and flood.		Local DRR Plans formulated by the First Pilot Areas, with concrete risk reduction measures.	100%
Output 3: A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans.		Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.	100%
Output 4: A training program is designed based on the methodology for making Local DRR Plans and empirical knowledge of the First Pilot Areas.		Training plan for making Local DRR Plans with curriculum and list of instructors.	100%

Further actions to achieve Overall Goal by June 2028

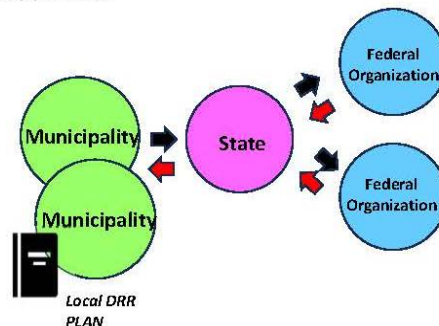


Suggested actions for the sustainability of the Project

Actions for implementation of Priority Measures

To promote investment in DRR, prior to the occurrence of disaster, budgetary measures for the implementation of DRR projects and the facilitation of fund utilization shall be continuously pursued.

Promote the use of "Preventive Funds : FOPREDEN" for the implementation of DRR measures by municipalities in collaboration with the state.



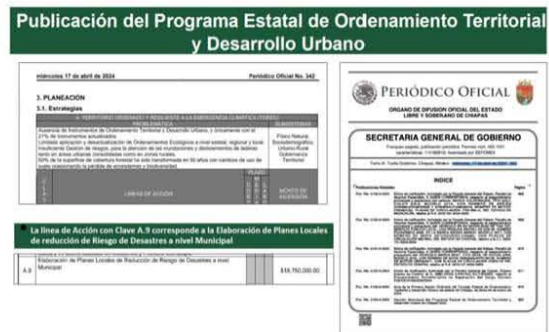
Suggested actions for the sustainability of the Project

Establishing legal framework for Local DRR Plan development

Promote the inclusion of Local DRR Plans for the Second Pilot Areas (4 municipalities) in higher-level development plans, ensuring that Local DRR Plans are referenced and addressed by state and city councils.

Results from the efforts of the First Pilot Areas

- In Tuxtla Gutierrez, Chiapas, Local DRR plan was developed, the plan was included in the state program of territorial planning and urban development, and an administrative budget was allocated.
- In Mexico City, it was mentioned that starting in 2025, the Local DRR Plan will be promoted to the City Council.



Suggested actions for the sustainability of the Project

Implementation of Training on the Formulation of Local DRR Plans

In accordance with the implementation plan, training on the development of Local DRR Plans and following additional actions will be conducted to remaining municipalities in pilot states and to states to support the nationwide dissemination of Local DRR Plan development.

Implementation Plan for Local DRR Plan (PLALOCs) (2025 a 2028)



Suggested actions for the sustainability of the Project

Possible actions to strengthen inter-institutional collaboration

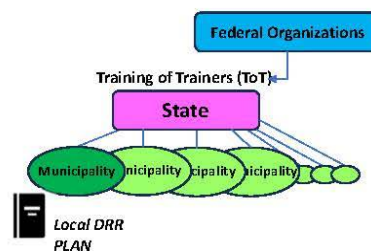
Updating the training materials for the other types of disasters

As the Project only prepared the training materials for earthquake and inundation, the training materials for the other disaster types such as, Tsunami, volcanic eruption, and landslide, shall be prepared.



Establishing Training of Trainers (ToT) program for state level

As number of municipalities in Mexico is around 2500, cooperation of states to promote the Local DRR Plan elaboration at municipalities is necessary. After gaining more experience of providing a face-to-face training program, a ToT program for state level to support municipality to elaborate Local DRR Plan shall be prepared.



7

Suggested actions for the sustainability of the Project

Posibles acciones para fortalecer la colaboración interinstitucional

Converting the training program into self-learning online course

Based on the training program materials and experiences, an online self-learning course can be prepared to further advance Local DRR Plan elaboration. It can be established as a part of CNPC website "Preparados" or ENAPROC program.



DRR Initiatives of Relevant Federal Agencies

Initiatives are identified based on the technical support of federal government technical institutions and on the approach of integrating disaster risk reduction (DRR), aimed at risk reduction projects led by state and municipal governments.



8



THE FOURTH JOINT COORDINATING MEETING OF THE PROJECT FOR STRENGTHENING OF THE DISASTER RISK REDUCTION GOVERNANCE IN MEXICO

July 16th, 2025, 17:00 hrs

LIST OF PARTICIPANTS

National Coordination of Civil Protection (CNPC)

1. Oscar Zepeda Ramos, Director General of Civil Protection
2. Romeo Alejandro Vergara Castañeda, Director of Sectoral Coordination
3. Héctor Alonso Barrera Burrola, Deputy Director of the Social and International Sector
4. Mayra Lizzette Sánchez Rodríguez, Head of Department of the Social and International Sector
5. Ricardo Matamoros Arroyo, Analyst of Department of the Social and International Sector

Mexican Agency for International Development Cooperation

6. José Luis Espinoza Navarrete, Director of Cooperation
7. Alan Gutiérrez del Río, Cooperation Department

Japan International Cooperation Agency (JICA)

8. Chiaki Kobayashi, Chief Representative of JICA México
9. Satoru Nishikawa, Senior Advisor in Disaster Risk Reduction, JICA HQ
10. Kumiko Fujita, Project Formulation Advisor
11. Hodaka Igo, JICA Expert
12. Kuroki Masae, JICA Expert
13. Hirofumi Hara, Ex coordinator of the Governance Project
14. Judith García, National Staff

National Center of Disaster Prevention (CENAPRED)

15. Verónica Andrea Rojas Hernández, Deputy Director of Civil Protection Training

Comisión Nacional del Agua (CONAGUA)



2025
 Año de
 La Mujer
 Indígena

Av. Fuerza Aérea Mexicana 235, col. Federal, alcaldía Venustiano Carranza, C.P. 15700, CDMX. Teléfono: 55-1108 6000 ext. 71518 - www.preparados.gob.mx

16. Benjamín Jiménez Almaraz, International Cooperation Sub-Manager.
17. Guillermo Gutiérrez Gómez, Project Manager. International Cooperation Sub-Management.

Secretary of Integrated Risk Management and Civil Protection - Government of Mexico City

18. Norlang Marcel García Arróliga, Director General of Resilience

Secretary of Civil Protection -State Government of Chiapas

19. José Valenti Manzo Monjarás, Deputy secretariat of Civil Protection

Secretary of Integrated Risk Management and Civil Protection State Government of Guerrero

20. Ricardo Ramírez Ibarra, Deputy Secretariat of Prevention and Civil Protection
21. Ernesto Javier Morales Paz, Head of Department of Natural Phenomena.
22. Gabriel Maximiliano Cervantes Álvarez, Civil Protection Inspector of Zihuatanejo de Azueta

Government of Veracruz State

23. Beatriz Adriana Hernández Yobal Deputy Director of Risk Analysis, Evaluation and Reduction.

PDM: Project Design Matrix

ANNEX3

Version 4: March 28, 2025

Project Title: Project for Strengthening of the Disaster Risk Reduction Governance in Mexico
 Executive Agency: Federal Level: National Coordination of Civil Protection (CNPC), Secretary of Security and Citizen Protection
 Collaborating Agency: Mexican Agency for International Development Cooperation (AMEXCID)
 Technical Supporting Agency: National Water Commission (CONAGUA) and National Center for Disaster Prevention (CENAPRED)
 Target Group: Management level; personnel of National Coordination of Civil Protection
 Technical and Management level; personnel of Mexico City and State of Chiapas
 Target Area: Mexico City, State of Chiapas (First Pilot Areas), States of Veracruz and Guerrero (Second Pilot Areas)
 Cooperation Period: 36 months (3 years)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
[Overall Goal] Promote, through the formulation of Local Plans of Disaster Risk Reduction (DRR) in Mexico, investment for disaster risk reduction, prior to the occurrence of disaster.	1. At least 2 cities of the First and Second Pilot Areas have submitted a funding proposal/request for one of their priority measures by June 2028, either with international, national, state, or municipal financial authorities. 2. At least 2 cities of the First and Second Pilot Areas have implemented one of their priority measures (either structural or non-structural) by June 2028. 3. At least 3 states or municipalities outside the First and Second Pilot Areas have been trained and learned the methodology of Local DRR Plans by June 2028.	DRR reports of the First and Second Pilot Areas Project Completion Report Project Monitoring Sheet	State and local governments have sufficient budget for the implementation of local DRR plans.
[Project Purpose] 1. Formulate Local Plans of DRR with concrete risk reduction measures and identify the role of each institutions involved. 2. Design a training program using the methodology for making Local Plan of DRR.	1. Local DRR Plans and their roadmaps made, at least, by the two First Pilot Areas. 2. Training plan and its implementation strategy made by CNPC and CENAPRED.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet	

[Outputs] 1. In the First Pilot Areas, an implementation system is organized to make Local DRR Plans with its own goals, methods, work schedules and identified role of the institutions involved. 2. In the First Pilot Areas, Local DRR Plans are formulated, with concrete risk reduction measures of a specific disaster such as earthquake and flood. 3. A monitoring sheet is made by the project, to evaluate the implementation of Local DRR Plans. 4. A training program is designed based on the methodology for making Local DRR Plans and empirical knowledge of the First Pilot Areas.	1. Roadmap or action plan for the formulation, approval, and implementation of Local DRR Plans, which identifies role of the institutions involved. 1. Local DRR Plans formulated by the First Pilot Areas, with concrete risk reduction measures. 1. Monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans. 1. Training plan for making Local DRR Plans with curriculum, and list of instructors and materials. 2. Implementation plan for 2025-2028, including responsible organization(s) and possible target states/municipalities.	Project Completion Report Project Monitoring Sheet Project Completion Report Project Monitoring Sheet Project Completion Report Project Monitoring Sheet Project Completion Report Project Monitoring Sheet	
Activities	Inputs		Pre-condition
[Activities]	[Japanese side]	[Mexican Side]	
<Output1> 1-1 Hold a workshop about the methodology for making Local DRR Plans. 1-2 Collect and organize the information about current situation of making Local DRR Plans at state and municipal level in Mexico. 1-3 Analyze issues related to the development and implementation of Local DRR Plans and identify the related institutions that could be	(1) Assignment of Experts One long-term expert - Project Coordinator (36 months) Three short-term experts - Earthquake DRR Plan - Flood Control Measures - DRR Investment Promotion (2) Equipment - N/A (3) Training for counterpart personnel in Japan	(1) Assignment of Counterpart Personnel - Project Director - Project Manager - Two Project Officers (2) Office space and facilities for Japanese experts (basic operation cost) - Office space and facilities - Utilities and Internet connections (3) Local cost for project implementation	The project activities development would not be adversely affected by the epidemiological situation of COVID-19.

involved for formulating Local DRR Plans, based on the information collected with the activity 1-2.	- 8 steps for making Local DRR Plans and DRR policy at national and local level	
1-4 Make a roadmap or action plan for formulating Local DRR Plans with the related institutions identified in the activity 1-3.	- Hazard identification in earthquakes and floods - DRR planning with structural and non-structural countermeasures	
<Output2>	Idem	Idem
2-1 Hold a second detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans.		
2-2 Collect and analyze information on hazard and risk assessment of the First Pilot Areas at state and municipal level.		
2-3 Collect and organize information about all DRR projects with structural measures implemented by the Federal and State Governments in the First Pilot Areas.		
2-4 Identify the residual risks based on the information obtained in the activities 2-2 and 2-3.		
2-5 Examine and prioritize countermeasures to implement in the First Pilot Areas.		
2-6 Formulate a structural countermeasure proposal analyzing the engineering process and budget, based on the information obtained in the activity 2-5.		
2-7 Hold a third detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans and assemble all the proposal countermeasures as a Local DRR Plan of the First Pilot Areas, based on the results obtained in the activities 2-5 and 2-6.		
<Output3>	Idem	Idem
3-1 Hold a fourth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans.		
3-2 Formulate a monitoring sheet to evaluate the implementation of the Local DRR Plans.		
<Output4>	Idem	Idem
4-1 Select the Second Pilot Areas with the support of the First Pilot Areas (state and municipality).		
4-2 Hold a fifth detailed workshop on the methods for formulating Local DRR Plans.		
4-3 Organize a technical support team and/or select instructors to disseminate the Local DRR Plans formulation methods to the Second Pilot Areas.		
4-4 Prepare a training program proposal for formulating Local DRR Plans in coordination with the related institutions of the First Pilot Areas.		
4-5 Prepare an implementation plan for Local DRR formulation training at Second Pilot Areas and the nation.		
4-6 Hold a national forum to disseminate the methods for formulating Local DRR Plans and training program.		
4-7 Carry out the training to the Second Pilot Areas.		